

2021 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関する
アンケート調査
【調査結果報告書】

2022年7月
西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査」については、本文中「就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査」と略称表記（以下同様）

目次

第1章 卒業生アンケート.....	1
1. 調査の概要.....	1
【調査結果の見方】	1
2. 調査結果.....	2
〔1〕 回答者について.....	2
〔2〕 現在の仕事について.....	3
〔3〕 転職の状況について.....	12
〔4〕 未就業の状況について.....	16
〔5〕 仕事についての感想（自由意見）	19
〔6〕 大学・短大で受けた教育について.....	24
① 達成度と必要性（全体）	24
② 達成度と必要性（学科別）	26
③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）	30
④ 仕事をする上で重要だと思うこと.....	36
〔7〕 大学時代で有意義だった授業.....	38
〔8〕 更にあればよかった授業の具体案.....	42
〔9〕 大学の講義以外で希望する支援・経験.....	45
〔10〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	48
3. 調査結果のまとめ.....	50
第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート.....	54
1. 調査の概要.....	54
【調査結果の見方】	54
2. 調査結果.....	55
〔1〕 回答者について.....	55
〔2〕 仕事に必要な能力.....	56
① 必要性和達成度（全体）	56
② 必要性和達成度（学科別）	58
③ 採用の際に重要視する能力.....	62
〔3〕 事業所の概要.....	64
〔4〕 学生に希望する資格や検定.....	67
〔5〕 大学生の人間形成に必要な支援.....	69
〔6〕 採用について.....	71
〔7〕 大学に対する意見・要望（自由意見）	76
3. 調査結果のまとめ.....	79
第3章 調査票.....	81

第1章 卒業生アンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2019年3月卒業生
調査方法	郵送配布・回収、Web、FAX回収
回収数	161人
調査時期	2021年12月23日～2022年1月31日 ※2022年2月11日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼卒業生数	回答人数	回収率
看護学科	88	30	34.1% (19.6%)
福祉学科	90	38	42.2% (39.6%)
栄養学科	87	15	17.2% (12.3%)
英語学科	33	25	75.8% (72.5%)
観光文化学科	64	25	39.1% (17.2%)
助産別科	16	5	31.3% (20.0%)
全体	378	138	36.5% (27.3%)

()内は前年度回収率

	依頼卒業生数	回答人数	回収率
保育科	93	23	24.7% (37.8%)
全体	93	23	24.7% (29.2%)

()内は前年度回収率

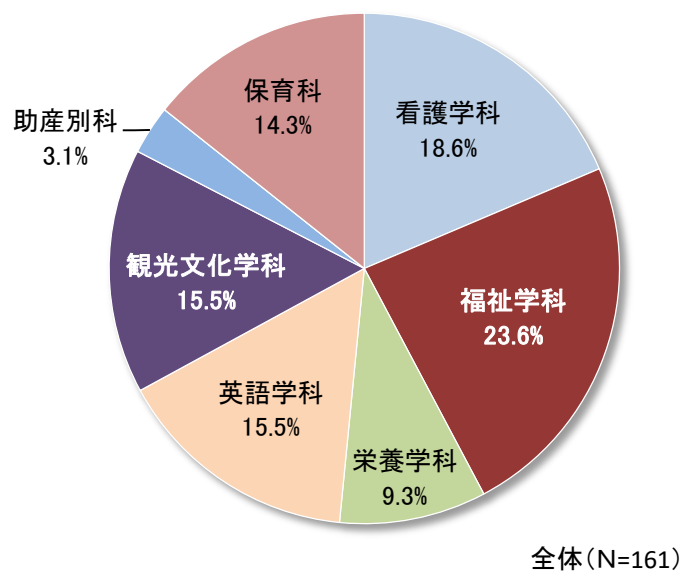
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。なお、調査票は大学・短期大学部ともに同様の調査票を使用しているため、大学用の調査票を添付するものとし、短期大学部用の調査票の添付は省略する。

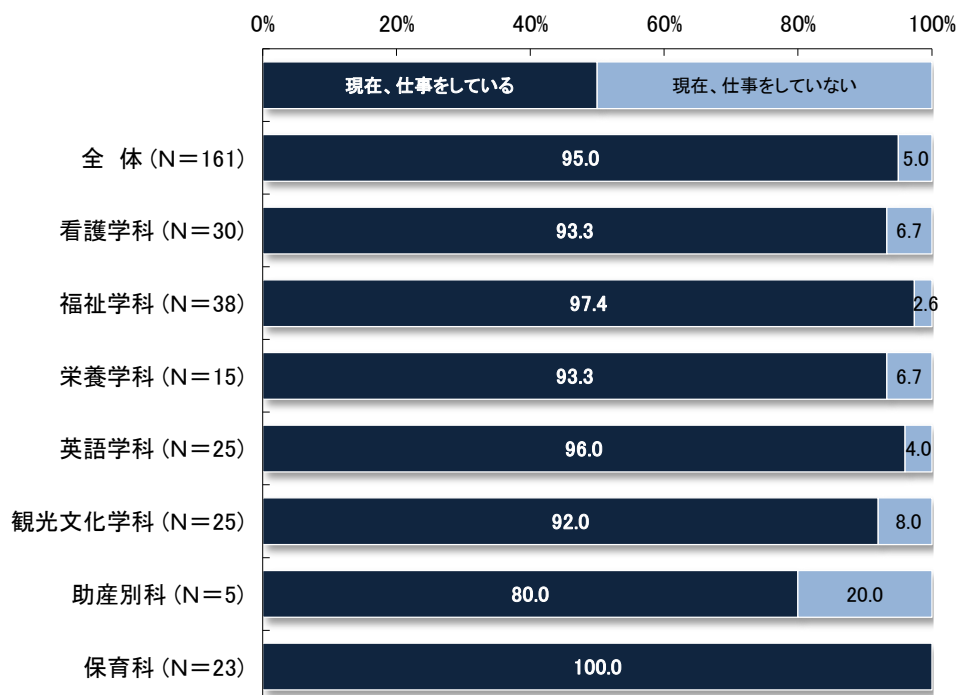
2. 調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



【現在の状況】

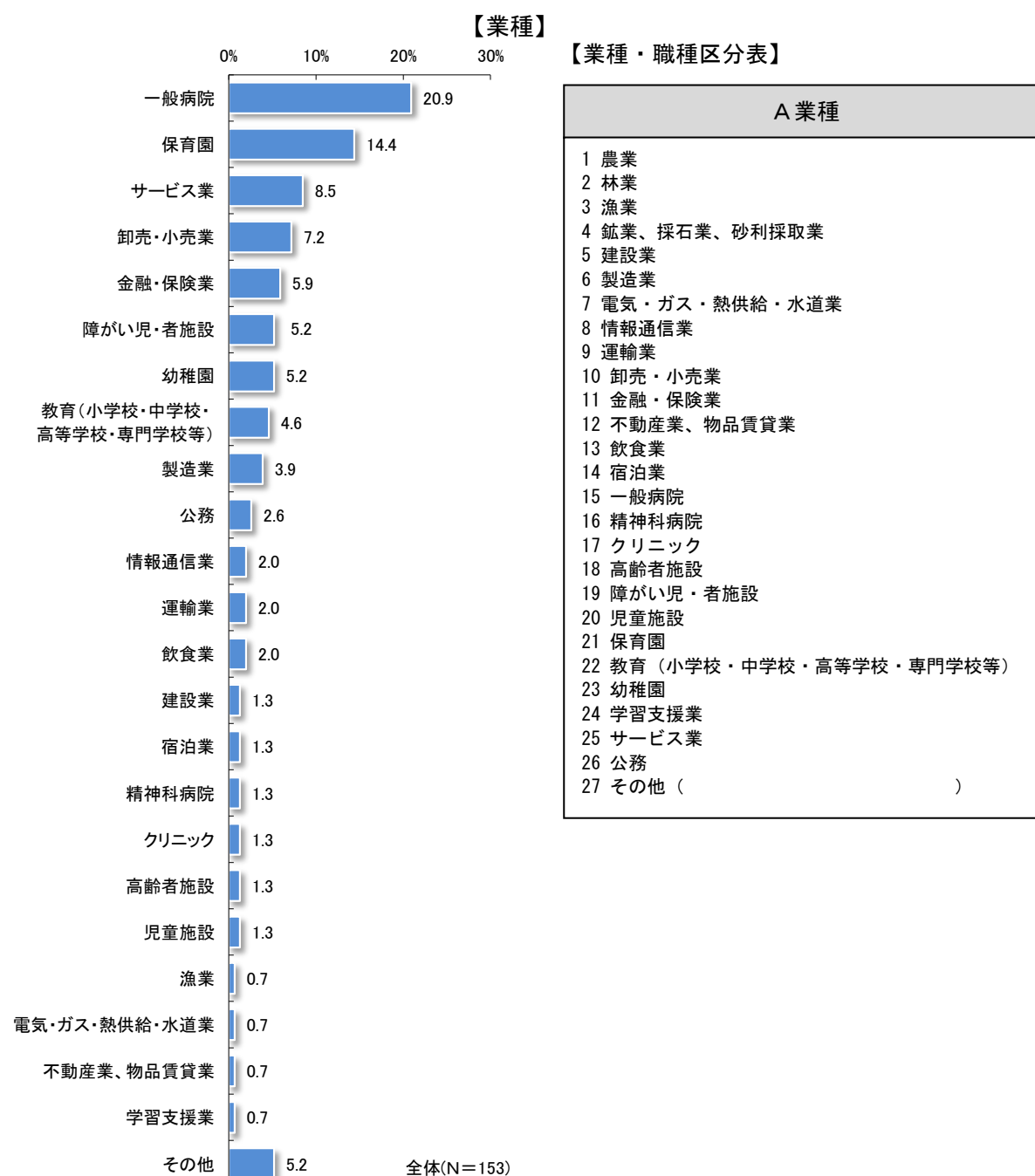


〔2〕現在の仕事について

問 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

現在の勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(20.9%)が最も多く、次いで「保育園」(14.4%)、「サービス業」(8.5%)となっている。

学科別にみると、看護学科、助産別科は「一般病院」(看護学科:75.0%、助産別科:75.0%)、福祉学科は「保育園」、「障がい児・者施設」(いずれも18.9%)、栄養学科は「飲食業」、「児童施設」、「漁業」(いずれも7.1%)、英語学科は「サービス業」、「卸売・小売業」、「金融・保険業」、「製造業」(いずれも16.7%)、観光文化学科は「サービス業」(21.7%)、保育科は「保育園」(52.2%)と「幼稚園」(34.8%)の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先の主たる業種が異なることがうかがえる。



第1章 卒業生アンケート

【学科別 業種（1/2）】（％）

	全体 （人）	一般病院	保育園	サービス業	卸売・小売業	金融・保険業	障がい児・者施設	幼稚園	高等教育（小学校・中学校・専門学校・高等学校・専門学校等）	製造業	公務	情報通信業	運輸業
全 体	153	20.9	14.4	8.5	7.2	5.9	5.2	5.2	4.6	3.9	2.6	2.0	2.0
看護学科	28	75.0	3.6	-	-	-	-	-	3.6	-	10.7	-	-
福祉学科	37	10.8	18.9	5.4	2.7	2.7	18.9	-	13.5	5.4	2.7	2.7	-
栄養学科	14	21.4	14.3	14.3	14.3	-	-	-	-	-	-	-	-
英語学科	24	4.2	-	16.7	16.7	16.7	-	-	4.2	16.7	-	-	4.2
観光文化学科	23	-	-	21.7	17.4	13.0	-	-	-	-	-	8.7	8.7
助産別科	4	75.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	-	52.2	-	-	-	4.3	34.8	-	-	-	-	-

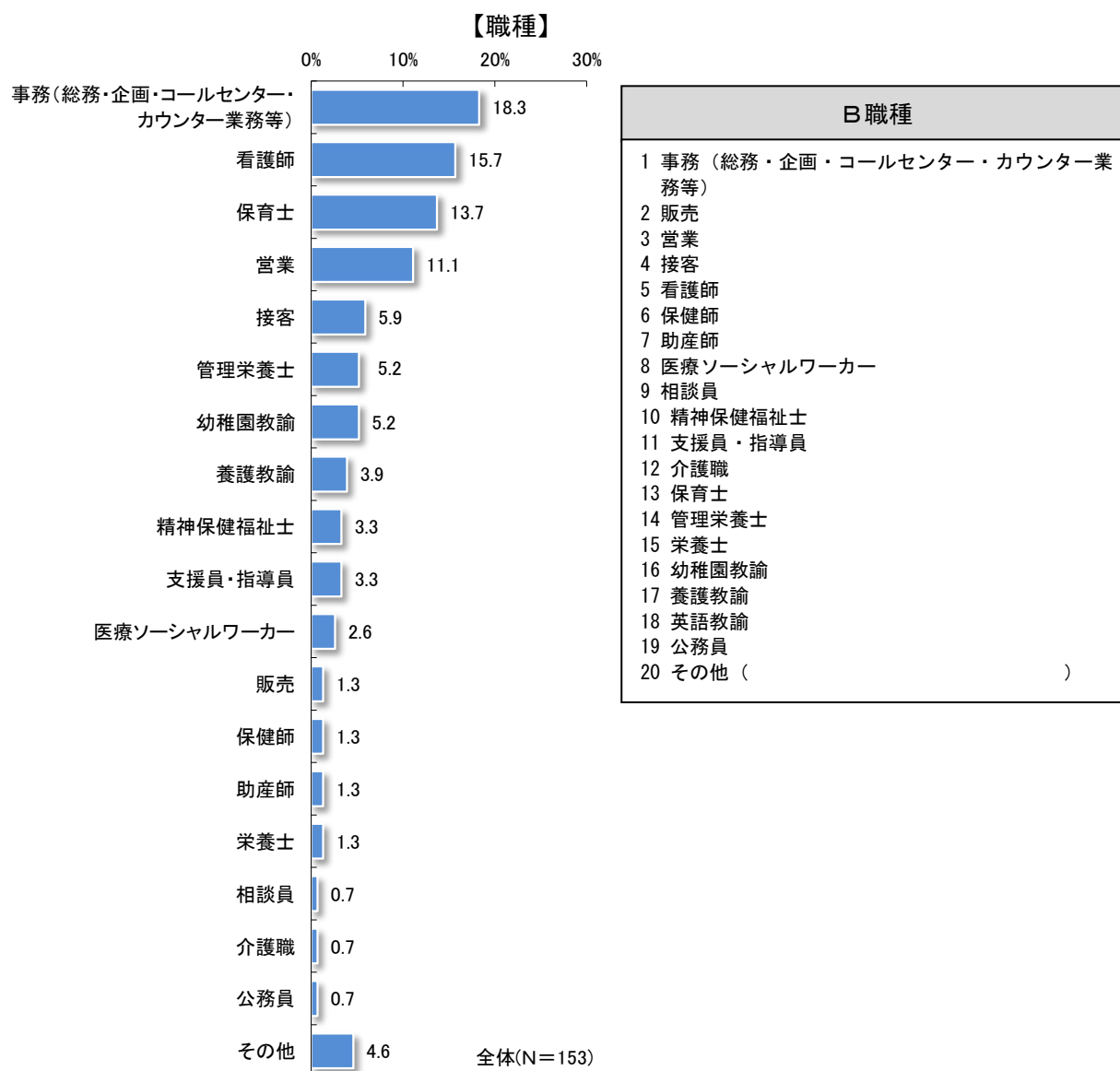
【学科別 業種（2/2）】（％）

	全体 （人）	飲食業	建設業	宿泊業	精神科病院	クリニック	高齢者施設	児童施設	漁業	電気・ガス・熱供給・水道業	不動産業、物品賃貸業	学習支援業	その他
全 体	153	2.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7	0.7	5.2
看護学科	28	-	-	-	-	3.6	-	-	-	-	-	-	3.6
福祉学科	37	-	-	-	5.4	2.7	5.4	-	-	-	-	-	2.7
栄養学科	14	7.1	-	-	-	-	-	7.1	7.1	-	-	-	14.3
英語学科	24	4.2	4.2	-	-	-	-	-	-	4.2	-	4.2	4.2
観光文化学科	23	4.3	4.3	8.7	-	-	-	-	-	-	4.3	-	8.7
助産別科	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	-	-	-	-	-	-	4.3	-	-	-	-	4.3

問 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

現在の勤務先で携わっている主たる職種は、大学全体では「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（18.3%）が最も多く、次いで「看護師」（15.7%）、「保育士」（13.7%）、「営業」（11.1%）、となっている。

学科別にみると、看護学科は「看護師」（85.7%）、福祉学科は「保育士」（18.9%）、「精神保健福祉士」、「支援員・指導員」、「養護教諭」（いずれも13.5%）、栄養学科は「管理栄養士」（57.1%）、英語学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（41.7%）、観光文化学科は「営業」（39.1%）、助産別科は「助産師」（50.0%）、保育科は「保育士」（60.9%）や「幼稚園教諭」（34.8%）の割合が大学全体に比べて高く、学科によって勤務先で携わっている主たる職種が異なることがうかがえる。



※回答のなかった項目は省略

第1章 卒業生アンケート

【学科別 職種 (1/2)】 (%)

	全 体	事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）	看護師	保育士	営業	接客	管理栄養士	幼稚園教諭	養護教諭	精神保健福祉士	支援員・指導員
全 体	153	18.3	15.7	13.7	11.1	5.9	5.2	5.2	3.9	3.3	3.3
看護学科	28	3.6	85.7	-	-	-	-	-	3.6	-	-
福祉学科	37	16.2	-	18.9	-	2.7	-	-	13.5	13.5	13.5
栄養学科	14	21.4	-	-	-	-	57.1	-	-	-	-
英語学科	24	41.7	-	-	33.3	12.5	-	-	-	-	-
観光文化学科	23	30.4	-	-	39.1	17.4	-	-	-	-	-
助産別科	4	25.0	-	-	-	25.0	-	-	-	-	-
保育科	23	-	-	60.9	-	-	-	34.8	-	-	-

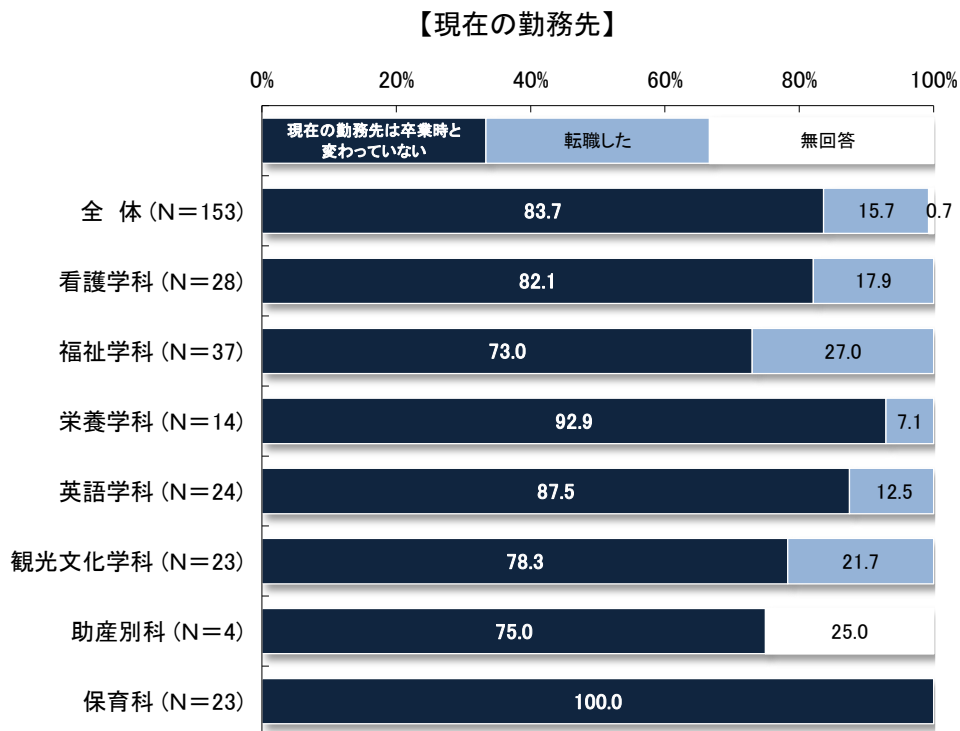
【学科別 職種 (2/2)】 (%)

	全 体	医療ソーシャルワーカー	販売	保健師	助産師	栄養士	相談員	介護職	公務員	その他
全 体	153	2.6	1.3	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7	4.6
看護学科	28	-	-	7.1	-	-	-	-	-	-
福祉学科	37	10.8	-	-	-	-	2.7	2.7	2.7	2.7
栄養学科	14	-	-	-	-	14.3	-	-	-	7.1
英語学科	24	-	8.3	-	-	-	-	-	-	4.2
観光文化学科	23	-	-	-	-	-	-	-	-	13.0
助産別科	4	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-
保育科	23	-	-	-	-	-	-	-	-	4.3

問 現在の勤務先について○をつけてください。(1つ選択)

現在の勤務先は、大学全体では「現在の勤務先は卒業時と変わっていない」の割合が83.7%を占め、「転職した」とする人は15.7%となっている。

学科別に現在の勤務先をみると、少数の学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、福祉学科(27.0%)、観光文化学科(21.7%)では「転職した」の割合が他の学科に比べ高い傾向にある。

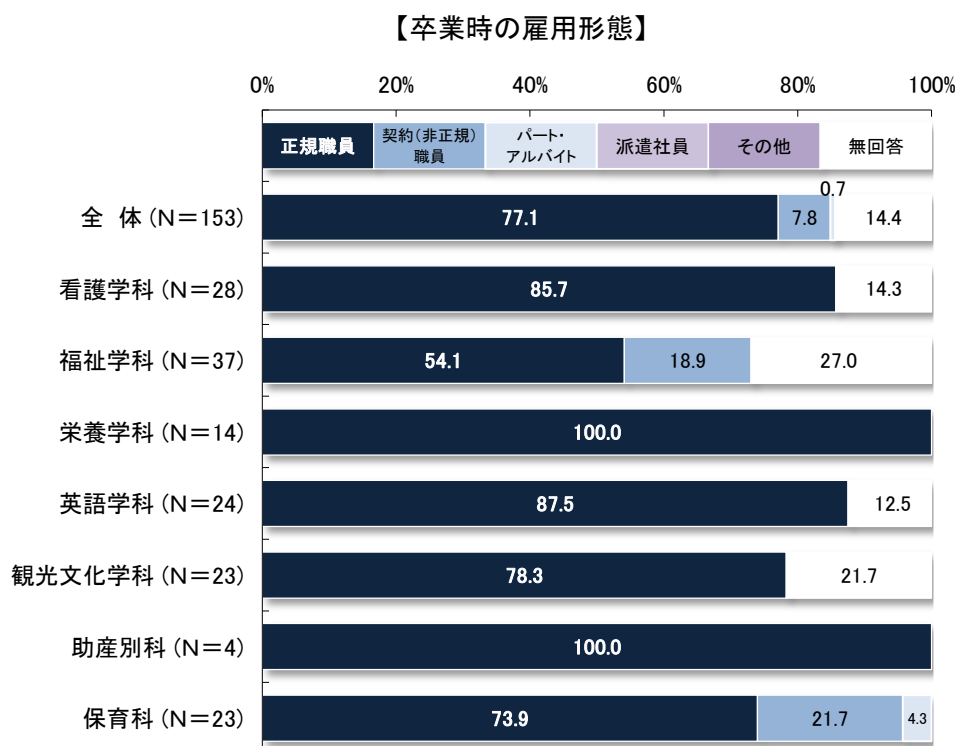


問 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

卒業時の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が77.1%を占め、次いで「契約（非正規）職員」の割合が7.8%となっている。

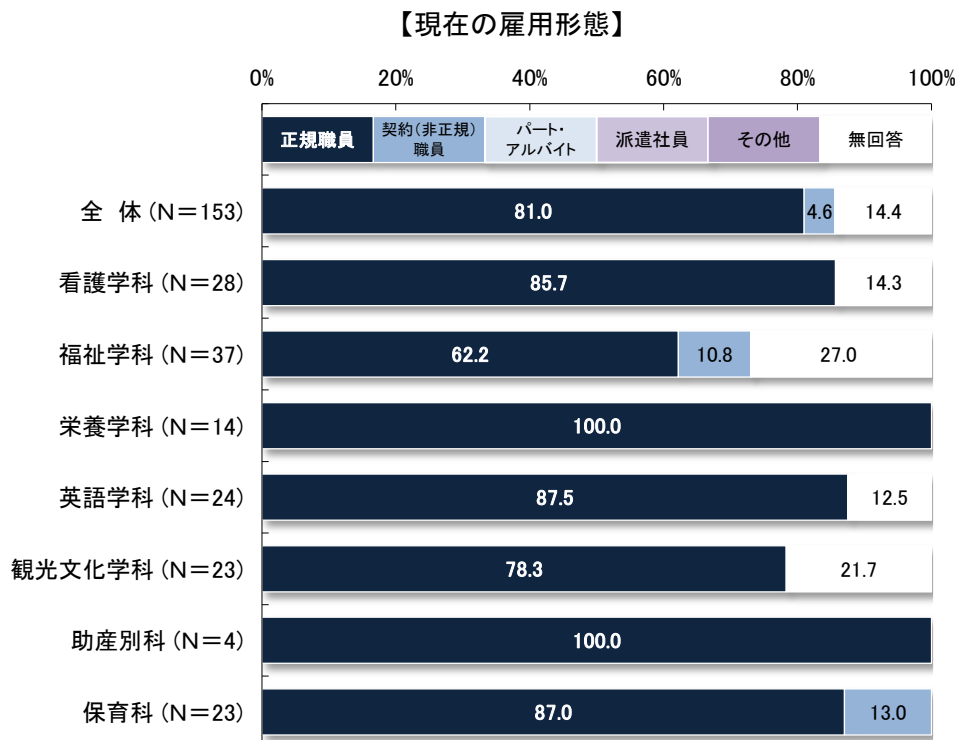
学科別の卒業時の雇用形態をみると、「正規職員」の割合は、看護学科、栄養学科、英語学科、助産別科で8割以上と高いのに対し、福祉学科で比較的低い傾向がある。



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

現在の雇用形態は、大学全体では「正規職員」の割合が81.0%と卒業時よりも正規職員の割合が増え、「契約（非正規）職員」（4.6%）などの非正規雇用は減っている。

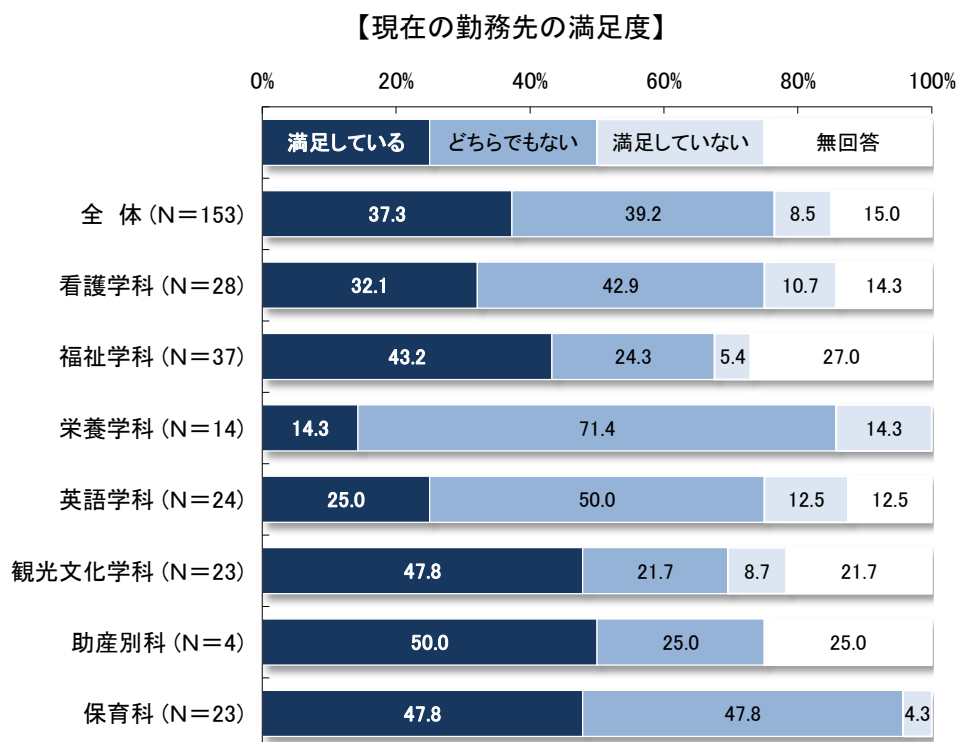
学科別の現在の雇用形態をみると、看護学科、栄養学科、英語学科、観光文化学科、助産別科では「正規職員」の割合は変わっていないが、福祉学科、保育科は卒業時から高くなっている。



問 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

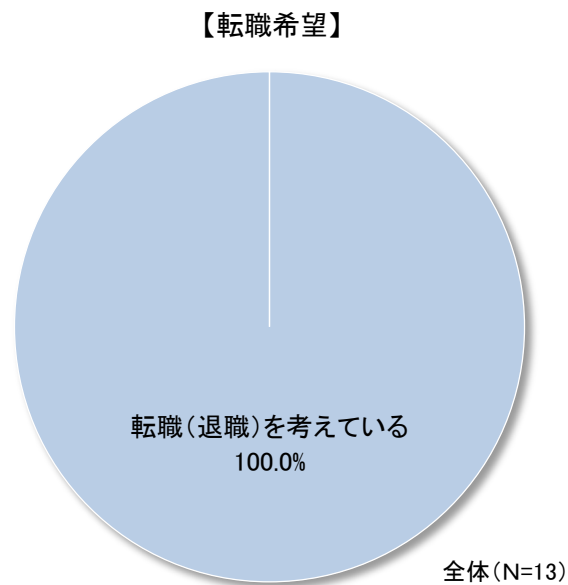
現在の勤務先の満足度は、大学全体では「どちらでもない」(39.2%)が最も多くなっている。

学科別の、現在の勤務先の満足度をみると、福祉学科、観光文化学科、助産別科、保育科は「満足している」の割合が4割以上で、他の学科より高くなっている。



問 II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

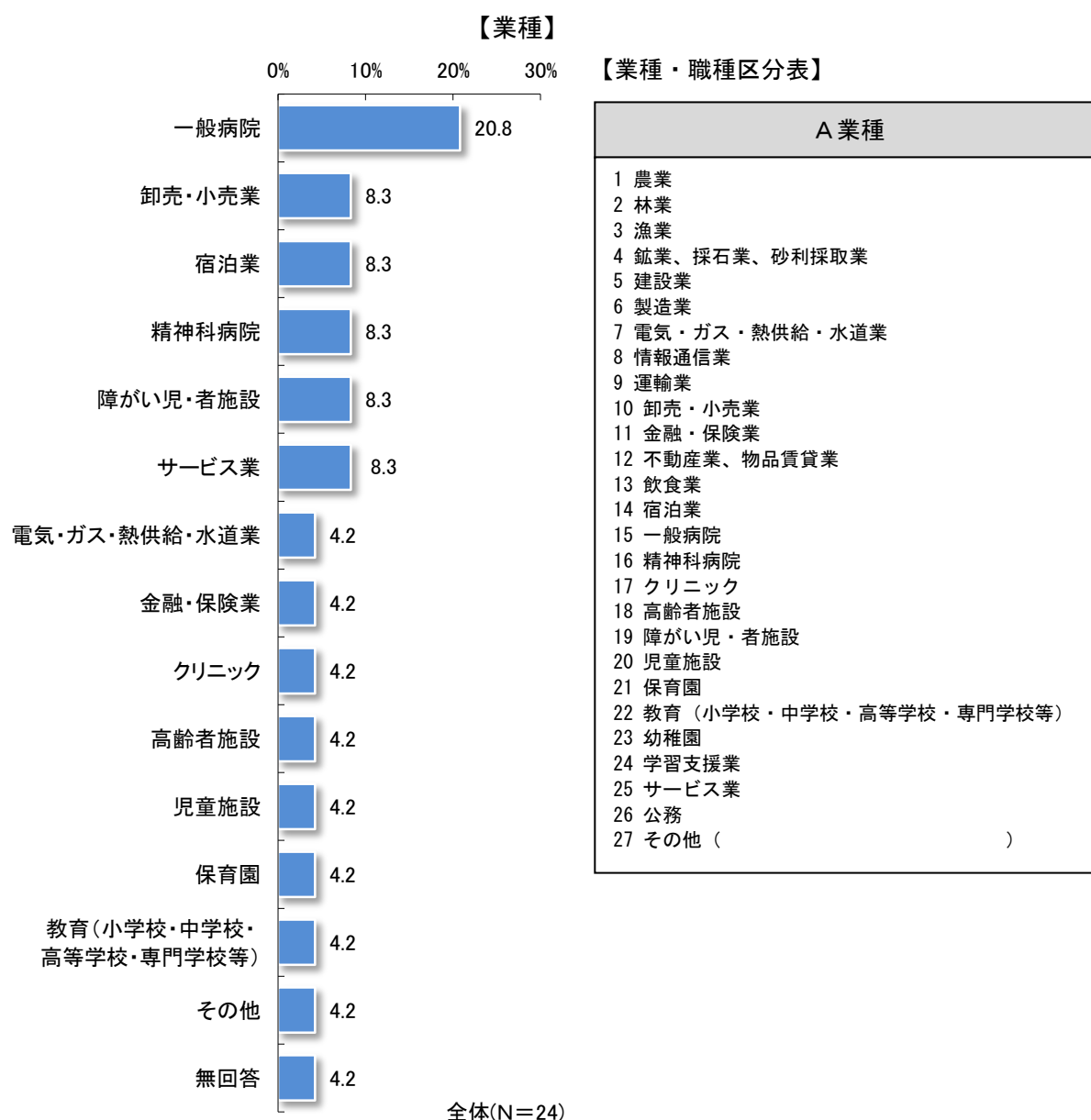
「満足していない」と答えた人の転職（退職）希望は、大学全体で「転職（退職）を考えている」の割合が100.0%となっており、「満足していない」と回答した人の全員が転職（退職）を考えている結果となった。



〔3〕 転職の状況について

問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。
(1つ選択)

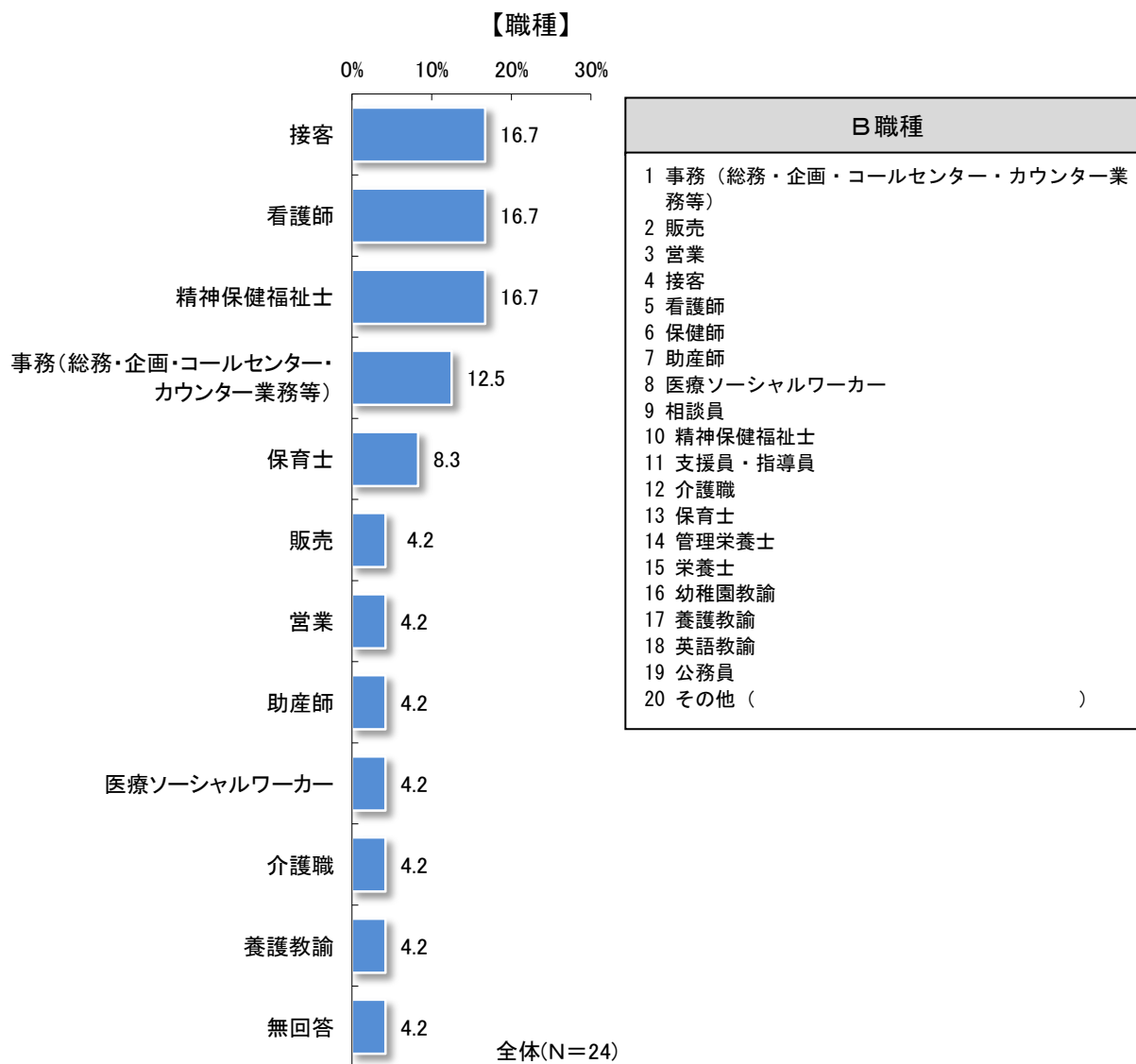
転職した人の卒業時における勤務先の主たる業種は、大学全体では「一般病院」(20.8%)が最も多く、次いで「卸売・小売業」、「宿泊業」、「精神科病院」、「障がい児・者施設」、「サービス業」(いずれも 8.3%) となっている。



※回答のない項目は省略

問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、大学全体では「接客」、「看護師」、「精神保健福祉士」(いずれも 16.7%) が最も多く、次いで「事務(総務・企画・コールセンター・カウンター業務等)」(12.5%) となっている。

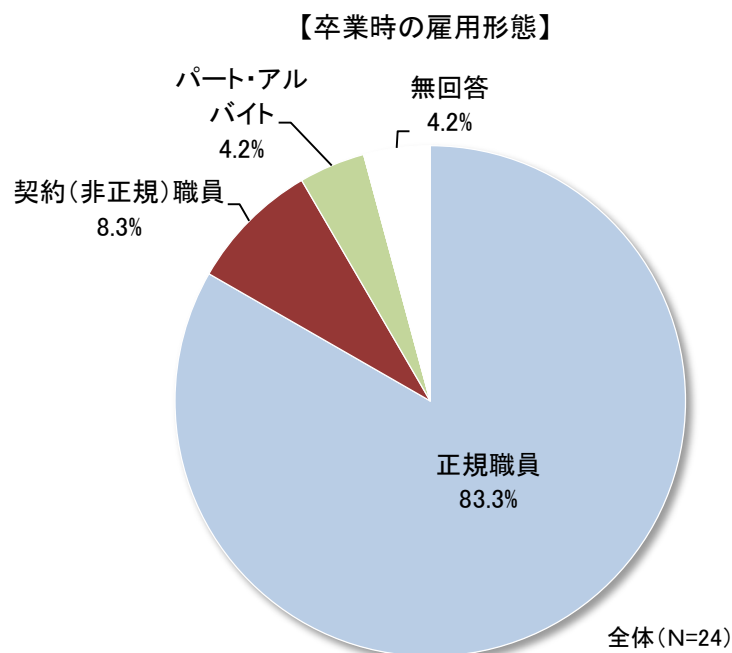


※回答のなかった項目は省略

問 雇用形態について教えてください。

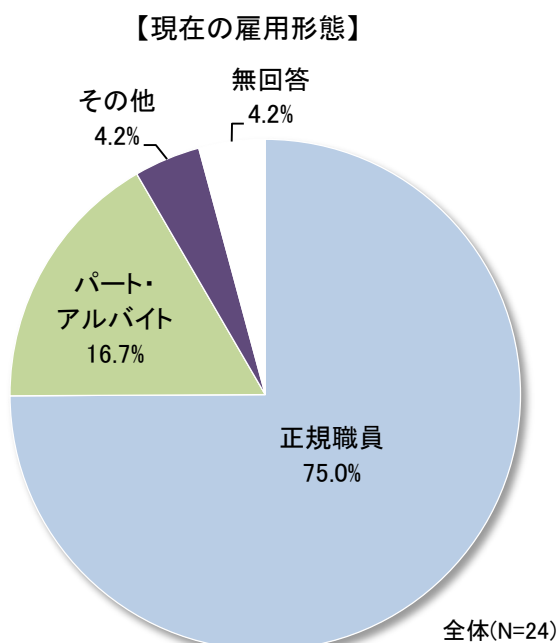
①卒業時の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

転職した人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」(83.3%)が最も多く、次いで「契約(非正規)職員」(8.3%)となっている。



②現在の雇用形態に○をつけてください。(1つ選択)

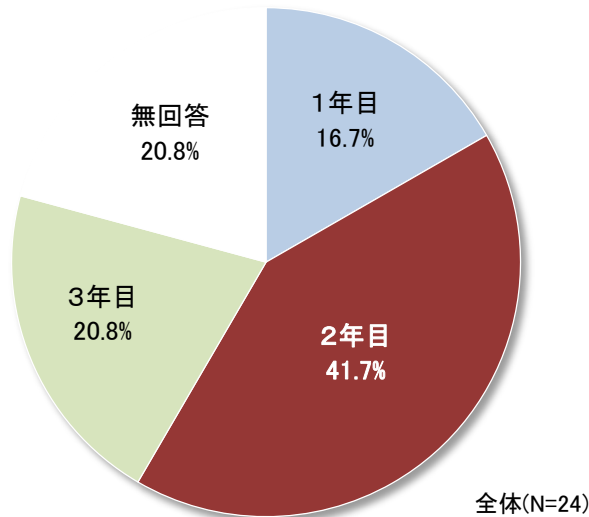
転職した人の現在の雇用形態は、「正規職員」(75.0%)、「パート・アルバイト」(16.7%)、「その他」(4.2%)となっており、卒業時よりも「正規職員」の割合は減り、「パート・アルバイト」、「その他」の割合が増えている。



問 転職された時期をご記入ください。

転職した時期は、入職後「2年目」(41.7%)が最も多く、次いで「3年目」(20.8%)、「1年目」(16.7%)となっている。

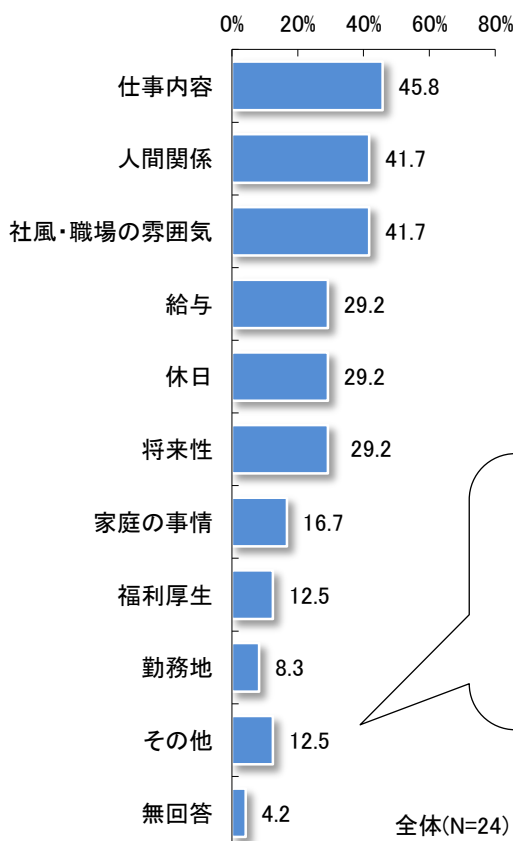
【転職した時期】



問 転職した理由に○をつけてください。

転職理由は、「仕事内容」(45.8%)が最も多く、次いで「人間関係」、「社風・職場の雰囲気」(いずれも 41.7%)となっている。

【転職理由】

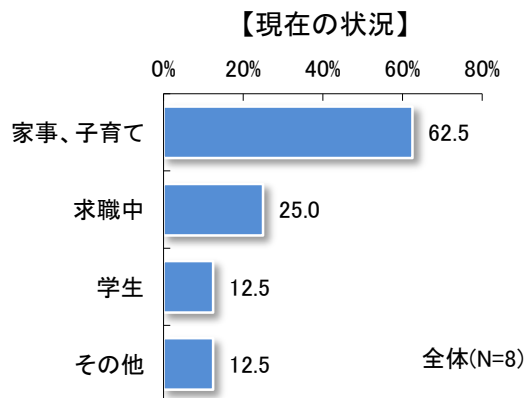


学科	「その他」の内容
看護学科	自分の能力では仕事についていくことが難しいと感じたため。
観光文化学科	自分のやりたい事が見つかった。

〔4〕未就業の状況について

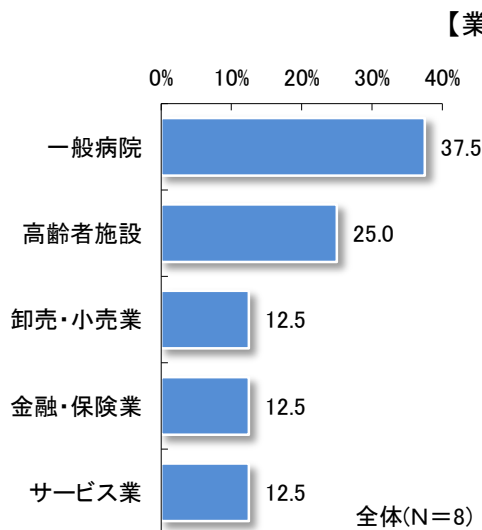
問 現在の状況に○をつけてください。

仕事をしていない人の現在の状況は、「家事、子育て」(62.5%)、「求職中」(25.0%)、「学生」(12.5%)となっている。



問 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。(1つ選択)

現在仕事をしていない人の卒業時における勤務先の主たる業種は、「一般病院」(37.5%)、次いで「高齢者施設」(25.0%)となっている。



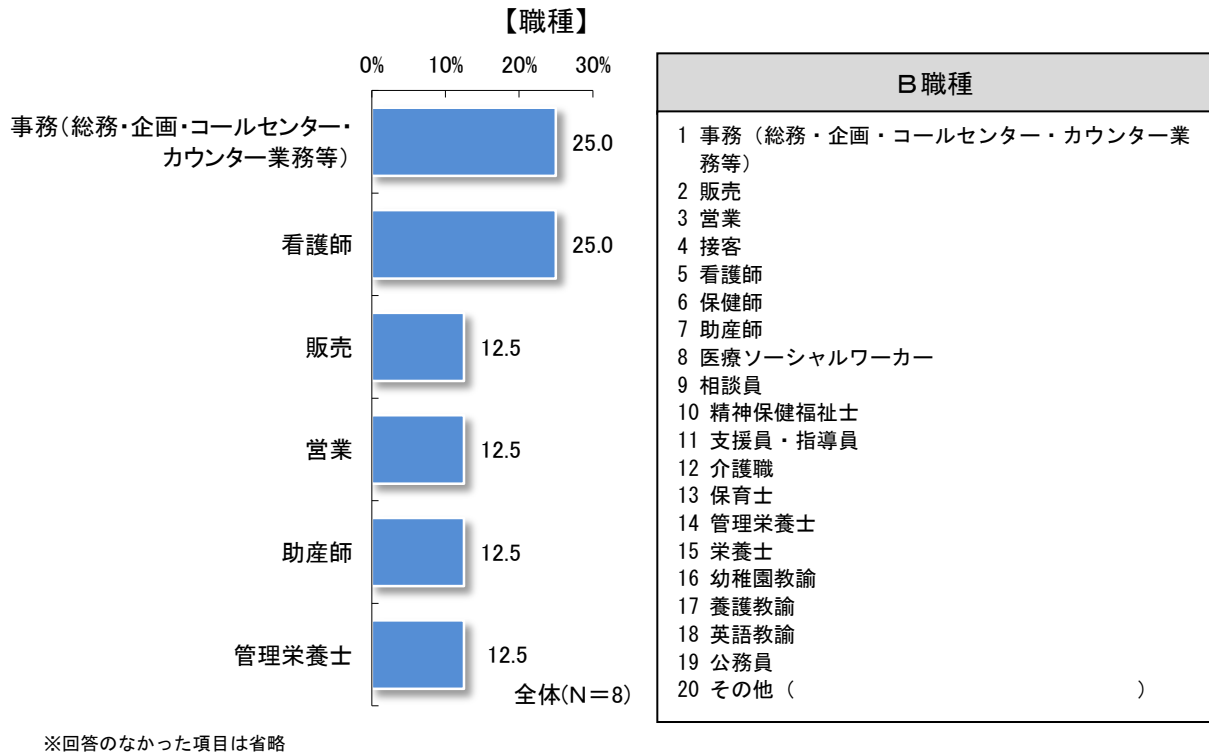
※回答のなかった項目は省略

【業種・職種区分表】

A 業種	
1	農業
2	林業
3	漁業
4	鉱業・採石業・砂利採取業
5	建設業
6	製造業
7	電気・ガス・熱供給・水道業
8	情報通信業
9	運輸業
10	卸売・小売業
11	金融・保険業
12	不動産業、物品賃貸業
13	飲食業
14	宿泊業
15	一般病院
16	精神科病院
17	クリニック
18	高齢者施設
19	障がい児・者施設
20	児童施設
21	保育園
22	教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）
23	幼稚園
24	学習支援業
25	サービス業
26	公務
27	その他（ ）

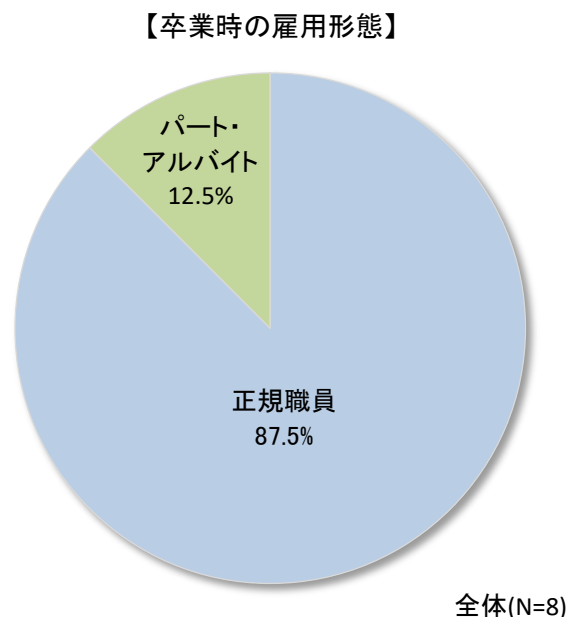
問 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

現在仕事をしていない人の卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種は、「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」、「看護師」（いずれも 25.0%）が最も多い。



問 卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

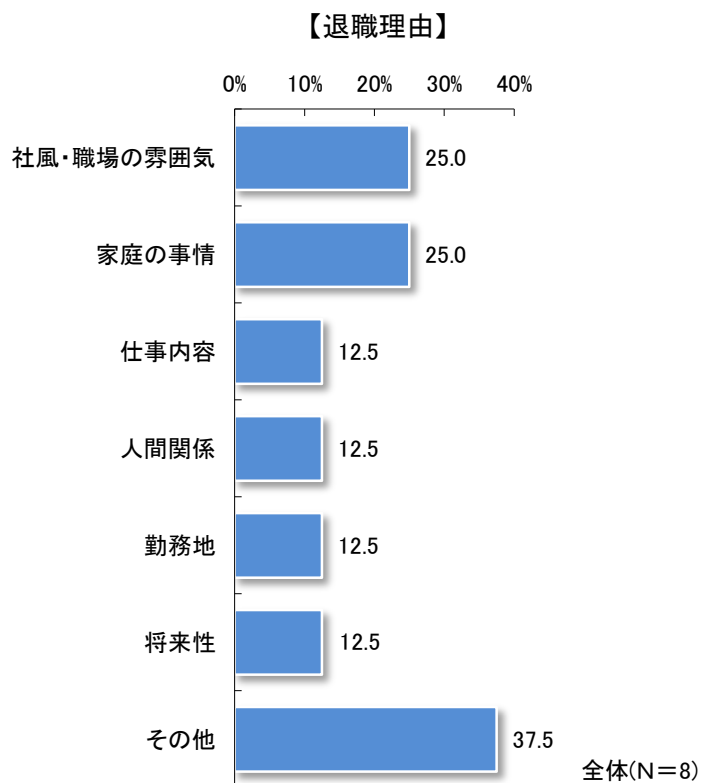
現在仕事をしていない人の卒業時の雇用形態は、「正規職員」（87.5%）、「パート・アルバイト」（12.5%）である。



問 退職した理由に○をつけてください。(複数選択可)

現在仕事をしていない人の退職した理由は、「社風・職場の雰囲気」、「家庭の事情」(いずれも 25.0%) である。

また、「その他」では結婚や配偶者の転勤に係る理由が挙げられている。



※回答のなかった項目は省略

学科	「その他」の内容
看護学科	結婚したため
助産別科	旦那の転勤についていくため

〔5〕仕事についての感想（自由意見）

問 仕事をする中で感じたこと（苦勞したことや成長したことなど）をご記入ください。

仕事についての感想を自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【成長したことについて】

（回答者数:111人/161人[68.9%]）

学科	自由回答
看護学科	人と一緒に働くのはとても難しいなと思いました。コミュニケーションや臨機応変に動くことなど、苦手なことは今も克服できていませんが、逆に得意なことを見つけて、その業務を進んでやるようになりました。
	手厚い指導のおかげでミスなく仕事が出来ており、後輩に教えるまで成長できている。
	個室に入ることすら怖かった重症患者を多少みれるようになったこと。また、先輩に自分の意見や考えを伝えられるようになってきたことは成長したと思う。
	1年目のときはキツかったですが、徐々にしたかったことを達成出来て、今はコロナで仕事も大変ではありますが、楽しく仕事してます。
	急変時の対応。
	コロナ病棟で働いている事。できることが多くなってきたからこそこのような病棟で働くことができるんだと思う。
福祉学科	個々に対する接し方に苦勞することもあったが、その経験を次に活かして取り組んでいる。
	技術的な面もコミュニケーションの面においても成長することができている。
	自分が学んできた知識が活かされている時は成長したと思っています。
	社会の波に揉まれ大人としての落ち着きや協調性や自分の感情をコントロールする力が少しは身につけ成長できたのではないかとと思っています。
	周りの方々に相談に乗ってもらうことで自分自身の考え方も変えていくことができ、楽しく仕事をできるようになった。
栄養学科	自分1人ではできないと思っていた仕事ができるようになった。
英語学科	言葉遣いには苦勞し、成長したと思います。また、身のまわりの観察力がついたと思います。
	社会人としての自覚と考え方に変化があり成長できた。
	成長したこと: コミュニケーションスキル、プレゼン、マネジメントスキル。
	責任感や問題解決能力が培われた。
観光文化学科	多少の理不尽も会社に従わなければならない事もありましたが、その分社会人として鍛えられ、成長したとは思います。
	お客様の心を掴む接客をするにはどうしたらいいのかを入社1年目の頃から考え、お客様に喜んでいただけると実感できると自分自身成長したなと感じます。
	コミュニケーション能力が上がった、視野が広がった。
	社内の人間だけではなくグループ会社・販売店・ユーザーといった多くの人と関わる仕事をする中で、学生時代のように好きな人とだけ関わっていればいいという事が社会では通用しないので、苦手な人とも上手くやっていくところは成長したのではないかなと思う。
	壁があったからこそ、答えのない問題に自分がどう解釈するかという力が養えたと思います。
	成長したことは、相手の立場に立って考える力が強化された。人の気持ちに敏感になった。まだ、成長過程の為に改善できるところを見つけていきます。また、事務もしており、いかに効率良く進めていくかを考え仕事をしていた。物事の優先順位をつけ、時間ごとに目標を区切ったり、周りの方と意見交換し協力したり、パソコンのツールを使い効率化、正確さを高めるなど目標を達成するための行動過程を工夫する力が身に付いた。

保育科	就職してすぐクラス担任をもったのもあり、責任感が持てるようになりました。
	幼稚園教諭になったことで、人からの信頼を得たり、コミュニケーション能力も上がったり、人として成長した部分もある。
	初めての場所、初めての仕事、初めての人で1年目はなかなかコミュニケーションもとれず、出来ない自分がすごく嫌だったのですが、3年目になり分かること、出来ることも増え、職員間でのコミュニケーションや、保護者対応など以前に比べると、とれるようになってきたなと思います。
	子どもとの関わり方のレパートリーが増え、成長を少しずつ感じてきた。
	私は乳児院で働いています。入社当時の私は、子どもたちの入所理由を知ると複雑な気持ち生まれ、どう接して良いか分からない時がありました。ですが、今は入所理由が何であっても、その子にとって乳児院という場所が安心できる場所であるようにと、心に寄り添った関わりを心掛けています。
	1年目は毎日仕事を終えることだけに必死だったが3年目になって少し余裕も出てきて、なんとなく自分のやりたい保育が分かるようになってきた。
	もっともっと学生の時ピアノの練習を頑張ればよかったと後悔してたけど、継続することで発表会ピアノを任されるまでになれた！
	若手なりの苦労や悩みは尽きませんが、園の先生方の支えもあり、子どもの笑顔や保護者の方々からの嬉しいお言葉を頂くと段々と成長していると感じます。
	書き物の多さ。徐々に慣れ、時間がかからずできるようになった。
	個人的にはコミュニケーション能力が主に成長したと思います。
	1年目は分からないことばかりで思うように動けず辛かったけれど、徐々に慣れていき、自分から動けるようになった。
	人間関係に何度も悩んだけど少しずつ考え方も変わって、上手く関わっていけるようになった。大変なことはあるけど、子どものために頑張っている。

【嬉しかったこと、楽しかったことについて】

学科	自由回答
看護学科	コロナ禍で看護師としてはたらくのはたくさんの苦労があるけど、患者さんたちと関わってたくさん考えるのはやりがいがあります。
	患者さんが元気になっていく姿、治療を頑張りたいと前を向いている姿を見た時や、患者さんにとって必要な看護ができた時には、この仕事のやりがいを感じる。
	やりがいがあり、とてもいきいきと仕事ができる。
福祉学科	学生気分から離れられず1年目は慣れるまでしんどかったが、2,3年目では社会人の自覚が出てきて、仕事が楽しくなってきた。
	子どもの成長を見れること。
	そこそこ楽しい。
栄養学科	できることが少しずつ増えていくのは嬉しかったし、多くはないですが、栄養に関する仕事を任されることもあるし、頼ってくれるのは嬉しかったです。
観光文化学科	接客が楽しく感じた。
	年数が経つにつれて後輩に指導する立場になったとき。成長してくれると嬉しい。
	就職してから初めて触れる事ばかりです。それに慣れるまでが忙しいですが、やればやるだけ身になる事が技術職の楽しさだと思っています！
保育科	働くことで保育士としてのやりがいを見つけることができた。
	子どもと共に成長できるのでその点はとてもやりがいを感じられます。
	毎日楽しく仕事できています。

【仕事に必要なこと、大切なことについて】

学科	自由回答
看護学科	同時進行で仕事をするには優先順位の高いことから進めていくことが大切だと思います。 学生時代の実習や勉強はきつかったけど、仕事を始めてやってよかったと感じます。
福祉学科	ビジネスマナーについて。 人と関わる仕事なので、相手がどう思っているかなどを考えたり汲み取る事。伝え方には気をつけています。 仕事をする中で、他者に頼ることの重要性を強く感じました。『頼る』と言われると誤解が生じるかもしれませんが、「分からないことは上司に質問、相談する」「時には上司に申し出をしてお手本を見せてもらう」「他の方ならその場合どうするかを聞く」等、これらの意味を含めて他者へ頼ることの重要性を実感しました。わからないことは聞く、というのは当たり前のことだと分かってはいても年齢を重ねるにつれて実行しづらくなるものだと思います。何でも1人で行おうとすると、失敗したらどうしよう、やり方がわからないと悩んでしまうかもしれません。他の方に頼るだけでなく、仕事を学ぶ姿勢をいつまでも忘れずにいきたいと思いました。
栄養学科	仕事中だけでなく普段会うときも、しっかりコミュニケーションをとることが、働きやすい職場の雰囲気を作る上で大切だと思います。笑顔で仕事することを心がけています。 専門職であるため常に新しい知識を取り入れることが大切と思います。 臨地実習の重要性。
英語学科	コミュニケーション能力はとても大事だと思います。 Excelなどの使い方、言葉遣い。 資格の取得。 語彙力と忍耐力。
観光文化学科	幅広い年齢層の為、コミュニケーション能力の大切さを実感しました。 現場が変わる度に知らない技術に出会う為、その都度勉強が必要になります。 優先順位をつけること。 人間関係が一番大事だと感じた。毎日仕事をする中で一緒に働く人が良ければ、たとえきつい、苦しい職務でも頑張れる。逆に仕事内容は楽しく、やりがいを感じるが一緒に働く人が良くなければ、どんなにやりがいを感じても毎日働けないと思う。
助産別科	優先順位を考えながら業務し、周りと連携をとること。
保育科	集団の中で子どもたち一人ひとりに合った援助をすることが、どれだけ大変で大切なことが身に染みて感じた。 仕事をする中で報連相の大切さを改めて実感しました。

【苦勞したことについて】

学科	自由回答
看護学科	1年目の頃に技術を自立するまで練習、評価の過程が大変でした。 人間関係がうまくいかなかった時、逃げ場がなく、どうしたら良いか分からなかった。 職場の人と合わなかったこと。 人間関係。 どの職種もそうだと思うが人間関係が一番難しい。 きつくて絶対に出勤しないと代わりがないところ(三交代制のため)。 仕事をしていて楽しいと思えることは正直少ない。生死と隣り合わせの仕事で、責任感が重く、息をつく暇もないくらい忙しい。 最初は多重業務の優先度の付け方と覚える方が多すぎて苦勞しました。

福祉学科	知識不足を感じる人が多いです。
	人間関係の難しさ。
	事務ということで入社したが、CADを使う設計に配属され、知識がなにもなかったのではと苦戦している。
	お客様の購買意欲をいかに高めるか、気持ち良く買い物していただくにはどうすれば良いか、などを考えながら接客していたので、きつかった。
	仕事をする上で、子どもに良い環境を提供したいという気持ちと、一職員として役割をこなすというところでの葛藤。
	利用者さんに関わる中で、コミュニケーションの図り方が難しいと感じました。また、受給者証の手続きなど学校で習わなかった作業に対して、戸惑いがあり、初めはスムーズに出来なかった事です。
	書類作成や保護者対応に慣れるまで苦労しました。
	人間関係についてはまだ悩んでいたりとしているところです。
	入職当時は電話対応に慣れず苦労しました。
	様々な人と良好な人間関係を構築することに苦労した。
栄養学科	自分より年代がかなり上の方と上手く人間関係を築くこと。
	経理業務、学校では学ぶことのない仕事をしているので大変です。転勤者が多い職場なので、上司も仕事を理解できていないこともあり、自分なりに過去の資料を調べたり、新しくデータを作成したりしながら日々精進しています。
	勤務時間が不規則。
	パートさん方の年齢層が高く、怒らせてしまわないように接するのがとても難しい。
	人間関係。
	歯科なので、学校で勉強してこなかったことを1から学んでいくことは大変でした。
	施設独自の考え方や食事提供に対する方針がある。今まで学んできた内容と沿わなかったり、理に適っていないのに従うしかない。それに対して理論立てて説明できれば良いが、自信を持って根拠を伝えられないことが多い。
英語学科	上司が合わない仕事に励めない。
	毎日の目標に追われることが大変。
	人間関係。
	お客様相手なので、自分のスケジュール通り進まないことには未だに苦労します。ただ、お客様から学ぶこともたくさんあります。
	苦労したこと:エクセルを用いた資料作り、売上計算など。
	業界歴は浅いのに、年上の取引先の方に言わないといけな事をきちんと伝える事が難しいなと感じています。
観光文化学科	苦手なこともやらなければならない事に苦労しました。
	目標達成するのに必死だった。
	ご立腹のお客様に対してはどのような言葉遣いや対応を行ったら少しでも納得してご搭乗いただけるか、お客様一人ひとりに寄り添った対応は未だに苦労しています。先輩方の姿を見て日々勉強しています。
	上司からの嫌がらせ。
	総合職であるので、資格を取得したり様々なことを1から覚えていくことが大変でした。
	入社してから、ひとり立ち出来るまで覚える事が多く、全てに苦労した。
	苦労したことは、顧客志向と数字のジレンマをどう乗り越えるか新卒ながらに悩みました。
	苦労したことはお客様の考えていることに寄り添い、ベストな提案をする中でお客様の本音を引き出すことです。

助産別科	まだまだ毎日が大変です。いろいろな経験をさせてもらい、日々試練です。
保育科	子どもの成長を感じられ毎日充実していたが、毎日持ち帰りの仕事に追われ、給料も割に合っておらず、退職をすることになった。
	子供一人ひとりを安全に預かる責任と重さ。
	実際の現場で働く業務だけでなく、人間関係でとても苦労した。
	持ちかえり仕事が多い。
	書き物の多さ。初めは時間がかかり、帰ってから仕事をする事もあった。
	気になる子どもとの関わり方、保護者対応に苦労しました。

【学べたことについて】

学科	自由回答
看護学科	仕事の責任感の重さ。
	都内の大学病院で多くの症例をみる事ができた。
	教科書では学べない看護技術がたくさんあったこと。
福祉学科	勤務内容と給与が見合っていないのが苦痛だったが、社会人としての心構えなどを教えていただいたのはとても感謝している。
英語学科	いろんな方と出会うこと。
	時間の大切さと自分の情報を相手に正確に伝えることを学んだ。
観光文化学科	大きな目標に向かうために、日々小さな目標を立てて実行することが着実な成果と自信に繋がると感じた。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	転職後もやりづらさを感じ、精神科で発達の検査を受けたところ、注意欠陥の特性があると分かりました。学生時代に気づけていればもっと違った道があったかもしれないと思いました。
	社会人としてお金を稼ぐことの厳しさ。
	命の現場で働くことに緊張する。
	ICU勤務だったが、コロナによりやりがいを見つけられなくなった。
	過酷なので正直やめたいと思うことが多くありますが、なんとかやっています。大学に遊びに行きたいので行けなくて寂しいです。
福祉学科	在学中に、もっと実際に学校現場で働くことを見据えて学習しておいたら、現場で働くときにスムーズに仕事のできたのではないかと感じる。
観光文化学科	現在は旅行業の宿泊関係を扱っており、観光文化学科で学んだことが活かせております。入社したては人間関係で一時期悩みましたが、今は楽しく同僚と働いております。上司が育休に入ったことにより主体となって今いる部署で責任持って業務に努めております。
助産別科	日々充実感を感じている。

〔6〕大学・短大で受けた教育について

① 達成度と必要性（全体）

問 ①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。
その他を選択した場合は、（ ）内に具体的内容をご記入ください。

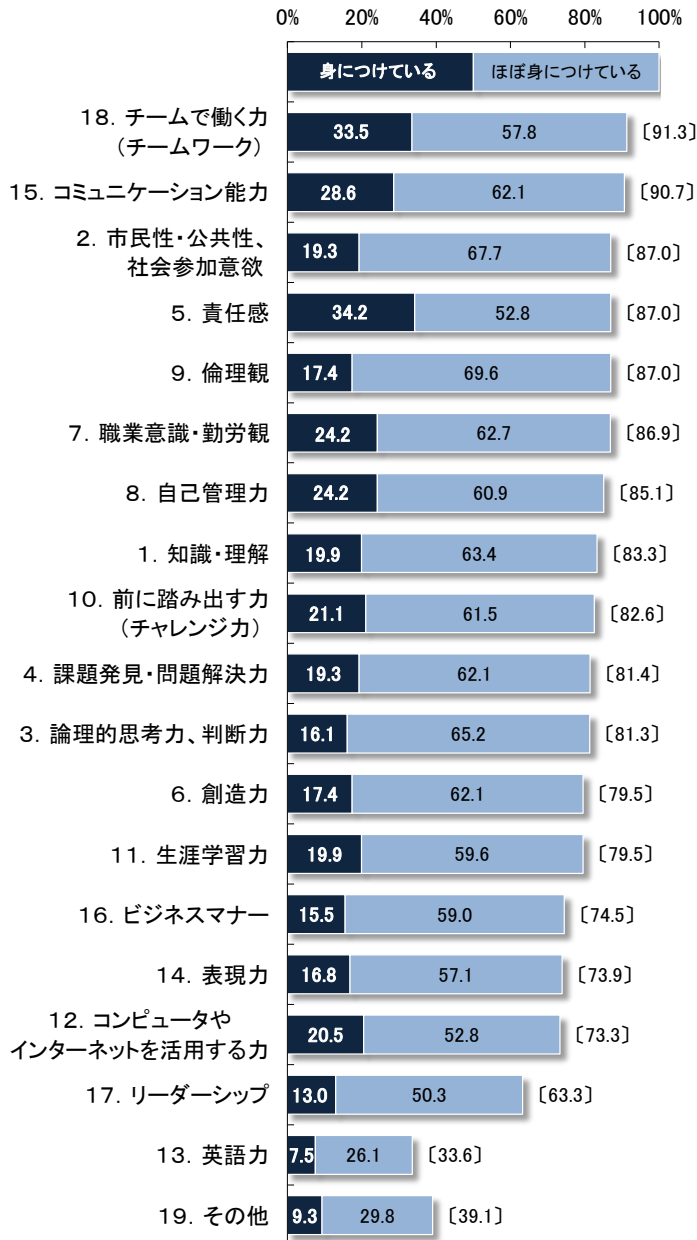
西南女学院大学で得た力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価する人の割合をみると、「18. チームで働く力（チームワーク）」（91.3%）が最も多くなっている。また、これに次いで「15. コミュニケーション能力」（90.7%）、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」、「5. 責任感」、「9. 倫理観」（いずれも 87.0%）、「7. 職業意識・勤労観」（86.9%）、「8. 自己管理能力」（85.1%）が 85%を超えている。

現在の仕事において必要な力やスキルが『役に立つ』（役に立つ＋やや役に立つ）と評価する人の割合をみると、「8. 自己管理能力」（93.8%）が最も多くなっている。また、これに次いで「18. チームで働く力（チームワーク）」（91.3%）、「5. 責任感」（90.7%）、「9. 倫理観」（90.1%）が 90%を超えている。

【達成度と必要性】

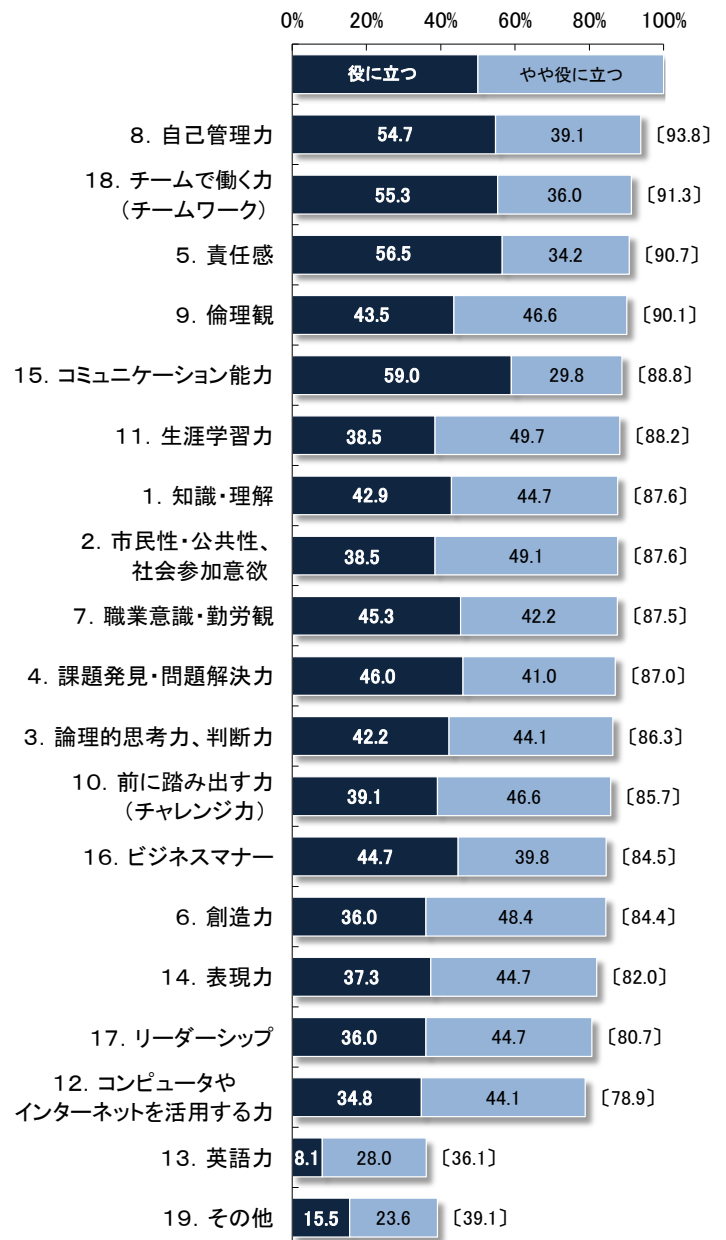
達成度

西南女学院大学で得た力やスキル
(各項目ともN=161)



必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=161)



注1) 達成度の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」の4段階。

注2) 達成度の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

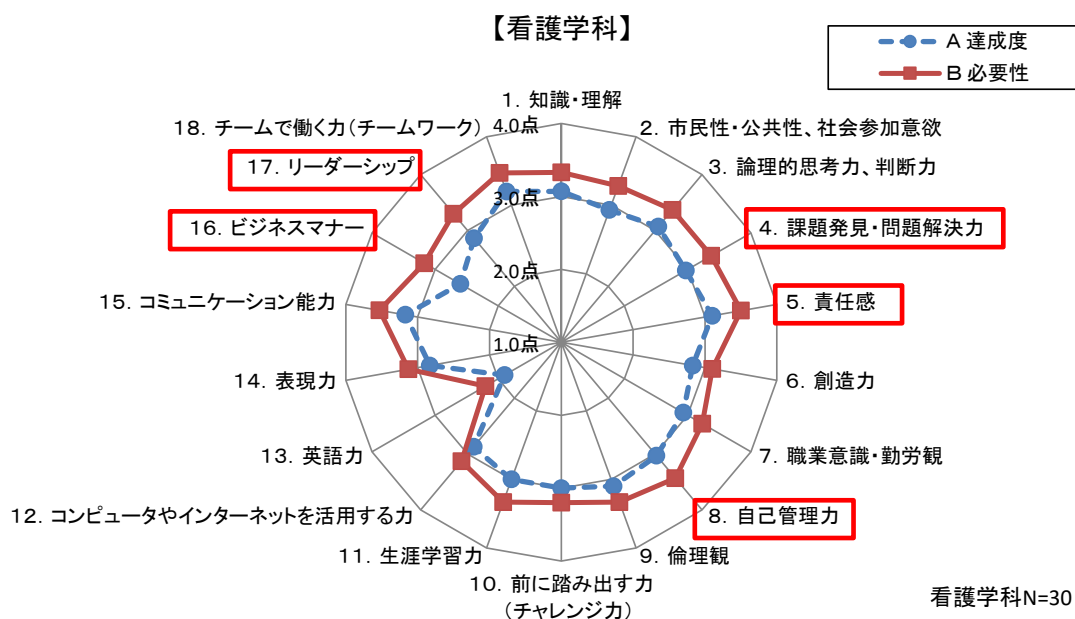
注3) 必要性の選択肢は「役に立つ」、「やや役に立つ」、「あまり役に立たない」、「役に立たない」の4段階。

注4) 必要性の〔 〕は「役に立つ」+「やや役に立つ」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

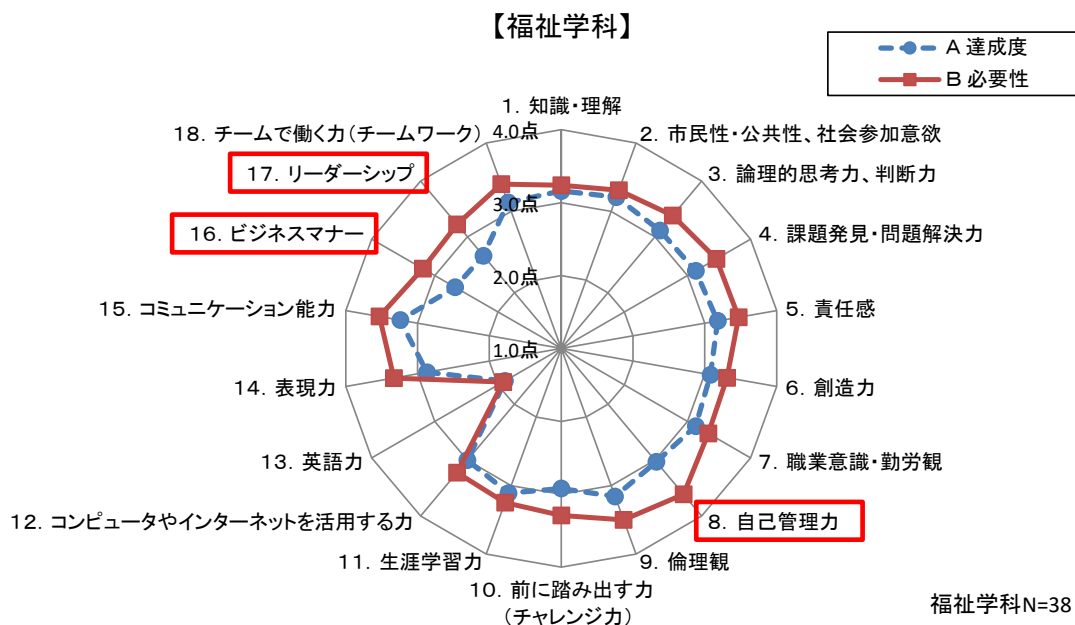
② 達成度と必要性（学科別）

達成度と必要性について、「身につけている」、「役に立つ」=4点、「ほぼ身につけている」、「やや役に立つ」=3点、「あまり身につけていない」、「あまり役に立たない」=2点、「身につけていない」、「役に立たない」=1点として配点し、達成度と必要性の各項目の平均点を算出した。達成度と必要性を比較し、各学科に必要な能力がどの程度達成されているのか、確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

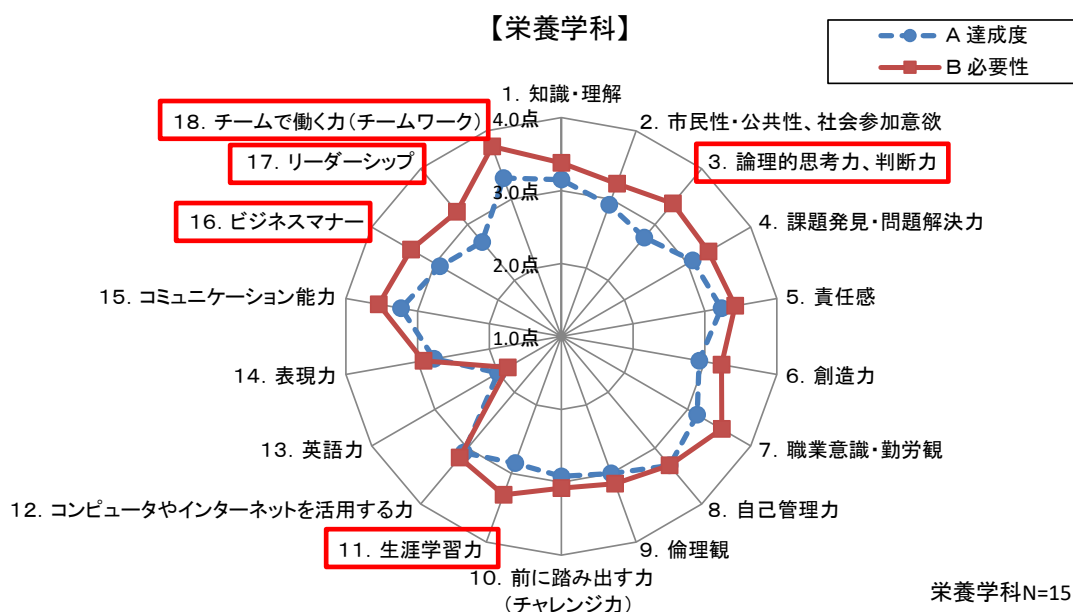
看護学科では、「16. ビジネスマナー」の必要性が達成度よりも0.57ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」で0.44ポイント、「4. 課題発見・問題解決力」、「5. 責任感」、「8. 自己管理能力」で0.40ポイント高くなっている。看護学科は、すべての項目で必要性が達成度よりも高い結果となっている。



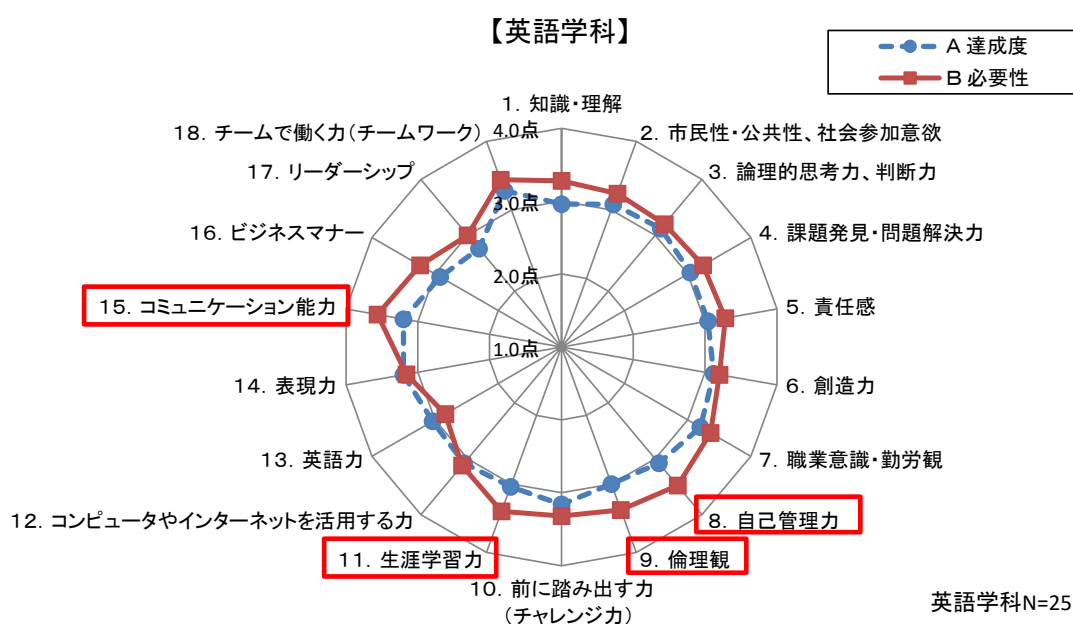
福祉学科では、「8. 自己管理能力」の必要性が達成度よりも0.58ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が0.56ポイント、「16. ビジネスマナー」が0.51ポイント高くなっている。



栄養学科では、「3. 論理的思考力、判断力」の必要性が達成度よりも 0.61 ポイント高く、次いで「17. リーダーシップ」が 0.54 ポイント、「11. 生涯学習力」、「16. ビジネスマナー」、「18. チームで働く力 (チームワーク)」が 0.46 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性より 0.15 ポイント高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。

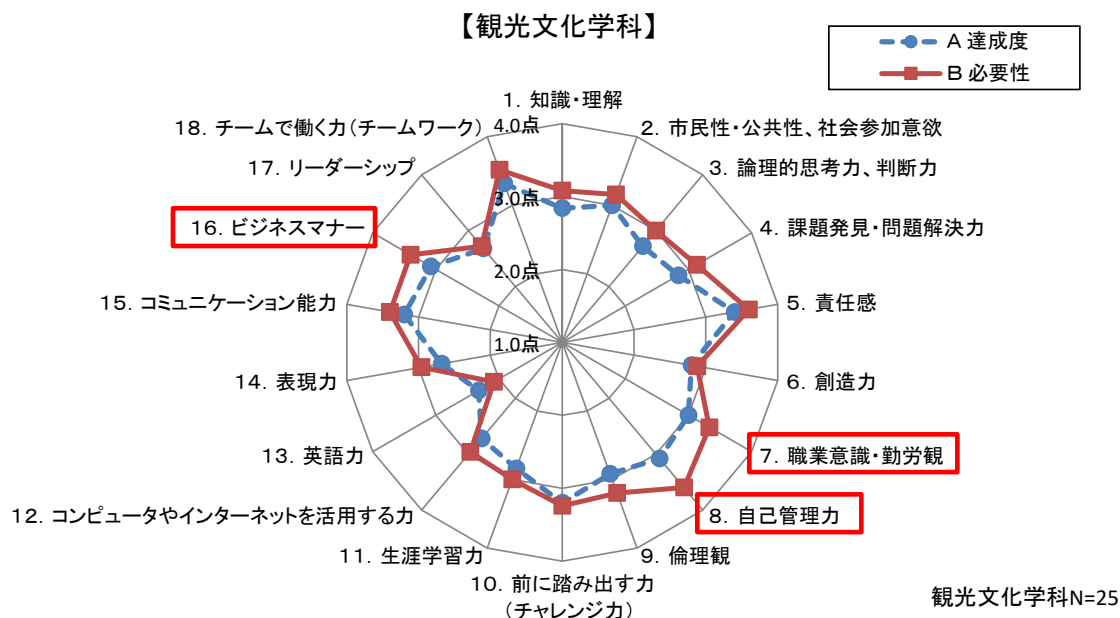


英語学科では、「8. 自己管理能力」の必要性が達成度よりも 0.40 ポイント高く、次いで「9. 倫理観」が 0.38 ポイント、「11. 生涯学習力」、「15. コミュニケーション能力」が 0.36 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」が 0.20 ポイント、「14. 表現力」が 0.04 ポイント必要性より達成度が高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。

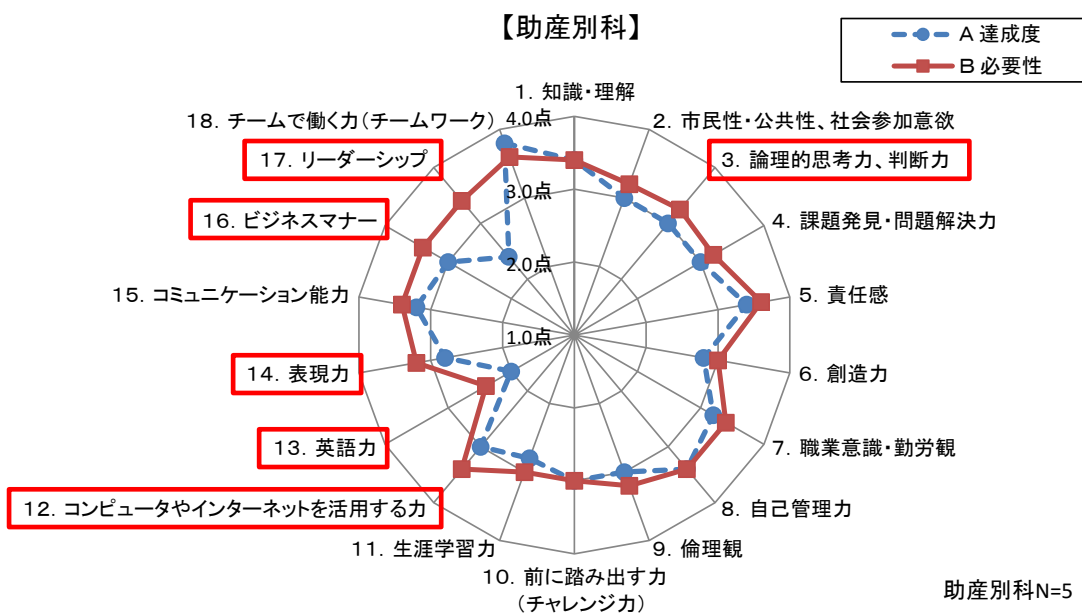


第1章 卒業生アンケート

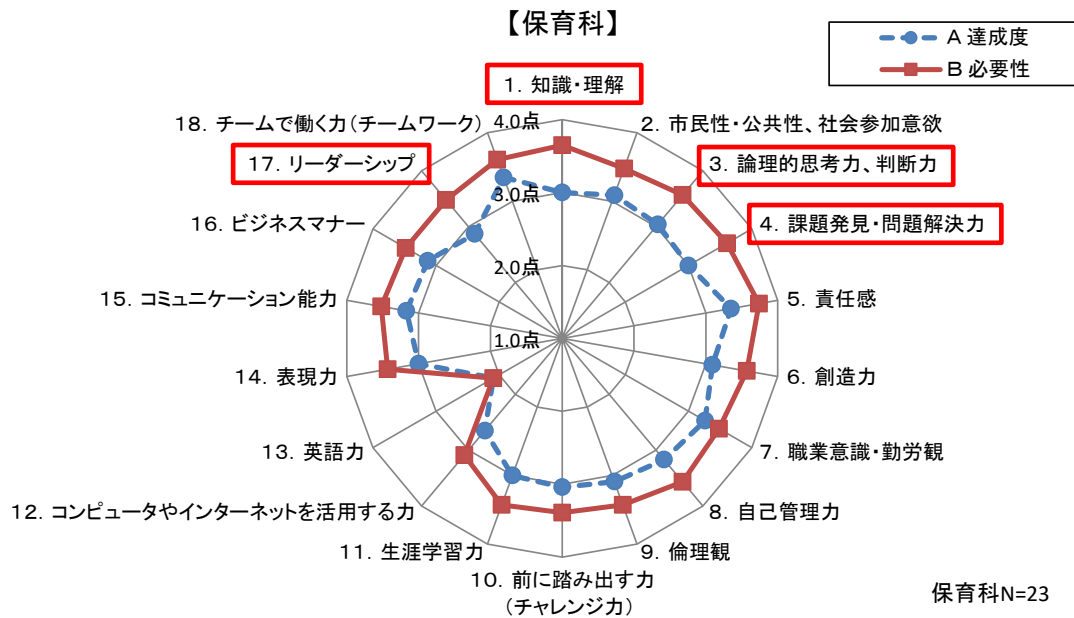
観光文化学科では、「8. 自己管理能力」の必要性が達成度よりも 0.52 ポイント高く、次いで「7. 職業意識・勤労観」が 0.33 ポイント、「16. ビジネスマナー」が 0.32 ポイント高くなっている。一方で「13. 英語力」の達成度は必要性より 0.24 ポイント高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



助産別科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも 1.00 ポイント高く、次いで「12. コンピュータやインターネットを活用する力」、「13. 英語力」、「14. 表現力」、「16. ビジネスマナー」が 0.40 ポイント高く、「3. 論理的思考力、判断力」が 0.25 ポイント高くなっている。「1. 知識・理解」、「8. 自己管理能力」、「10. 前に踏み出す力 (チャレンジ力)」は達成度と必要性のポイントに差はない。一方、「18. チームで働く力 (チームワーク)」の達成度は必要性より 0.20 ポイント高く、求められる能力を達成していると考えられる人が多いことがうかがえる。



保育科では、「1. 知識・理解」の必要性が達成度よりも 0.65 ポイント高く、次いで「4. 課題発見・問題解決力」、「17. リーダーシップ」が 0.61 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 0.53 ポイント高くなっている。「13. 英語力」は達成度と必要性のポイントに差はない。



③ 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（全体）

能力やスキルを身につけるために役立ったことは、多くの項目について「大学での講義」が役立っていると回答している人が多い。一方で、「17. リーダーシップ」、「18. チームで働く力（チームワーク）」については「研究室、ゼミ活動」が役に立ったと回答した人が多く、「5. 責任感」、「7. 職業意識・勤労観」、「8. 自己管理能力」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」、「15. コミュニケーション能力」などでは「実習、インターンシップ」、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」は「研究室、ゼミ活動」と「実習、インターンシップ」が同率で役立ったと回答している人が多い。

【能力やスキルを身につけるために役立ったこと】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解	161	78.3	35.4	5.6	47.2	1.9	5.0	8.1	1.9	5.6	14.3	6.2
2. 市民性・公共性、社会参加意欲	161	32.9	38.5	6.8	38.5	0.6	11.8	23.0	0.6	14.9	5.6	8.1
3. 論理的思考力、判断力	161	51.6	34.8	4.3	41.6	0.6	5.6	16.1	0.6	4.3	9.9	8.7
4. 課題発見・問題解決力	161	53.4	46.0	2.5	41.0	1.2	8.1	13.7	0.6	3.7	8.7	9.3
5. 責任感	161	27.3	35.4	5.0	48.4	0.6	12.4	36.6	－	5.0	8.1	6.2
6. 創造力	161	43.5	41.0	2.5	30.4	1.2	12.4	8.1	1.2	2.5	3.1	11.8
7. 職業意識・勤労観	161	36.0	30.4	9.3	48.4	0.6	2.5	23.6	1.2	1.2	11.8	7.5
8. 自己管理能力	161	36.0	30.4	4.3	41.0	2.5	11.8	25.5	－	2.5	9.3	8.7
9. 倫理観	161	49.7	33.5	5.6	32.3	1.9	6.8	13.0	0.6	3.1	8.1	11.8
10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）	161	31.1	39.8	6.2	44.1	3.7	13.0	18.6	1.2	5.0	6.2	8.7
11. 生涯学習力	161	50.9	37.3	6.2	26.7	1.2	3.1	8.1	1.2	2.5	9.3	10.6
12. コンピュータやインターネットを活用する力	161	71.4	28.6	3.1	11.8	0.6	1.9	3.7	3.7	0.6	6.8	10.6
13. 英語力	161	65.8	10.6	2.5	3.1	5.0	0.6	0.6	1.2	0.6	0.6	24.8
14. 表現力	161	54.0	42.2	2.5	33.5	2.5	4.3	8.7	1.2	1.2	3.7	14.3
15. コミュニケーション能力	161	42.2	46.0	6.2	49.1	3.7	19.9	36.6	－	5.6	6.2	7.5
16. ビジネスマナー	161	39.1	26.7	8.7	38.5	2.5	5.6	31.1	1.2	1.2	11.8	10.6
17. リーダーシップ	161	34.2	36.0	5.0	33.5	1.9	9.9	17.4	0.6	5.0	4.3	10.6
18. チームで働く力（チームワーク）	161	41.0	44.7	3.7	41.0	2.5	16.1	28.0	－	5.6	11.2	8.1
19. その他	161	14.3	10.6	5.0	11.2	1.9	3.7	5.6	3.1	1.2	2.5	68.9

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（１～４）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
1. 知識・理解												
全 体	161	78.3	35.4	5.6	47.2	1.9	5.0	8.1	1.9	5.6	14.3	6.2
看護学科	30	86.7	33.3	3.3	63.3	-	3.3	-	-	3.3	6.7	6.7
福祉学科	38	78.9	47.4	2.6	68.4	-	7.9	5.3	2.6	7.9	21.1	5.3
栄養学科	15	80.0	53.3	-	53.3	-	-	26.7	-	-	13.3	20.0
英語学科	25	72.0	24.0	12.0	16.0	12.0	8.0	8.0	4.0	8.0	8.0	8.0
観光文化学科	25	60.0	28.0	4.0	28.0	-	4.0	16.0	4.0	8.0	16.0	4.0
助産別科	5	80.0	20.0	-	40.0	-	-	20.0	-	-	20.0	-
保育科	23	91.3	30.4	13.0	43.5	-	4.3	-	-	4.3	17.4	-
2. 市民性・公共性、社会参加意欲												
全 体	161	32.9	38.5	6.8	38.5	0.6	11.8	23.0	0.6	14.9	5.6	8.1
看護学科	30	36.7	33.3	3.3	46.7	-	10.0	26.7	-	10.0	-	10.0
福祉学科	38	42.1	39.5	5.3	47.4	-	7.9	21.1	-	26.3	10.5	5.3
栄養学科	15	33.3	40.0	-	40.0	-	20.0	40.0	-	6.7	6.7	20.0
英語学科	25	32.0	28.0	20.0	24.0	4.0	12.0	24.0	4.0	12.0	8.0	12.0
観光文化学科	25	8.0	56.0	4.0	20.0	-	16.0	16.0	-	20.0	-	8.0
助産別科	5	-	-	-	60.0	-	20.0	40.0	-	20.0	-	-
保育科	23	47.8	43.5	8.7	43.5	-	8.7	13.0	-	4.3	8.7	-
3. 論理的思考力、判断力												
全 体	161	51.6	34.8	4.3	41.6	0.6	5.6	16.1	0.6	4.3	9.9	8.7
看護学科	30	46.7	40.0	3.3	63.3	-	-	10.0	-	-	3.3	13.3
福祉学科	38	63.2	36.8	-	44.7	-	5.3	21.1	-	7.9	18.4	10.5
栄養学科	15	60.0	40.0	-	46.7	-	6.7	33.3	-	-	13.3	20.0
英語学科	25	52.0	24.0	12.0	8.0	4.0	12.0	20.0	4.0	4.0	8.0	8.0
観光文化学科	25	20.0	44.0	4.0	24.0	-	8.0	16.0	-	12.0	4.0	4.0
助産別科	5	100.0	20.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	56.5	26.1	8.7	60.9	-	4.3	4.3	-	-	13.0	-
4. 課題発見・問題解決力												
全 体	161	53.4	46.0	2.5	41.0	1.2	8.1	13.7	0.6	3.7	8.7	9.3
看護学科	30	56.7	56.7	3.3	66.7	-	6.7	3.3	-	3.3	6.7	10.0
福祉学科	38	63.2	36.8	-	50.0	-	2.6	18.4	-	5.3	15.8	10.5
栄養学科	15	60.0	60.0	-	53.3	-	6.7	26.7	-	-	-	20.0
英語学科	25	48.0	32.0	4.0	8.0	4.0	16.0	8.0	4.0	-	8.0	12.0
観光文化学科	25	36.0	60.0	-	12.0	4.0	12.0	28.0	-	12.0	4.0	8.0
助産別科	5	60.0	40.0	-	40.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	52.2	39.1	8.7	52.2	-	8.7	4.3	-	-	13.0	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（５～８）】（％）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
5. 責任感												
全 体	161	27.3	35.4	5.0	48.4	0.6	12.4	36.6	-	5.0	8.1	6.2
看護学科	30	13.3	43.3	3.3	73.3	-	13.3	40.0	-	3.3	3.3	6.7
福祉学科	38	36.8	26.3	-	47.4	-	10.5	39.5	-	2.6	15.8	7.9
栄養学科	15	33.3	60.0	-	53.3	-	6.7	53.3	-	-	6.7	20.0
英語学科	25	32.0	8.0	16.0	16.0	4.0	16.0	44.0	-	4.0	4.0	8.0
観光文化学科	25	8.0	56.0	-	32.0	-	24.0	32.0	-	16.0	4.0	-
助産別科	5	40.0	20.0	-	60.0	-	-	20.0	-	20.0	-	-
保育科	23	39.1	34.8	13.0	65.2	-	4.3	17.4	-	-	13.0	-
6. 創造力												
全 体	161	43.5	41.0	2.5	30.4	1.2	12.4	8.1	1.2	2.5	3.1	11.8
看護学科	30	33.3	40.0	3.3	40.0	-	20.0	3.3	-	3.3	3.3	13.3
福祉学科	38	47.4	34.2	-	36.8	-	5.3	7.9	2.6	-	5.3	18.4
栄養学科	15	33.3	66.7	-	33.3	-	20.0	26.7	-	-	-	20.0
英語学科	25	40.0	32.0	12.0	8.0	8.0	8.0	12.0	4.0	-	-	12.0
観光文化学科	25	24.0	44.0	-	16.0	-	20.0	8.0	-	12.0	-	8.0
助産別科	5	60.0	20.0	-	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-
保育科	23	78.3	47.8	-	43.5	-	4.3	-	-	-	8.7	-
7. 職業意識・勤労観												
全 体	161	36.0	30.4	9.3	48.4	0.6	2.5	23.6	1.2	1.2	11.8	7.5
看護学科	30	33.3	30.0	16.7	66.7	-	-	13.3	-	3.3	6.7	10.0
福祉学科	38	39.5	34.2	-	52.6	2.6	-	23.7	-	2.6	18.4	7.9
栄養学科	15	40.0	53.3	-	46.7	-	-	33.3	6.7	-	13.3	20.0
英語学科	25	24.0	16.0	12.0	24.0	-	8.0	40.0	4.0	-	4.0	8.0
観光文化学科	25	12.0	40.0	12.0	36.0	-	4.0	20.0	-	-	12.0	4.0
助産別科	5	60.0	-	20.0	80.0	-	-	40.0	-	-	-	-
保育科	23	65.2	21.7	13.0	52.2	-	4.3	13.0	-	-	17.4	-
8. 自己管理力												
全 体	161	36.0	30.4	4.3	41.0	2.5	11.8	25.5	-	2.5	9.3	8.7
看護学科	30	26.7	36.7	6.7	80.0	3.3	10.0	13.3	-	3.3	6.7	6.7
福祉学科	38	31.6	28.9	2.6	34.2	2.6	13.2	26.3	-	-	13.2	13.2
栄養学科	15	33.3	40.0	-	40.0	-	6.7	33.3	-	-	6.7	20.0
英語学科	25	40.0	16.0	12.0	12.0	8.0	16.0	40.0	-	-	8.0	8.0
観光文化学科	25	28.0	40.0	4.0	12.0	-	12.0	28.0	-	8.0	12.0	8.0
助産別科	5	40.0	-	-	60.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-
保育科	23	60.9	30.4	-	60.9	-	8.7	17.4	-	4.3	8.7	-

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（9～12）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
9. 倫理観												
全 体	161	49.7	33.5	5.6	32.3	1.9	6.8	13.0	0.6	3.1	8.1	11.8
看護学科	30	46.7	30.0	10.0	60.0	-	3.3	6.7	-	3.3	10.0	13.3
福祉学科	38	52.6	36.8	2.6	39.5	5.3	7.9	26.3	-	7.9	18.4	7.9
栄養学科	15	60.0	40.0	-	33.3	-	13.3	20.0	-	-	-	20.0
英語学科	25	40.0	24.0	8.0	8.0	4.0	16.0	16.0	-	-	4.0	20.0
観光文化学科	25	28.0	44.0	4.0	4.0	-	-	8.0	4.0	4.0	4.0	16.0
助産別科	5	80.0	20.0	-	80.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	69.6	30.4	8.7	30.4	-	4.3	-	-	-	4.3	-
10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)												
全 体	161	31.1	39.8	6.2	44.1	3.7	13.0	18.6	1.2	5.0	6.2	8.7
看護学科	30	26.7	36.7	3.3	56.7	3.3	16.7	16.7	-	6.7	6.7	10.0
福祉学科	38	28.9	36.8	-	47.4	2.6	7.9	23.7	2.6	5.3	7.9	13.2
栄養学科	15	40.0	53.3	-	40.0	-	6.7	26.7	-	6.7	6.7	20.0
英語学科	25	32.0	20.0	16.0	24.0	12.0	24.0	24.0	4.0	-	-	8.0
観光文化学科	25	20.0	60.0	4.0	20.0	-	16.0	12.0	-	8.0	8.0	4.0
助産別科	5	-	20.0	20.0	100.0	-	20.0	-	-	20.0	-	-
保育科	23	52.2	43.5	13.0	60.9	4.3	4.3	13.0	-	-	8.7	-
11. 生涯学習力												
全 体	161	50.9	37.3	6.2	26.7	1.2	3.1	8.1	1.2	2.5	9.3	10.6
看護学科	30	43.3	43.3	3.3	53.3	-	3.3	3.3	3.3	6.7	6.7	10.0
福祉学科	38	47.4	39.5	2.6	26.3	-	5.3	13.2	-	2.6	15.8	13.2
栄養学科	15	53.3	40.0	-	26.7	-	-	6.7	-	6.7	6.7	26.7
英語学科	25	52.0	24.0	16.0	8.0	8.0	4.0	12.0	4.0	-	8.0	12.0
観光文化学科	25	36.0	52.0	8.0	8.0	-	-	8.0	-	-	4.0	8.0
助産別科	5	80.0	-	-	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-
保育科	23	73.9	30.4	8.7	30.4	-	4.3	-	-	-	13.0	-
12. コンピュータやインターネットを活用する力												
全 体	161	71.4	28.6	3.1	11.8	0.6	1.9	3.7	3.7	0.6	6.8	10.6
看護学科	30	70.0	33.3	-	23.3	-	-	-	6.7	-	6.7	16.7
福祉学科	38	65.8	31.6	-	10.5	2.6	5.3	2.6	5.3	-	7.9	13.2
栄養学科	15	80.0	40.0	6.7	13.3	-	-	6.7	-	6.7	-	20.0
英語学科	25	72.0	20.0	8.0	-	-	-	8.0	4.0	-	8.0	8.0
観光文化学科	25	60.0	32.0	4.0	-	-	4.0	8.0	4.0	-	8.0	8.0
助産別科	5	100.0	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	82.6	13.0	4.3	21.7	-	-	-	-	-	8.7	-

第1章 卒業生アンケート

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（13～16）】（%）

	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターンシップ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
13. 英語力												
全 体	161	65.8	10.6	2.5	3.1	5.0	0.6	0.6	1.2	0.6	0.6	24.8
看護学科	30	60.0	6.7	-	6.7	-	-	-	-	-	-	33.3
福祉学科	38	50.0	2.6	-	-	5.3	2.6	-	-	2.6	-	39.5
栄養学科	15	46.7	-	-	-	-	-	-	6.7	-	-	53.3
英語学科	25	84.0	32.0	12.0	4.0	24.0	-	4.0	4.0	-	-	8.0
観光文化学科	25	76.0	12.0	-	4.0	-	-	-	-	-	-	12.0
助産別科	5	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
保育科	23	82.6	8.7	4.3	4.3	-	-	-	-	-	4.3	-
14. 表現力												
全 体	161	54.0	42.2	2.5	33.5	2.5	4.3	8.7	1.2	1.2	3.7	14.3
看護学科	30	50.0	36.7	-	43.3	-	6.7	6.7	-	3.3	3.3	16.7
福祉学科	38	47.4	42.1	5.3	31.6	-	5.3	13.2	2.6	2.6	5.3	23.7
栄養学科	15	73.3	60.0	-	40.0	-	-	20.0	-	-	6.7	20.0
英語学科	25	52.0	28.0	-	8.0	16.0	8.0	12.0	-	-	-	16.0
観光文化学科	25	40.0	56.0	-	12.0	-	4.0	4.0	4.0	-	-	8.0
助産別科	5	60.0	40.0	-	60.0	-	-	-	-	-	-	-
保育科	23	73.9	39.1	8.7	65.2	-	-	-	-	-	8.7	-
15. コミュニケーション能力												
全 体	161	42.2	46.0	6.2	49.1	3.7	19.9	36.6	-	5.6	6.2	7.5
看護学科	30	30.0	33.3	6.7	73.3	-	26.7	40.0	-	3.3	3.3	10.0
福祉学科	38	50.0	47.4	2.6	44.7	-	15.8	36.8	-	7.9	10.5	7.9
栄養学科	15	40.0	66.7	-	53.3	-	26.7	46.7	-	-	6.7	20.0
英語学科	25	56.0	36.0	8.0	20.0	20.0	28.0	44.0	-	-	-	8.0
観光文化学科	25	24.0	60.0	4.0	20.0	4.0	16.0	32.0	-	16.0	4.0	4.0
助産別科	5	40.0	20.0	-	100.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-
保育科	23	52.2	47.8	17.4	73.9	-	8.7	26.1	-	4.3	13.0	-
16. ビジネスマナー												
全 体	161	39.1	26.7	8.7	38.5	2.5	5.6	31.1	1.2	1.2	11.8	10.6
看護学科	30	23.3	26.7	10.0	56.7	3.3	6.7	30.0	3.3	3.3	6.7	20.0
福祉学科	38	31.6	18.4	5.3	28.9	2.6	5.3	31.6	2.6	-	13.2	10.5
栄養学科	15	26.7	53.3	6.7	33.3	-	6.7	53.3	-	-	13.3	20.0
英語学科	25	48.0	16.0	8.0	12.0	4.0	4.0	36.0	-	-	12.0	8.0
観光文化学科	25	36.0	28.0	8.0	44.0	4.0	4.0	28.0	-	4.0	16.0	8.0
助産別科	5	60.0	40.0	20.0	80.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-
保育科	23	69.6	30.4	13.0	47.8	-	4.3	17.4	-	-	13.0	-

【学科別 能力やスキルを身につけるために役立ったこと（17～19）】（%）

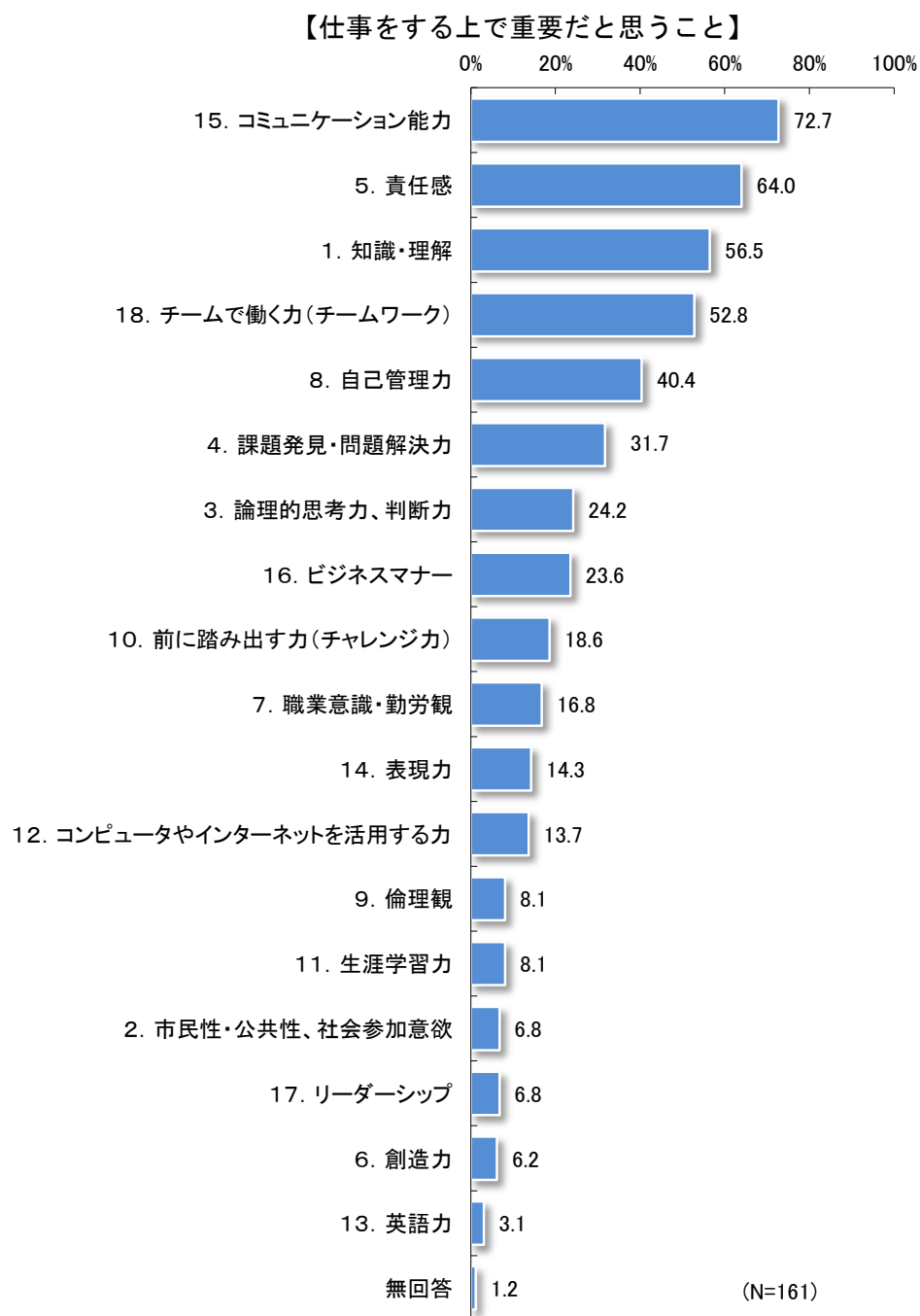
	全体（人）	大学での講義	研究室、ゼミ活動	キャリア教育	実習、インターシンプ	留学	部活・サークル、先輩や友人との交流	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア、地域貢献活動	勤務先での研修	無回答
17. リーダーシップ												
全 体	161	34.2	36.0	5.0	33.5	1.9	9.9	17.4	0.6	5.0	4.3	10.6
看護学科	30	30.0	46.7	3.3	63.3	3.3	10.0	16.7	-	6.7	3.3	10.0
福祉学科	38	39.5	39.5	-	23.7	2.6	7.9	18.4	2.6	2.6	5.3	13.2
栄養学科	15	33.3	46.7	-	46.7	-	13.3	26.7	-	-	-	20.0
英語学科	25	32.0	12.0	8.0	12.0	-	16.0	12.0	-	4.0	8.0	12.0
観光文化学科	25	12.0	36.0	12.0	8.0	-	12.0	24.0	-	12.0	-	12.0
助産別科	5	40.0	20.0	-	60.0	-	-	-	-	20.0	-	-
保育科	23	56.5	39.1	8.7	47.8	4.3	4.3	13.0	-	-	8.7	-
18. チームで働く力（チームワーク）												
全 体	161	41.0	44.7	3.7	41.0	2.5	16.1	28.0	-	5.6	11.2	8.1
看護学科	30	36.7	50.0	3.3	73.3	3.3	13.3	26.7	-	6.7	6.7	10.0
福祉学科	38	42.1	42.1	-	36.8	2.6	10.5	23.7	-	5.3	18.4	10.5
栄養学科	15	46.7	73.3	-	40.0	-	26.7	46.7	-	-	-	20.0
英語学科	25	40.0	24.0	8.0	16.0	-	28.0	32.0	-	4.0	8.0	8.0
観光文化学科	25	24.0	56.0	8.0	16.0	8.0	16.0	28.0	-	16.0	8.0	4.0
助産別科	5	40.0	40.0	-	100.0	-	20.0	40.0	-	-	-	-
保育科	23	60.9	34.8	4.3	47.8	-	8.7	17.4	-	-	21.7	-
19. その他												
全 体	161	14.3	10.6	5.0	11.2	1.9	3.7	5.6	3.1	1.2	2.5	68.9
看護学科	30	-	3.3	-	6.7	-	3.3	3.3	-	-	-	93.3
福祉学科	38	7.9	5.3	-	2.6	2.6	2.6	-	5.3	-	-	84.2
栄養学科	15	13.3	13.3	-	6.7	-	6.7	20.0	-	-	6.7	73.3
英語学科	25	8.0	16.0	8.0	4.0	-	-	4.0	4.0	-	-	68.0
観光文化学科	25	4.0	4.0	4.0	4.0	-	-	4.0	-	-	4.0	76.0
助産別科	5	20.0	20.0	-	40.0	-	20.0	20.0	-	-	-	60.0
保育科	23	60.9	26.1	21.7	43.5	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	8.7	4.3

④ 仕事をする上で重要だと思うこと

問 ②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思うものについて、5つまでその番号をご記入ください。

仕事をする上で重要だと思うことは、「15. コミュニケーション能力」(72.7%) が最も多く、次いで「5. 責任感」(64.0%)、「1. 知識・理解」(56.5%) となっている。

学科別にみると、概ね全体結果と同様の傾向を示しているが、看護学科では「9. 倫理観」、「11. 生涯学習力」、英語学科では「16. ビジネスマナー」、観光文化学科では「16. ビジネスマナー」、「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」、助産別科では「10. 前に踏み出す力(チャレンジ力)」、「11. 生涯学習力」、「17. リーダーシップ」を重要視する人が他学科に比べ際立って多くなっている。



※回答のなかった項目は省略

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (1/2)】(%)

	全体 (人)	15 ・コミュニケーション能力	5 ・責任感	1 ・知識・理解	18 ・チームワークで働く力 (チームワーク)	8 ・自己管理能力	4 ・課題発見・問題解決力	3 ・論理的思考力、判断力	16 ・ビジネスマナー	10 ・前に踏み出す力 (チャレンジ力)	7 ・職業意識・勤労観
全体	161	72.7	64.0	56.5	52.8	40.4	31.7	24.2	23.6	18.6	16.8
看護学科	30	60.0	73.3	76.7	50.0	56.7	40.0	36.7	13.3	6.7	6.7
福祉学科	38	71.1	55.3	55.3	60.5	44.7	31.6	23.7	18.4	21.1	18.4
栄養学科	15	86.7	60.0	53.3	60.0	33.3	20.0	33.3	13.3	－	33.3
英語学科	25	76.0	44.0	36.0	44.0	36.0	28.0	16.0	40.0	12.0	20.0
観光文化学科	25	80.0	72.0	36.0	40.0	40.0	36.0	20.0	44.0	40.0	4.0
助産別科	5	40.0	60.0	60.0	60.0	40.0	20.0	－	－	40.0	－
保育科	23	78.3	82.6	78.3	60.9	21.7	30.4	21.7	17.4	21.7	30.4

【学科別 仕事をする上で重要だと思うこと (2/2)】(%)

	全体 (人)	14 ・表現力	12 ・インターネットを 活用する能力	9 ・倫理観	11 ・生涯学習力	2 ・市民性・公共性、 社会参加意欲	17 ・リーダーシップ	6 ・創造力	13 ・英語力	無回答
全体	161	14.3	13.7	8.1	8.1	6.8	6.8	6.2	3.1	1.2
看護学科	30	3.3	3.3	20.0	20.0	3.3	13.3	－	3.3	－
福祉学科	38	21.1	15.8	10.5	－	7.9	2.6	5.3	－	2.6
栄養学科	15	6.7	13.3	6.7	20.0	13.3	－	－	－	－
英語学科	25	20.0	24.0	8.0	8.0	4.0	12.0	12.0	8.0	－
観光文化学科	25	4.0	20.0	－	4.0	8.0	8.0	4.0	8.0	－
助産別科	5	20.0	20.0	－	20.0	－	20.0	－	－	20.0
保育科	23	26.1	4.3	－	－	8.7	－	17.4	－	－

〔7〕大学時代で有意義だった授業

問 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。
また、よろしければ理由をご記入ください。

大学時代に有意義だったと思う授業について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【研究室・ゼミ、実習・演習・インターンシップについて】

(回答者数:83人/161人[51.6%])

学科	自由回答
看護学科	基礎看護技術→臨床で必ず必要とするため。
	看護実習、教育実習:現在役に立っている。現場を実際に見ることができて良かった。
	実習、現場を知れるから。
	看護病院実習、机上の知識には限界があり、実際にやってみないと分からないから。
	看護実習。
	実習:きつかったがインプットした知識をアウトプットする場所でもあり、新たな学びを得られる場所であったから。
	本当に本当にきつかったですが、実習はとても有意義です。大学時代に友達と一緒に必死に頑張ることで社会人になっても乗り越えられると思います。
福祉学科	演習や実習は実践的で、領域は偏りますが知識がつくと思いました。また、実際、現場に触れることでより福祉的な視点がイメージしやすくなりました。
	Iゼミです。
	ゼミ、自分の好きな分野を深められる。
	演習などはコミュニケーション力、自分で考える力が培えるので、実習や就職した際に役立ったと思います。
	基礎看護技術。
	3.4年の時の実習です。実習に行くことは正直嫌でしたが、後々現場を実際に見ることで学べたことが多々あったと感じるからです。
栄養学科	実習。
	実習(グループワークで色々な仲間とうまくコミュニケーションを取り、課題に取り組む)。
	臨床栄養学実習、給食実習。
	病院実習。人間関係の厳しさを学び、就職先を考える際の参考になったため。
英語学科	大量調理実習。
	論理的に考えるゼミ。
	ゼミです。少人数で濃い時間だったからです。
	ゼミ。

観光文化学科	知識とかは講義で身につけられますが、ゼミの活動が社会と関わるタイミングなので、かなり有意義だったと思います。
	ゼミの課外活動。
	インターンシップではスターフライヤーへ1ヶ月間研修に参加しました。最初は他の企業に参加する予定でしたが、当時インターンの授業の担当であったT先生にスターフライヤーを推薦していただきました。そのおかげで私は将来航空会社に勤めたいと感じるようになりました。また私はYゼミで活動していました。私は事務職など今の職業とは違う職業を志願していましたが、Y先生に「あなたは航空会社にいきなさい」とアドバイスをいただき、今の会社に就職しました。少人数の授業なので先生方は生徒一人ひとりをよく見てくださっているんだなと感じておりました。
	ゼミ。
	K先生の授業 1年生の時のゼミ。
	インターンシップを経験できた授業は、あえて自分が選ばないような業種の選択肢ばかりだったので、違う世界をみる良い経験になりました。
	Y先生のゼミの時間とビジネスマナーです。ゼミでは自分が調べてきたことをプレゼンする時間が、話すことが苦手な私にとっては有意義な時間でした。
助産別科	実習。
保育科	M先生の授業、実践が多く働き出してから使える。
	実習。
	ゼミでの活動がとても有意義だったと感じます。私は施設に興味があったので福祉が専門の先生に付いて、たくさんのことを学びました。福祉の現場で働いていた先生だからこそ、学びに繋がるが多かったと感じます。
	演習系の教科は現場に出てからとても役に立った。
	ゼミ活動、自分たちで主体的に考え企画していく力がついたから。

【パソコン、グループワーク・実験、マナー講座について】

学科	自由回答
看護学科	グループワークのある授業。
福祉学科	グループワークを何度もやっていたおかげで、チームで働く為の必要なスキルが身についた気がします。
	みんなで考える授業。
	劇や運動会などを生徒だけで作り上げた授業では、チームワークや責任感を学んだり身につけることができた。
英語学科	ビジネスマナー。
	パソコンに関わる授業全て。
	ビジネスマナーやビジネススキルを教えてくれた授業(メールの送り方等)。
	グループでのプレゼンテーション。
観光文化学科	ビジネスマナー。
	自分で調べて、パワポにまとめて、発表する系の授業が好きだったのもありますが、発表用のスライド作成で気をつけるところを教えて頂きました。発表することを前提とした資料作成の方法は、今でも提案書を作成する時の根源です。

【資格、語学、留学について】

学科	自由回答
看護学科	看護師国家試験に特化したA先生の授業。
英語学科	日本語教育の授業です。英語が苦手な外国人と日本語で話す際に分かりやすく会話ができていたと思う為。
	日本語教員養成課程講座に関わる授業全て。
	TOEICの授業は実際に試験を受けて目標にしていた結果を出すことができたので自分が成長できたなと思いました。
	英語の授業は全体的に自分自身の学力につながったのでとてもよかった。特に元Intensive readingを担当されていたM先生のおかげで実力がついたと思う。
	ビジネスの授業、英語でのメールの書き方など今でも活用しているため。
観光文化学科	教員免許取得のために必要単位だった心理学の講義は、他職種についても活かせる内容だったと思います。
	英語、中国語の授業です。英語はH先生に長文対策も見ていただき、英検二級にチャレンジするきっかけになりました。中国語もK先生に教えていただき、中国語検定三級を取る事ができました。これらの授業のおかげで、語学が身近に感じられていると思います！
	H先生の異文化授業 日本と海外の価値観の違い等を学べて、とても面白かったから。
	海外研修、多角的な視点で物事を見ることができるようになったから。
	世界遺産検定など、趣味の検定に挑戦するきっかけになりました。語学の授業も有意義な時間でした。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	解剖生理→全ての疾患の基盤となるから。
	心理学の授業や対人関係論が有意義だった。生きていくために大事な考え方や心のあり方を学ぶことができて、今も役に立っていると感じる。正直、仕事をする上で必要な技術は、働きながらも学ぶことができる。だから、精神的に成長できる授業が特に学びになったと思う。
	看護過程論。
	フィジカルアセスメント。
	対人関係論、人と関わる上での知識を学べた。
	看護系全般。
福祉学科	N先生の心理学の授業を今でも思い出します。知識というよりは、メンタル的なお話しなのですが、授業の中で人生相談のような時間がありました。それが今でも人生を歩んでいく上で力になっているように感じます。
	生理学や医学総論、精神疾患などの身体についての講義が有意義だったと思います。理由としては卒業した後、福祉とは関係のない職業についたのですが、自分で調べたりするときに活かされているのかなと思っているからです。
栄養学科	臨床栄養学です。今、病院に勤務しており、時々教科書を見返すことがあります。
	どの授業も専門的で社会に出てからも必要な内容ばかりでした。
保育科	保育の心理学。実際子どもと関わる上で基礎となる子どもの心理について学ぶことができたため。
	家庭支援論。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	・1年生のときのN先生の授業。 ・A先生の授業(すべて)。
福祉学科	基本全て。 養護教諭コース、N先生の授業。 保育に関する授業、保育に関する事を色々学ぶことが出来た。 I先生。
栄養学科	全ての講義。自分でやりたい事を自由に選択した事で全て自分にとって有意義な事だったため。 全ての授業が管理栄養士として社会に出るために重要で有意義な授業だったと思います。個人的に自分の就職先の業務内容と直結する授業(給食経営管理や、応用栄養学など)を社会人になっても振り返ることができるようにしておくべきでした。大学の授業の大切さを感じるのには社会に出てからだと思います。社会に出て大学に専門的な仕事の相談を「気軽」にできる環境があれば良いと思います。
観光文化学科	キャリア支援。 ビジネス系の授業。 T先生のマーケティング授業。 現在パートで障害者施設で働いているので、単純に福祉学科などに行っていれば学べるが多かったかなと思います。
保育科	キリスト教園の実習 初めての实習でK幼稚園に行きました。とても厳しく指導して頂いてためになりました。 全部、無駄な時間はなかった。 物作り系、遊ぶ系。 全て大切だったと思います。 F先生の講義全てが有意義だったと感じます。

〔8〕 更にあればよかった授業の具体案

問 どの様な授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

どのような授業があれば更によかったか具体案について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【実習、ゼミ、インターンシップ、現場の仕事内容や交流について】 (回答者数:62人/161人[38.5%])

学科	自由回答
看護学科	採血等、侵襲的技術の練習がもっと長くあると良かった。
	現場のことについてより深く知れる授業。
	専門学校では行えないような大学独自の授業、ゼミやコミュニケーション能力についてなど。
	簡単に医療機器操作、点滴の扱い。
福祉学科	職業別の詳しい仕事内容がわかる授業。
	実践的な応急処置やカウンセリングスキルを養う授業。
栄養学科	実際に現場で働いている人がどんなことをしているのか、今思えばいろんな人たちの話が聞きたかったと思います。
	就活について、管理栄養士がどのように社会で働いているのか知れる機会があると、社会に出てからのイメージがでやすいと思いました。
	大学で行った調理実習は今でも自分の経験として仕事に活かされています。もうすこし調理実習の時間が増えて、それが座学にもつながるような授業があれば素敵だと思います。
観光文化学科	インターンシップ/ゼミ活動。
保育科	現場の生の声が聞ける授業。
	乳児のおむつ交換、ミルクをあげる演習をもっと深くしたかった。

【ビジネス・マナー講座、書類の記入や制度・手続きの仕方について】

学科	自由回答
看護学科	社会人マナーを身につける授業。
福祉学科	就活を全くしてこない学科で、アルバイトも全くなかったため、一般常識、マナーが他学生と比べて欠けている部分が多かった。講義の中で、社会人としての服装、メイク、一般常識、マナーを学べる機会が欲しかった。
	ビジネスマナー講座実践編。
	役所の手続き(自立支援医療、受給者証、手帳の更新)についての授業があれば、就職した時に活用出来て良いと思います。
	書類関係の書き方など。
	保育所における連絡帳記入の方法と保護者対応の方法について。
	マナー講座。独特な言い回しや当たり前の礼儀など身につける機会がなかった。
	制度の概要を学ぶだけでなく、どうやったらその制度が使えるようになるのか、どういった申請方法なのか、ロールプレイを通して学べたらよかった。
	ビジネスマナーとか年末調整とか。
栄養学科	ビジネスマナーに関する授業。
英語学科	ビジネスマナーについてもっと学びたかった。
	社会人としてのマナー。

観光文化学科	ビジネスマナー。
保育科	マナー、敬語。
	保護者対応の仕方。

【パソコンについて】

学科	自由回答
福祉学科	ICTなども学ぶ時があれば社会で助かったと思います。
	ワードやエクセルなどの基本的な操作についての授業がもう少しあれば良かったかなと思います。
	パソコンとか。
英語学科	パソコンスキルや簿記を必修科目としたら良いと考えます。
	仕事で使うパソコンの授業があれば良かったです！
	パソコンを用いた授業。
観光文化学科	PC。
	エクセル使用したコンピュータ業務。

【語学について】

学科	自由回答
看護学科	英語の授業のレベルが低すぎたと思います。be動詞や曜日など、中1レベルの内容を習って驚いた記憶があります。高3までの英語は全て修了していることが前提の内容にしたら、さらによくなると思います。
	英語を深く学べる授業。
福祉学科	語学系、手話など。
英語学科	日本語の文法の授業。

【専門的な授業について】

学科	自由回答
看護学科	心理学、対人関係論。
	解剖生理を毎年受けたかった。
	倫理的な授業。
福祉学科	救急処置に関する授業。
	子どもの疾患や発達障がい、性に関することなどについて具体的に学びたかった。
英語学科	エアラインに関する授業。
	多様性の授業。
	金融の勉強ができる授業。
	企業研究関連の授業があれば、卒業後の進路などイメージしやすかった。
観光文化学科	キャリアデザイン論/エアライン論。
	一つ目は、人生設計など、将来の自分がどうなりたいかから逆算していくようなコーチング要素のある授業があれば嬉しかったです。二つ目は、資産形成など。
保育科	事故を防ぐヒヤリハットの授業など。
	大人同士の関わりの中で役に立つような心理学の授業の時間がもう少し多ければ嬉しかったです。

【その他】

学科	自由回答
福祉学科	満足している。
栄養学科	他大学の同じ学科の先生と生徒との交流があったら楽しそうだと思う。調理実習や講義や課題を一緒に取り組んでみる。
英語学科	チームワークも大事だが、個人で動くことができる力を身につけるべきだと思う。仕事では常に助けがあるわけではないので、個人の能力を伸ばす授業があれば良いと思う。
観光文化学科	大学卒業後に何をしたいかと考えるのに結構苦戦したので、色々な職種に行く人が多いと思うので、そういう勉強とかも出来たら、じっくり考えられたかなと思います。
保育科	年間カリキュラムや月間カリキュラムなどの書き方をもう少し学んでおきたかった。
	絵本の授業。

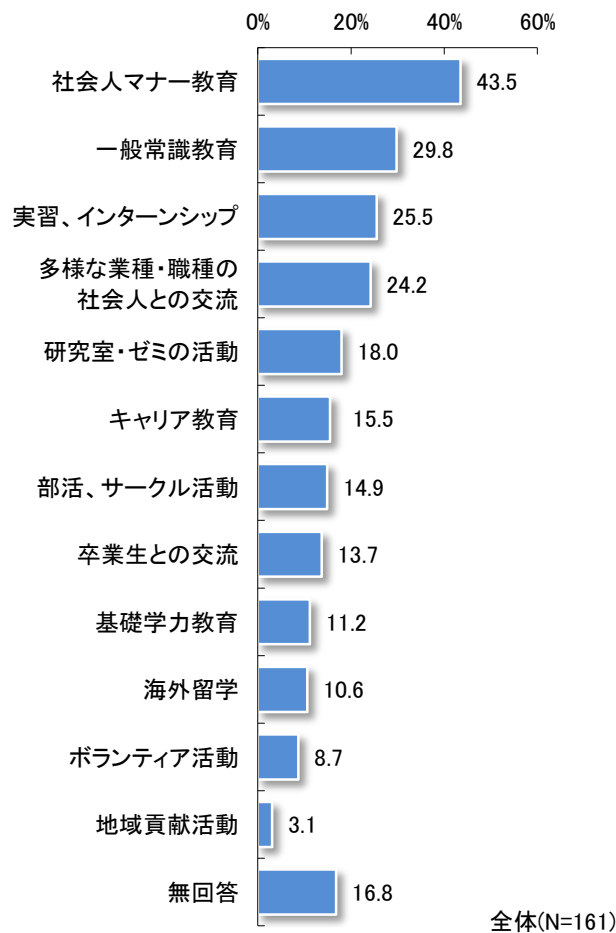
〔9〕大学の講義以外で希望する支援・経験

問 大学に対して講義以外でもっと支援してもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。
また、具体的な内容があればご記入ください。

大学に希望する支援・経験は、「社会人マナー教育」（43.5%）が最も多く、次いで「一般常識教育」（29.8%）、「実習、インターンシップ」（25.5%）となっている。

学科別にみると、栄養学科では「多様な業種・職種の社会人との交流」、英語学科では「海外留学」を希望する人がそれぞれ他学科に比べ多くなっている。

【大学の講義以外で希望する支援・経験】



※回答のない項目は省略

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験（1/2）】（％）

	全体（人）	社会人マナー教育	一般常識教育	実習、インターンシップ	多様な業種・職種の人との交流	研究室・ゼミの活動	キャリア教育	部活、サークル活動
全体	161	43.5	29.8	25.5	24.2	18.0	15.5	14.9
看護学科	30	46.7	20.0	13.3	30.0	16.7	10.0	16.7
福祉学科	38	47.4	44.7	18.4	21.1	23.7	13.2	15.8
栄養学科	15	40.0	20.0	26.7	40.0	13.3	20.0	20.0
英語学科	25	44.0	28.0	20.0	28.0	16.0	28.0	8.0
観光文化学科	25	32.0	16.0	32.0	24.0	20.0	24.0	24.0
助産別科	5	80.0	80.0	80.0	－	20.0	－	20.0
保育科	23	39.1	30.4	39.1	13.0	13.0	4.3	4.3

【学科別 大学の講義以外で希望する支援・経験（2/2）】（％）

	全体（人）	卒業生との交流	基礎学力教育	海外留学	ボランティア活動	地域貢献活動	無回答
全体	161	13.7	11.2	10.6	8.7	3.1	16.8
看護学科	30	10.0	20.0	6.7	6.7	3.3	20.0
福祉学科	38	10.5	13.2	10.5	10.5	5.3	21.1
栄養学科	15	20.0	－	－	13.3	－	20.0
英語学科	25	16.0	8.0	24.0	4.0	4.0	16.0
観光文化学科	25	16.0	4.0	16.0	4.0	－	4.0
助産別科	5	－	40.0	－	－	－	－
保育科	23	17.4	8.7	4.3	17.4	4.3	21.7

大学の講義以外で希望する支援・経験の具体的な内容について自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

(回答者数:10人/161人[6.2%])

学科	自由回答
看護学科	輸液ポンプ・シリンジポンプの使い方、冠婚葬祭のマナー、テーブルマナー、ビジネスマナー、所作・言葉遣いなど、TPOに合わせたファッション・メイク、年金や税金について、役所関係の手続きについて。 就職一年目の方などから話が聞きたい。また、就活の時期だけでなく大学1・2年生くらいの時にも話す機会があると勉強に対しての意欲に繋がる気がする。
福祉学科	障害者雇用などといった実際そのような形態で働いている方の話等があればよかったのかなと思っております。 一般常識とメールの送り方など。
栄養学科	社会人としてのマナー教育についてもっと知りたかった。
英語学科	もっと沢山の職種を知ることが出来ていたら適当に就職活動してなかったのかなあと少しだけ思ったことがあります！
観光文化学科	もっと卒業生とかと交流出来たら、企業や社会の理解が深めれるのではと思います。
保育科	就職先で大学と園との関係性はあると思うが、生徒の気持ちに寄り添いその子の性格にあった就職先の援助がよりあればよかったと思う。

〔10〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【大学への感謝について】

（回答者数：27人/161人[16.8%]）

学科	自由回答
看護学科	西女でとてもいい大学生活を送れました。友達にもたくさん出会えて、西女でよかったです！
	大学生生活楽しかったのでまた学校に遊びに行きたいです。何かあれば力になりますので電話して下さい。
福祉学科	西女の卒業生として誇りに思います。感謝です。
	特にないです。大学生生活楽しかったです。
	アイラブ西女。
栄養学科	今でも仕事につけているのは、大学4年の活動が糧になっております。西南女学院生として胸を張っていけるよう、今後も頑張ります。
英語学科	親身になって学生に向き合っていただきありがとうございました。大学時代を西南女学院で過ごせたこと、よかったと思っております。
	大好きな学校です！
	西南女学院を卒業できてよかったです。大学4年間で過ごした時間や経験、出会い全てが大切な宝物です。西南女学院の更なるご発展を祈念しております。
	楽しい学校でした！
観光文化学科	就職課には大変お世話になりました。心から感謝しております。
	勉強、サークル、バイトと色々な事がありましたが、今の就職先や、大学の友人等、ここでしかというものに沢山出会えたと思います。4年間お世話になりました！
	女子大学を卒業して、高校生まで共学とはまた違う環境で、考え方等が広がりました。ありがとうございます。
保育科	短大時代に勉強したことが社会に出てとても役に立っています。ありがとうございます。
	西南に行って良かったと思います。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	戴帽式にずっと憧れがあったのでマロリーホールで戴帽式をしたかったです。
	授業に関しては、専門的な知識、技術を身につけることも、とても大切だと感じるが、同じくらい教養科目に関しても大切にしてほしいと感じた。また、時々、西女のカリキュラムは古いという噂を聞いたので、当時はそれが少し心配だった。看護実習の際に作成する記録物は、無駄が多いと感じた。もっと要点をまとめたものを作成した方が分かりやすいし、効率的なのでは、と感じた。学校生活に関しては、カウンセラーがいて相談ができる環境があったことがとても有難かった。敷居が高くて利用するまで時間がかかったが、もっと早く利用すれば良かったと思う。
	女子大の割には華やかさが足りない、行きたい、学びたいと思えない。希望者には海外の看護やいろいろな方向性があることを伝えて欲しい。
栄養学科	私は西南女学院大学に行って良かったと思っています。友人とのコミュニケーションが仕事で同僚や目上の方と話すときにとても役立っているので、友人と楽しい大学生活を送ってほしいです。
英語学科	学生の意見を聞く機会を与えて欲しい。
観光文化学科	私が在学中の時ですが、とある1名の講師が数々の問題発言を講義中に行い、1度講義後に学生からアンケートをとる。といった対応をしたことを覚えております。あのアンケートが記名式だったのも問題ですが、その後の改善等も見受けられず、(恐らく注意だけだったのでしょうか)当時は憤りを感じました。アンケート後も不適切な発言がないか、手間ではありますが講義内容、発言内容を確認するなどして頂きたかったです。
	インターシップを半月に一回単位として取り入れてはどうでしょうか。

【その他】

学科	自由回答
看護学科	特にありません。このアンケートがコロナ禍で大変かと思いますが、少しでも在学生の役に立てればと思います。
福祉学科	コロナ禍で大変だとは思いますがこれからも頑張っていきましょう。
保育科	入り口の坂がキツイ。一限で5階まで上がるのがイヤでした。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2020年度（令和2年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2021年度（令和3年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、卒業生アンケートの総括とする。

▶現在の仕事について

＜就業状況、業種＞

2019年3月卒業生の2021年12月時点の在職状況は、95.0%が就労中、未就労は5.0%となっており、卒業後2年9カ月経過時点で大半の卒業生が就労中となっている。

卒業生が勤務先で携わっている主な職種を学科別にみると、看護学科は「看護師」（85.7%）、福祉学科は「保育士」（18.9%）、「精神保健福祉士」、「支援員・指導員」、「養護教諭」（いずれも13.5%）、栄養学科は「管理栄養士」（57.1%）、英語学科は「事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）」（41.7%）、観光文化学科は「営業」（39.1%）、助産別科は「助産師」（50.0%）、保育科は「保育士」（60.9%）、「幼稚園教諭」（34.8%）の割合が他学科に比べ高く、それぞれ学科の特性を活かした職種に就いている様子が見えてくる。

また、在学生に対して尋ねた学生調査と比較すると、将来進みたいキャリアとして、看護学科は「医療・看護系」、福祉学科は「学校・教育系」や「福祉・介護系」、栄養学科は「食・栄養系」、英語学科は「決まっていない」が最も高いものの次点として「語学・国際系」、観光文化学科は「旅行・ホテル・ブライダル系」が高くなっており、学生時代の希望と実際の進路が一致していることから、概ね卒業生が希望の進路に進んでいることが分かる。

一方、転職の状況について、現在の勤務先が卒業時と変わっていない人が83.7%、転職した人が15.7%となっているが、就業中の人数が少ない助産別科を除くと、栄養学科では前回調査まで転職率が高い傾向を示していたが、今回調査では7.1%と他学科に比べ低くなっている。

また、「転職した」に着目して前回調査と比較すると、全体で24.3%から15.7%と8.6ポイント減少している。

【現在の勤務先を「転職した」の割合】

	全体	看護	福祉	栄養	英語	観光文化	助産	保育
今回調査 (N=153)	15.7	17.9	27.0	7.1	12.5	21.7	0.0	0.0
前回調査 (N=149)	24.3	20.0	28.9	45.5	3.8	20.0	50.0	27.3

＜雇用形態、勤務先の満足度＞

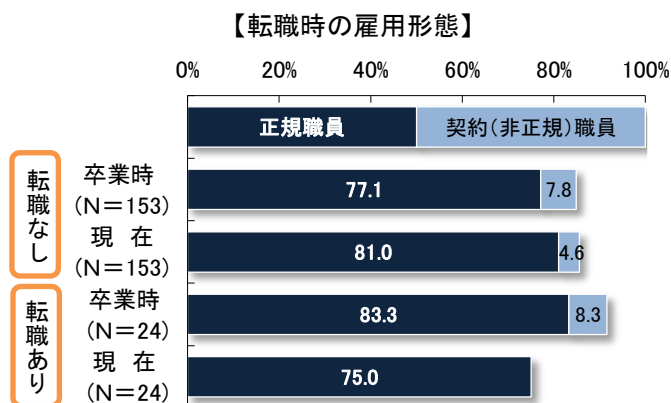
卒業時の雇用形態をみると、正規職員の割合が全体で77.1%であるのに対し、福祉学科では54.1%と他学科に比べ正職率が低くなっている。また、福祉学科は卒業時（54.1%）から現在（62.2%）までに正規職員の割合が8.1ポイント増加している。

現在の勤務先の満足度をみると、全体でどちらでもない人が39.2%と最も多く、次いで満足している人は37.3%となっており、満足していない人（8.5%）を上回っている。学科別にみると、福祉学科、観光文化学科、助産別科、保育科の満足度は4割以上を占めるのに対し、栄養学科では14.3%、英語学科では25.0%と満足度にばらつきがあり、学科によって満足度に差がみられる。

＜転職＞

転職しなかった人は、卒業時から現在までに正規職員への登用がやや増加している（卒業時77.1%⇒現在81.0%）。

一方、転職した人は、卒業時よりも「正規職員」の割合が減少している。転職した人よりも、転職せずに継続して働いている人の方が正規職員の登用率が高く、この結果は前回調査でも同様の傾向を示している。



転職した理由について、少数ではあるが傾向をみると、前回調査の上位3つのうちすべてが今回調査でも上位に挙げられている。しかし、前回調査では「給与」、「休日」、「将来性」は入っていないのに対し、今回調査では上位3位に入っている。

転職理由は職種や職場環境によって大きく異なると想定されるが、「仕事内容」や「人間関係」、「社風・職場の雰囲気」などの職場環境や「給与」や「休日」などの職場待遇を重視する人の多い様子がうかがえる。

【転職した理由】

	今回調査 (N=24)	前回調査 (N=33)
1位	仕事内容 (45.8%)	人間関係 (57.6%)
2位	人間関係 社風・職場の雰囲気 (ともに 41.7%)	社風・職場の雰囲気 (51.5%)
3位	給与 休日 将来性 (ともに 29.2%)	仕事内容 (42.4%)

▶就職全般について

前回調査結果と同様に、大半の卒業生が正規職員で採用され、一定数の転職した卒業生はいるものの、就業状況や雇用形態、勤務先の満足度から、現在の職場には概ね満足している卒業生が4割近くおり、卒業時から転職せずに現在の職場で経験を積んでいる様子がうかがえる。

在学生に対する学生調査の結果と関連付けてみると、看護学科、栄養学科、保育科については、在学中に希望した進路に実際に進んでいる卒業生が多いことを踏まえると、大学から就職までは比較的スムーズに移行できていると考えられる。

しかしながら、英語学科や観光文化学科においては希望する進路が「決まっていない」の回答が2割を超えており他学科より多く、進路先に悩んでいる様子がうかがえる。また、在学中はいいものの、在学中に得た学習成果を就職先で活かすことができない、または当初希望していた職種に就けなかった、想像していた仕事内容でなかったなどのケースにおいては、転職希望も高い傾向がうかがえる。

そうした意味で、入学時から卒業時までに、将来の進路をある程度明確に意識させること、また、仕事内容など卒業してから大きなギャップを感じないように、職場環境や仕事内容を具体的にイメージできるよう在学中からの進路支援も必要であると考えられる。

また、転職したと回答した卒業生は前回調査(24.3%)から今回調査(15.7%)では減少しており、卒業後から転職せずにキャリアを積む卒業生が増えたことは一定の評価に値する。

▶大学・短期大学部で受けた教育について【大学・短期大学部での達成度と仕事上における必要性】

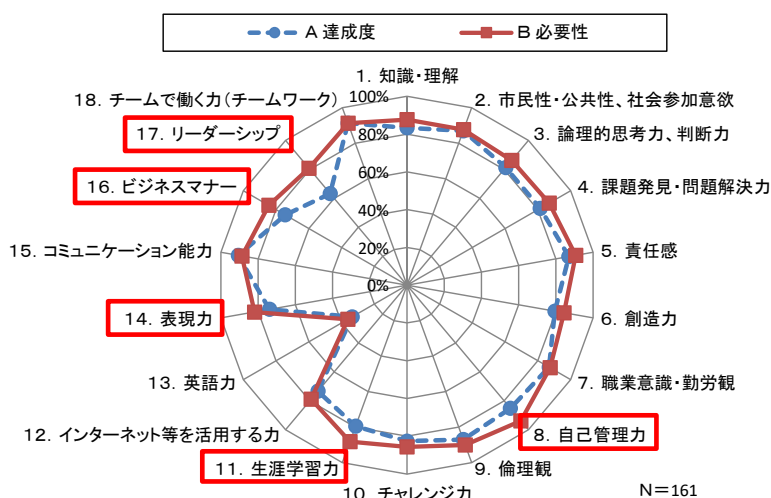
＜達成度と必要性＞

大学・短期大学部で得た力やスキルを【達成度】（「身につけている」+「ほぼ身につけている」）、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「役に立つ」+「やや役に立つ」）として分析した。なお、達成度と必要性の差が大きい上位5項目には枠を付けている。

達成度は、「チームで働く力（チームワーク）」、「コミュニケーション能力」、「市民性・公共性、社会参加意欲」、「責任感」、「倫理観」「職業意識・勤労観」の順に高く、これらの項目については必要性より達成度の方が高いか、または差が小さく、大学・短期大学部で身につけた力が仕事上において大いに役立っていると考えられる。

一方、必要性が高いのに対し、達成度が低い項目は「リーダーシップ」で17.4ポイント必要性の方が高く、最も差が大きい。また、「ビジネスマナー」、「自己管理能力」、「生涯学習力」、「表現力」も差が見受けられ、社会に出てから必要となる「ビジネスマナー」を除くと、総じて主体性が求められる分野の達成度が低いと感じている卒業生が多い。

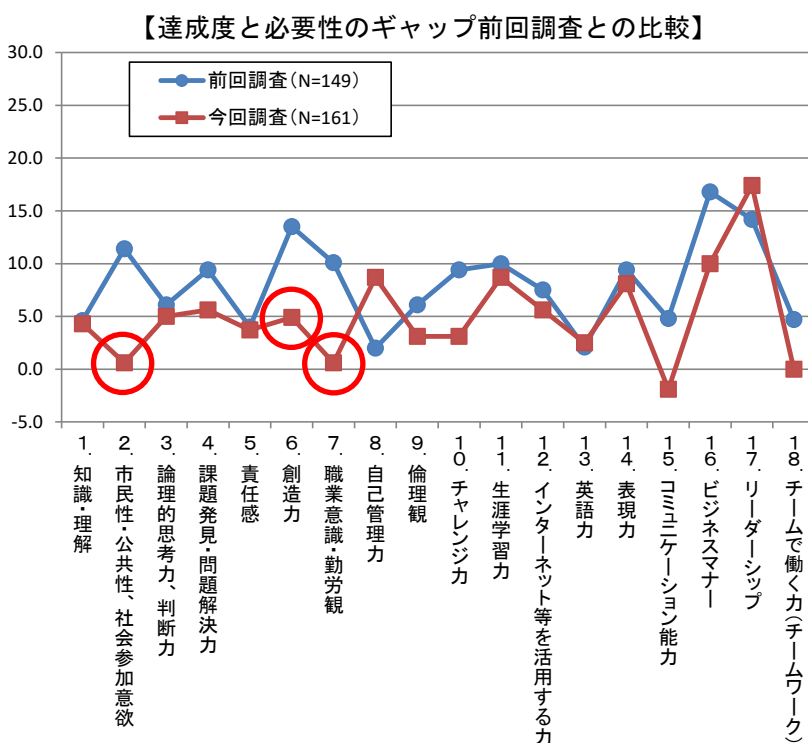
学科別に達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）をみると、看護学科では「ビジネスマナー」、福祉学科と英語学科と観光文化学科では「自己管理能力」、栄養学科では「論理的思考力、判断力」、助産別科では「リーダーシップ」、保育科では「知識・理解」でギャップが大きい。



＜達成度と必要性のギャップ（前回調査との比較）＞

達成度と必要性のギャップ（＝必要性が高いのに対し、達成度が低い）について前回調査と比較を行った。

項目によってバラツキがあるが、特にギャップが小さくなっているのは、「市民性・公共性、社会参加意欲」（10.8ポイント差）、「職業意識・勤労観」（9.5ポイント差）、「創造力」（8.6ポイント差）である。



＜能力やスキルを身につけるために役立ったこと＞

能力やスキルを身につけるにあたり、多くの卒業生が大学での講義が役立ったと回答している。特に「知識・理解」、「コンピュータやインターネットを活用する力」については大学での講義を挙げる人が多く70%を超えている。

一方、「リーダーシップ」、「チームで働く力（チームワーク）」については研究室、ゼミ活動、「責任感」、「職業意識・勤労観」、「自己管理能力」「前に踏み出す力（チャレンジ力）」、「コミュニケーション能力」は実習、インターンシップ、「市民性・公共性、社会参加意欲」は研究室、ゼミ活動と実習、インターンシップが同率で役立ったと感じている。このように、大学の講義だけでなく、研究室、ゼミ活動や実習、インターンシップなどを通じて必要な能力やスキルを習得している様子が見えてくる。

また、社会で必要とされる能力やスキルに対し、卒業生が特に達成度が低いと感じている「リーダーシップ」、「英語力」については、大学での講義や研究室、ゼミ活動での習得率が高いため、今後はこうした社会で必要とされる能力やスキルの習得を意識した在学中からの指導が必要だと言える。

＜仕事をする上で重要だと思うこと＞

仕事をする上で重要だと思うことについては、「コミュニケーション能力」や「責任感」、「知識・理解」が上位に挙げられた。

これは、大学・短期大学部で身につけた力やスキルにおける達成度が高い項目ともほぼ一致しており、大学・短期大学部で学んだことや経験したことが仕事をする上でも役立っていると考えられる。

また、今回調査では「知識・理解」が「チームで働く力（チームワーク）」を上回ったが、前回調査においても概ね同様の結果となっており、「コミュニケーション能力」と「責任感」、「知識・理解」は業種や職種に関わらず仕事をする上で特に重要視されていることが分かる。



※回答のなかった項目は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

1. 調査の概要

調査対象者	2021年3月卒業生 就職受け入れ事業所
調査方法	郵送配布・回収、FAX回収
回収数	149 事業所
調査時期	2021年12月23日～2022年1月31日 ※2022年3月2日までに大学到着分まで集計に含む
回収率	下表の通り

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
看護学科	52	21	40.4% (38.3%)
福祉学科	58	25	43.1% (64.0%)
栄養学科	58	29	50.0% (41.9%)
英語学科	35	15	42.9% (46.9%)
観光文化学科	34	16	47.1% (37.2%)
助産別科	15	9	60.0% (50.0%)
全体	252	115	45.6% (46.0%)

()内の前年度回収率

	依頼事業所数	回答事業所数	回収率
保育科	57	34	59.6% (67.2%)
全体	57	34	59.6% (67.2%)

()内の前年度回収率

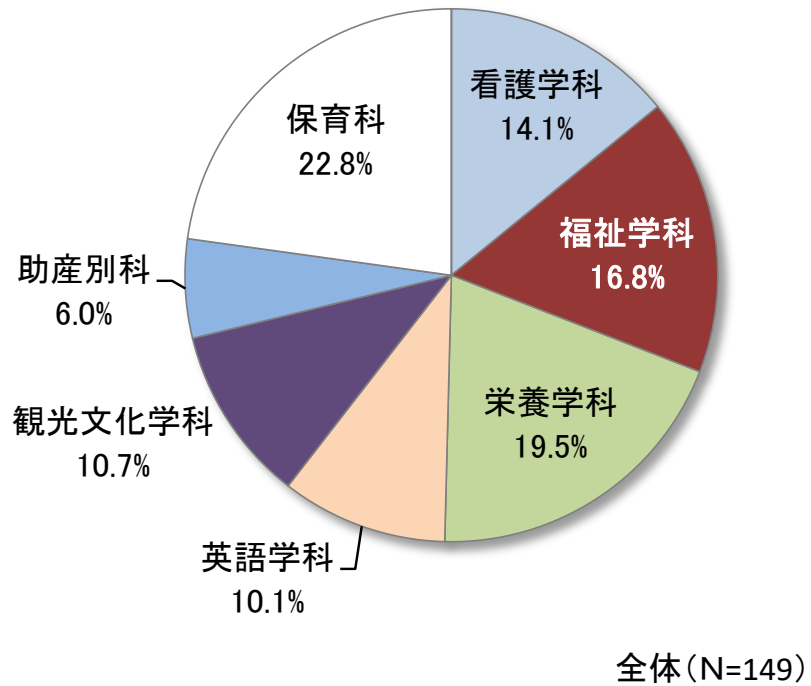
【調査結果の見方】

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（N）とした百分率で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- 学科別クロス集計等において、基数（N）となる調査数が少数となるため、コメントは参考程度に留めるものとし、結果の精度には注意を要する。
- 報告書中の図表では一部、回答のなかった項目を省略している。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力のため、省略して表記している場合があるため、詳細は「第3章 調査票」を参照のこと。

2. 調査結果

〔1〕回答者について

【卒業した学科】



〔2〕仕事に必要な能力

① 必要性和達成度（全体）

問 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。

就職受け入れ先からみた、現在の仕事においてのスキルや能力について、全体的にほとんどの項目は『必要である』（必要である＋やや必要である）とされており、なかでも「8. 自己管理能力」（98.7%）、「5. 責任感」、「9. 倫理観」、「15. コミュニケーション能力」、「16. ビジネスマナー」、「18. チームで働く力（チームワーク）」（いずれも 98.6%）、「6. 創造力」、「7. 職業意識・勤労観」、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」（いずれも 98.0%）、「3. 論理的思考力、判断力」（96.7%）、「4. 課題発見・問題解決力」、「11. 生涯学習力」（いずれも 96.6%）が96%を超え上位に挙げられている。また、「必要である」の割合に着目した場合、「18. チームで働く力（チームワーク）」（92.6%）や「5. 責任感」（91.9%）が特に必要視されている様子が見える。

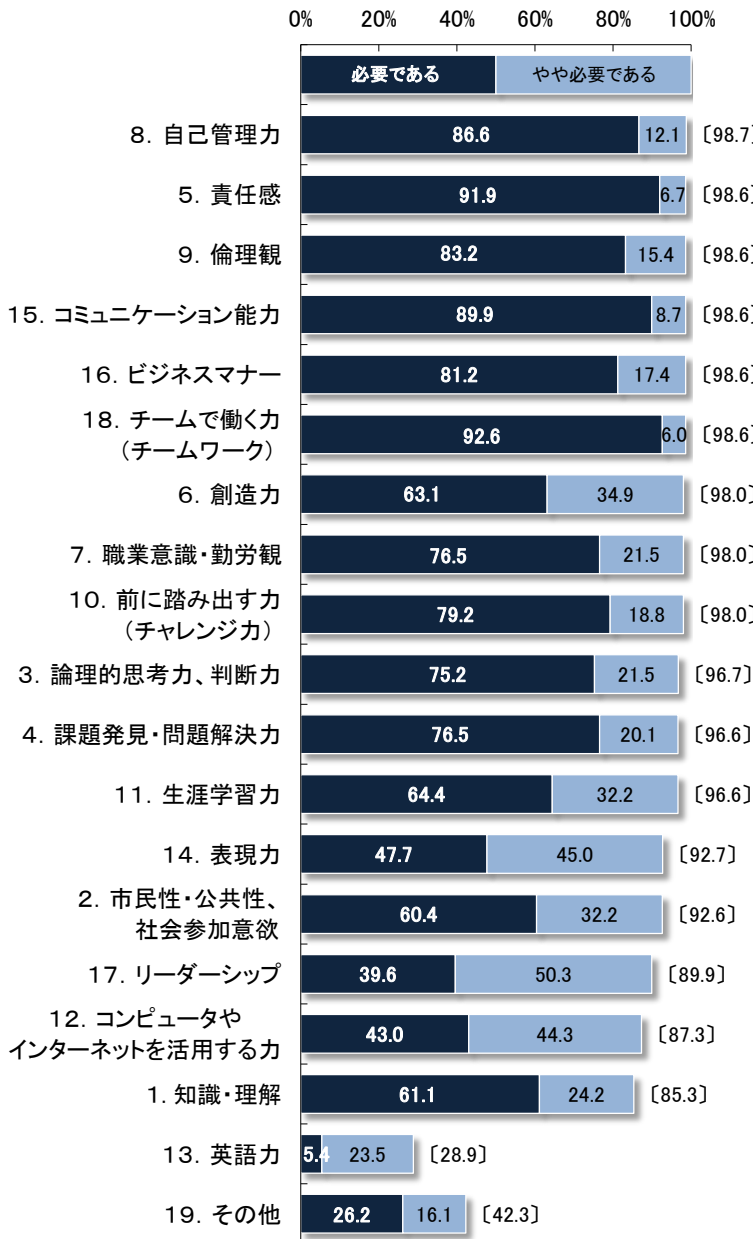
一方、卒業生が力やスキルを『身につけている』（身につけている＋ほぼ身につけている）と評価されている項目をみると、「9. 倫理観」（90.6%）が最も多く、次いで「15. コミュニケーション能力」（85.2%）、「5. 責任感」、「8. 自己管理能力」（いずれも 84.6%）である。しかし、求められる能力に対し、卒業生の達成度は総じて低い傾向にある。

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【仕事に必要な能力】

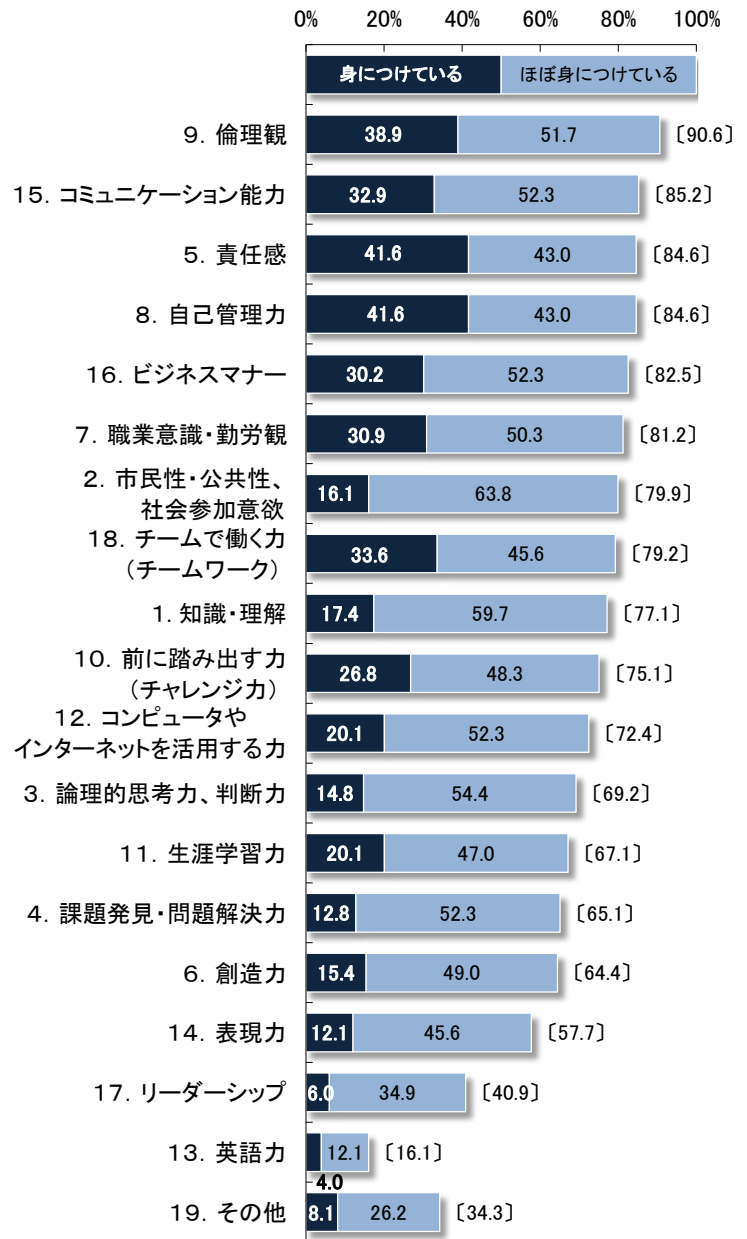
必要性

現在の仕事において必要な力やスキル
(各項目ともN=149)



達成度

西南女学院大学卒業生の力やスキル
(各項目ともN=149)



注1) 必要性の選択肢は「必要である」、「やや必要である」、「あまり必要でない」、「必要でない」の4段階。

注2) 必要性の〔 〕は「必要である」+「やや必要である」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

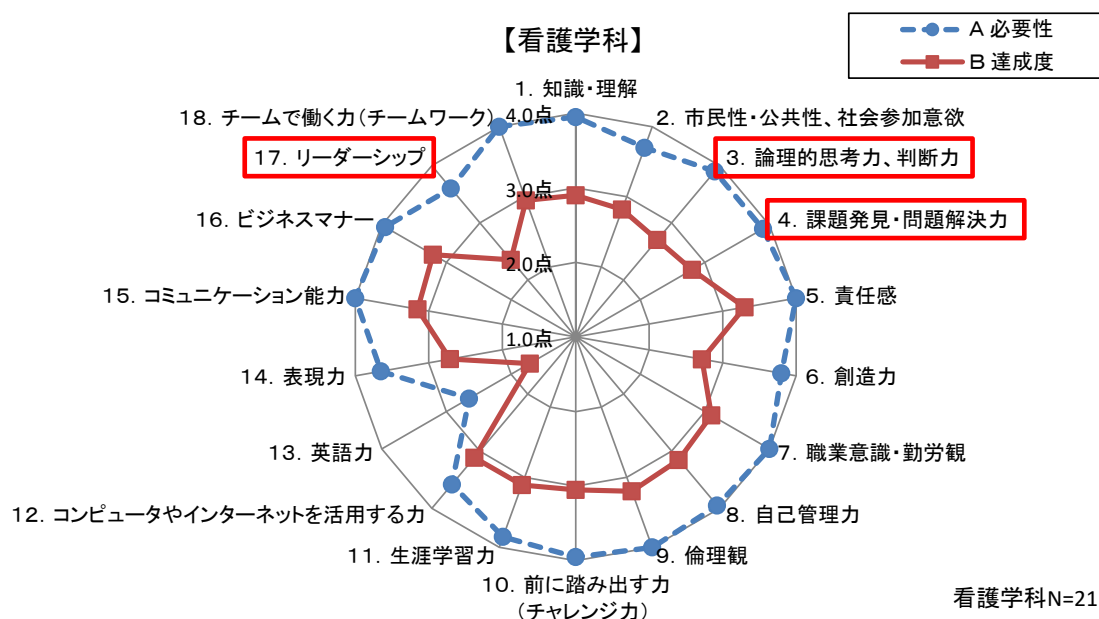
注3) 達成感の選択肢は「身につけている」、「ほぼ身につけている」、「あまり身につけていない」、「身につけていない」、「わからない」の5段階。

注4) 達成感の〔 〕は「身につけている」+「ほぼ身につけている」の合計(%)。ただし、回答比率(%)は小数第2位を四捨五入しているため、合計(%)と内訳の計(%)は一致しない場合がある。

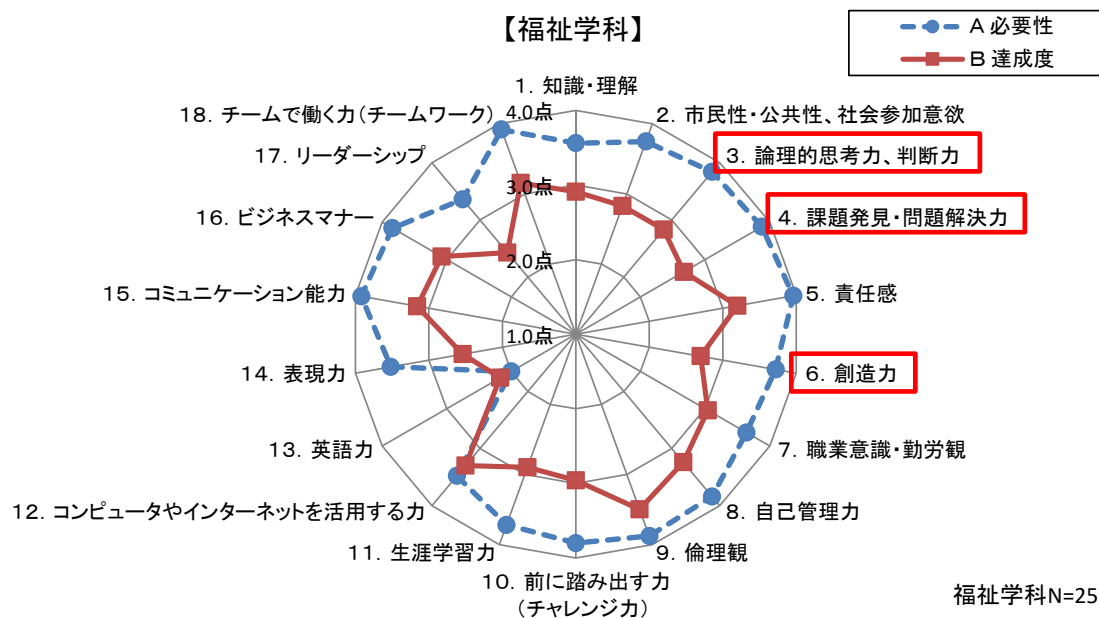
② 必要性和達成度（学科別）

必要性和達成度について、「必要である」、「身につけている」=4点、「やや必要である」、「ほぼ身につけている」=3点、「あまり必要でない」、「あまり身につけていない」=2点、「必要でない」、「身につけていない」=1点として配点し、必要性和達成度の各項目の平均点を算出した。必要性和達成度を比較し、仕事に必要な能力がどの程度達成されているのかの確認を行った。達成度と必要性の差が大きい上位3項目には枠を付けている。

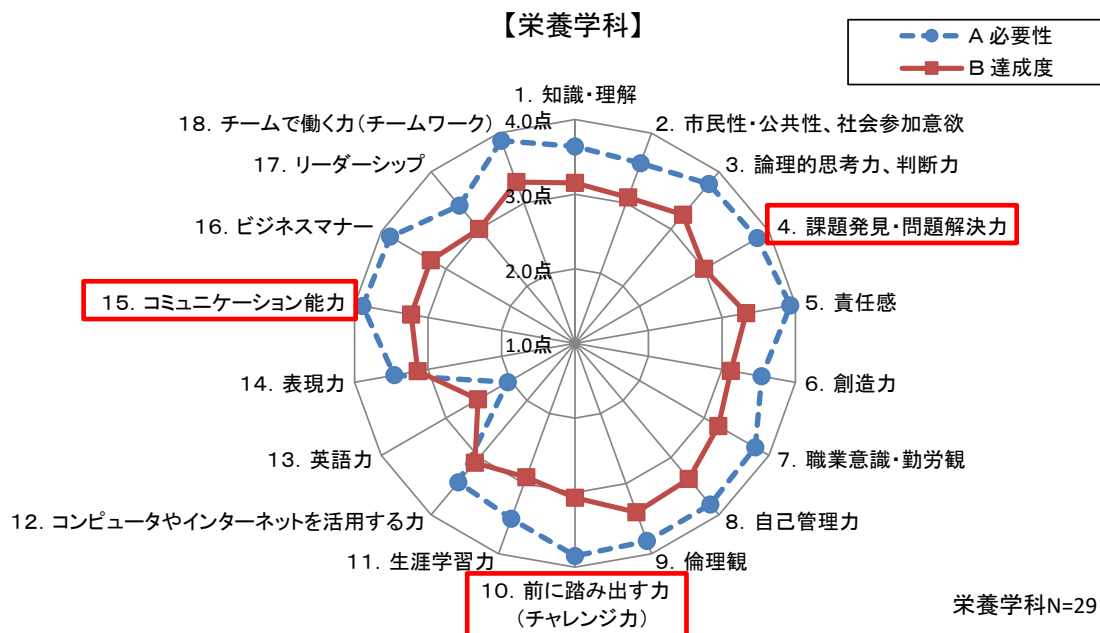
看護学科では、「17. リーダーシップ」の必要性が達成度よりも1.25ポイント高くなっており、次いで「3. 論理的思考力、判断力」が1.20ポイント、「4. 課題発見・問題解決力」が1.10ポイント高くなっている。



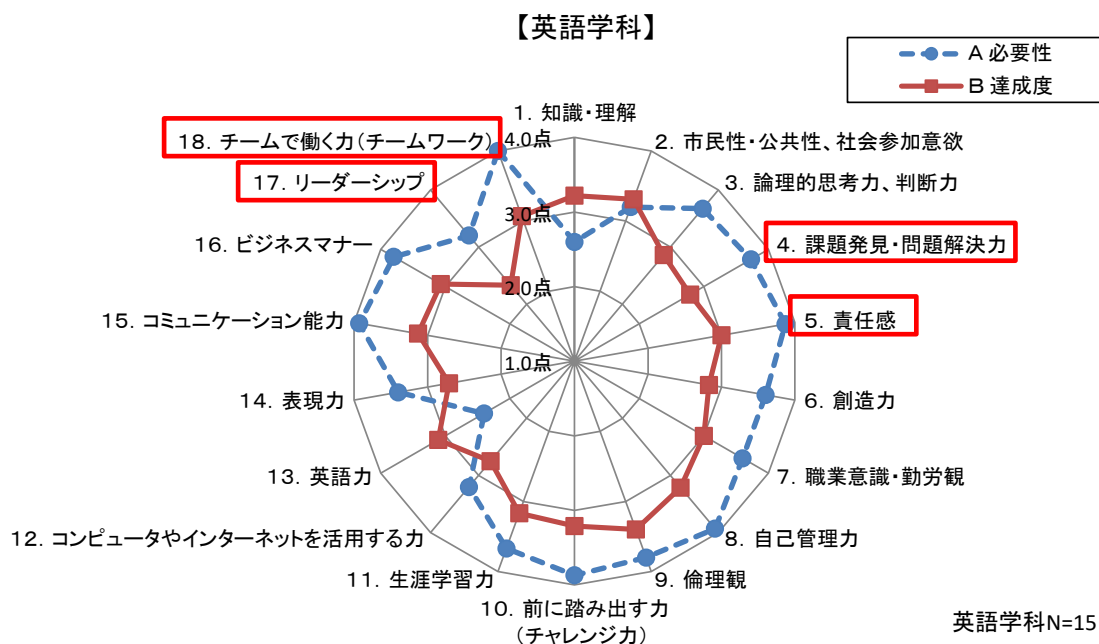
福祉学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも1.21ポイント高くなっており、次いで、「6. 創造力」が1.02ポイント、「3. 論理的思考力・判断力」が1.01ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.17ポイント高くなっていることから、「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。



栄養学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも0.82ポイント高くなっている。次いで、「10. 前に踏み出す力（チャレンジ力）」が0.78ポイント、「15. コミュニケーション能力」が0.66ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.46ポイント高くなっていることから、「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

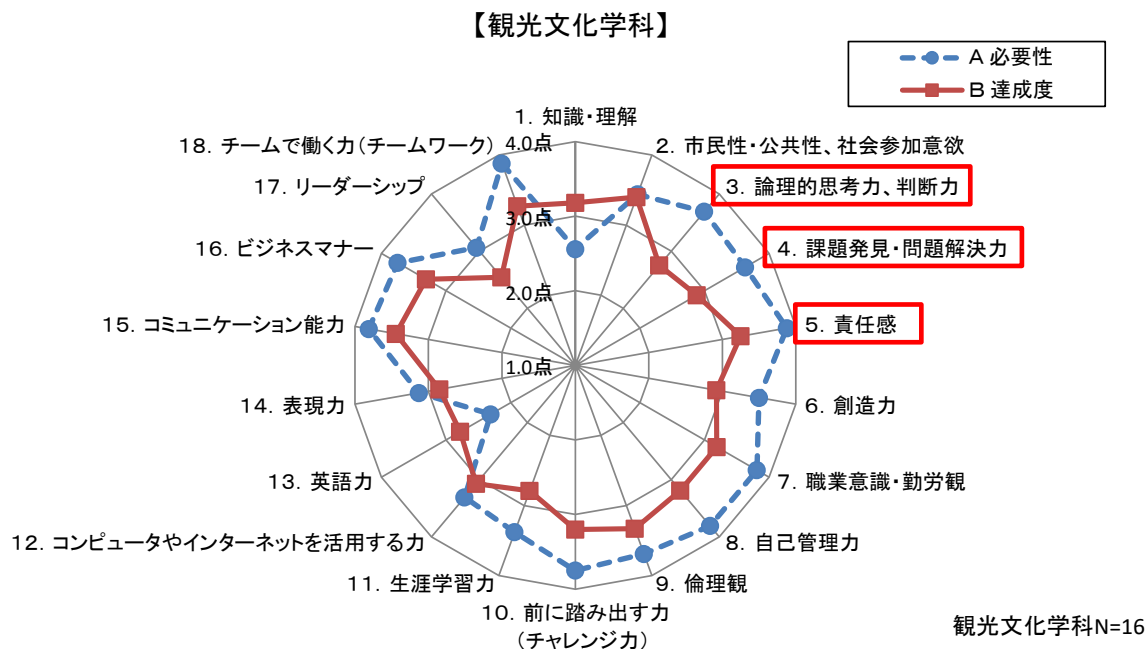


英語学科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも0.94ポイント高くなっており、次いで「18. チームで働く力（チームワーク）」が0.93ポイント、「5. 責任感」、「17. リーダーシップ」が0.87ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも0.71ポイント、「1. 知識・理解」は0.62ポイント、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」は0.11ポイント高くなっていることから、「13. 英語力」と「1. 知識・理解」、「2. 市民性・公共性、社会参加意欲」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。

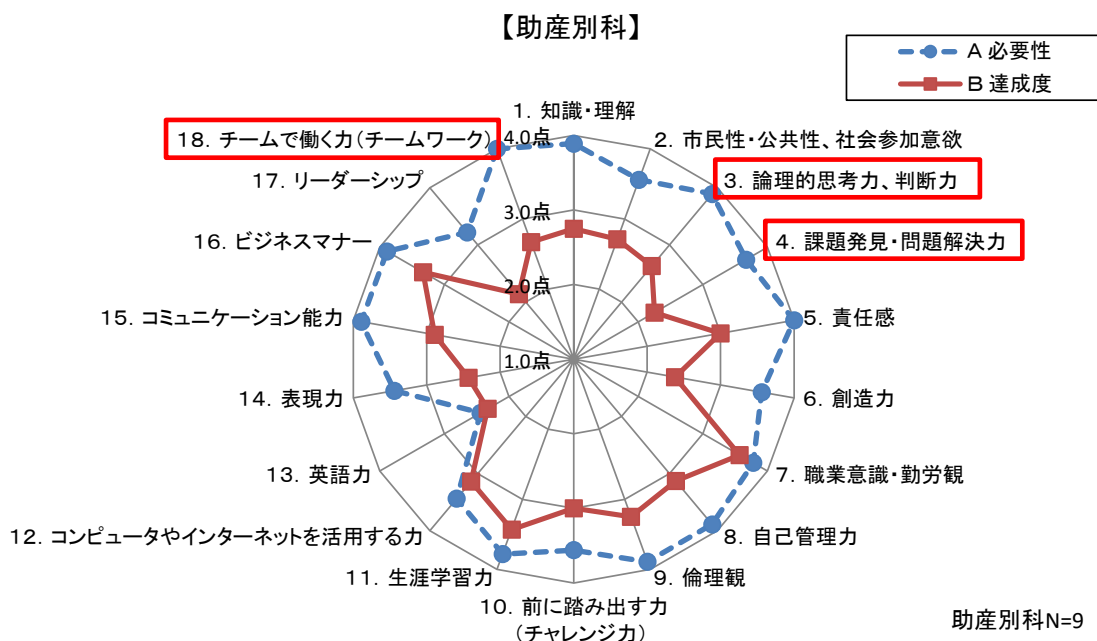


第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

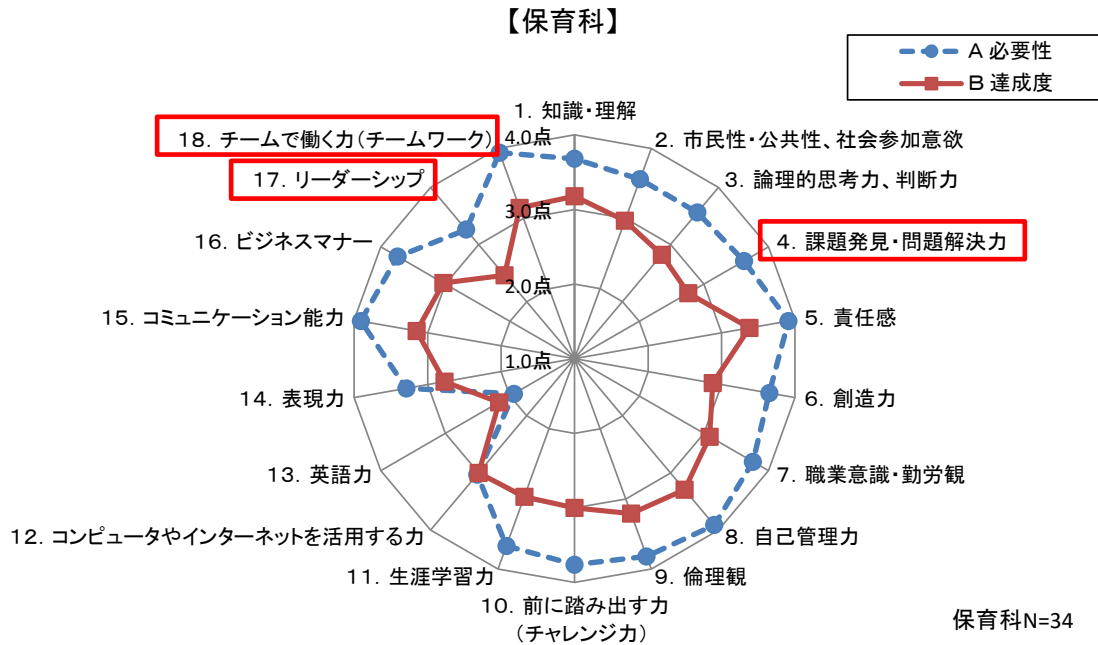
観光文化学科では、「3. 論理的思考力、判断力」の必要性が達成度よりも 0.94 ポイント高くなっており、次いで「4. 課題発見・問題解決力」が 0.75 ポイント、「5. 責任感」が 0.63 ポイント高くなっている。一方、「1. 知識・理解」の達成度は必要性よりも 0.62 ポイント、「13. 英語力」は 0.47 ポイント高くなっていることから、「1. 知識・理解」と「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。



助産別科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 1.42 ポイント高くなっており、次いで「18. チームで働く力 (チームワーク)」が 1.33 ポイント、「3. 論理的思考力、判断力」が 1.26 ポイント高くなっている。助産別科は、すべての項目において必要性が達成度よりも高くなっている。



保育科では、「4. 課題発見・問題解決力」の必要性が達成度よりも 0.86 ポイント高くなっており、次いで「17. リーダーシップ」が 0.80 ポイント、「18. チームで働く力（チームワーク）」が 0.79 ポイント高くなっている。一方、「13. 英語力」の達成度は必要性よりも 0.23 ポイント高くなっていることから、「13. 英語力」については職場で必要とされる水準以上に達成していると感じている人が多くなっている。



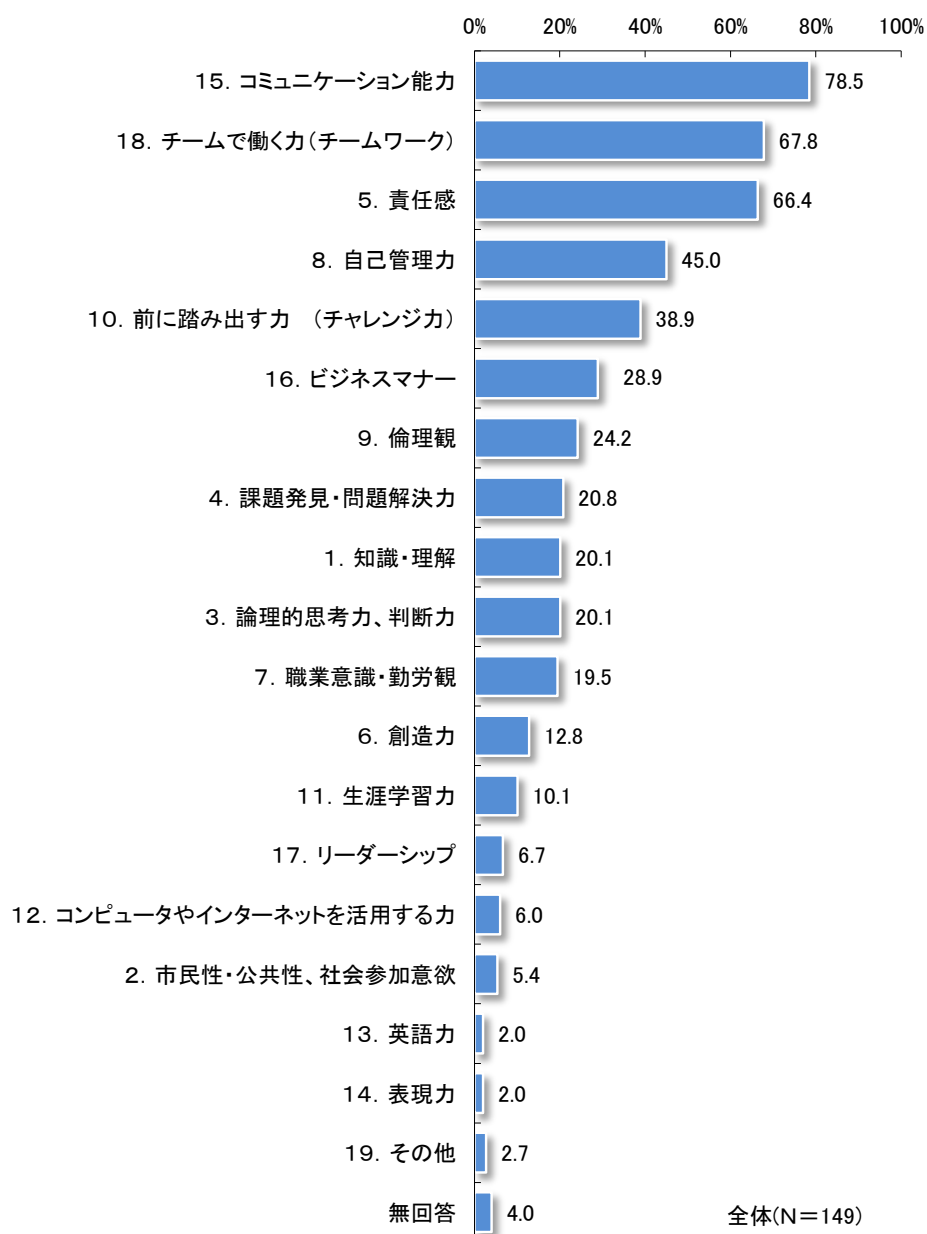
③ 採用の際に重要視する能力

問 採用の際、重要視する能力上位5つに○をつけてください。

採用の際、重要視する能力は、「15. コミュニケーション能力」(78.5%)が最も多く、次いで「18. チームで働く力(チームワーク)」(67.8%)、「5. 責任感」(66.4%)が6割以上で高くなっている。

また、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「15. コミュニケーション能力」、「18. チームで働く力(チームワーク)」、「5. 責任感」の有無が重要とされていることがわかる。それ以外の項目では、「7. 職業意識・勤労観」は助産別科で44.4%、「9. 倫理観」は看護学科で57.1%と、他学科と比べて高くなっている。

【採用の際に重要視する能力】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 採用の際に重要視する能力 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	15 ・コミュニケーション能力	18 ・チームワークで働く力 (チームワーク)	5 ・責任感	8 ・自己管理能力	10 ・前に踏み出す力 (チャレンジ力)	16 ・ビジネスマナー	9 ・倫理観	4 ・課題発見・問題解決力	1 ・知識・理解	3 ・論理的思考力、判断力
全体	149	78.5	67.8	66.4	45.0	38.9	28.9	24.2	20.8	20.1	20.1
看護学科	21	85.7	71.4	71.4	47.6	28.6	19.0	57.1	14.3	38.1	14.3
福祉学科	25	92.0	56.0	68.0	40.0	44.0	32.0	32.0	16.0	16.0	32.0
栄養学科	29	55.2	72.4	51.7	41.4	44.8	41.4	17.2	24.1	17.2	10.3
英語学科	15	80.0	66.7	53.3	33.3	53.3	33.3	26.7	33.3	-	20.0
観光文化学科	16	87.5	68.8	68.8	50.0	31.3	37.5	-	43.8	-	37.5
助産別科	9	100.0	55.6	66.7	55.6	11.1	22.2	33.3	-	44.4	22.2
保育科	34	73.5	73.5	79.4	50.0	41.2	17.6	11.8	14.7	26.5	14.7

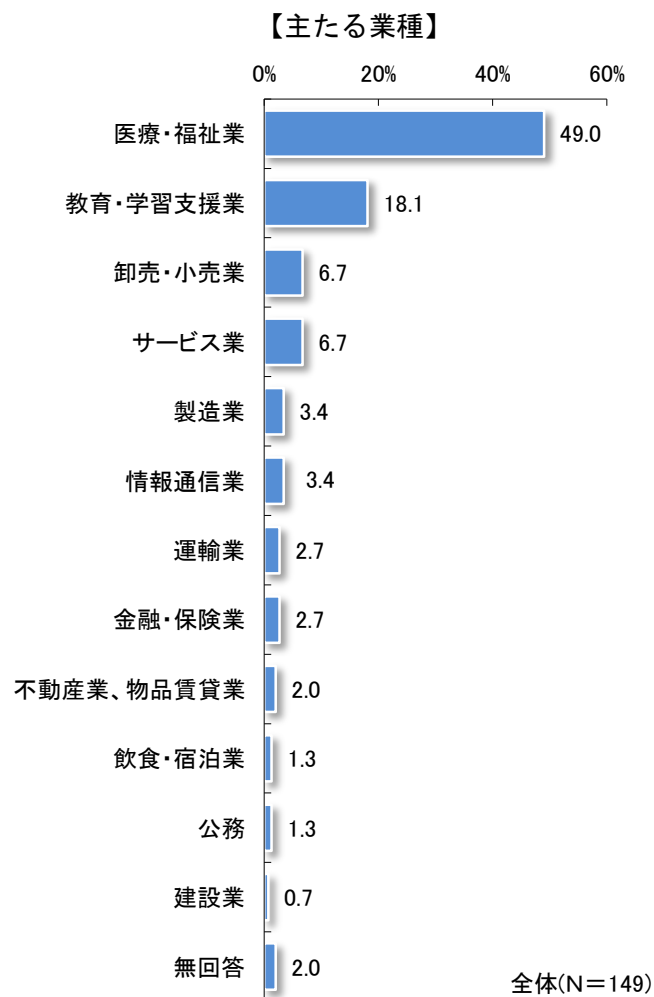
【学科別 採用の際に重要視する能力 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	7 ・職業意識・勤労観	6 ・創造力	11 ・生涯学習力	17 ・リーダーシップ	12 ・インターネットを活用する力	2 ・参加意欲・市民性・公共性、社会性	13 ・英語力	14 ・表現力	19 ・その他	無回答
全体	149	19.5	12.8	10.1	6.7	6.0	5.4	2.0	2.0	2.7	4.0
看護学科	21	19.0	4.8	4.8	-	-	-	-	-	-	4.8
福祉学科	25	16.0	12.0	8.0	8.0	8.0	12.0	-	4.0	4.0	-
栄養学科	29	17.2	17.2	10.3	6.9	6.9	-	3.4	6.9	3.4	10.3
英語学科	15	13.3	13.3	13.3	-	6.7	6.7	13.3	-	-	6.7
観光文化学科	16	6.3	12.5	12.5	18.8	18.8	6.3	-	-	-	-
助産別科	9	44.4	-	33.3	11.1	-	-	-	-	-	-
保育科	34	26.5	17.6	5.9	5.9	2.9	8.8	-	-	5.9	2.9

〔3〕事業所の概要

問 主たる業種に○をつけてください。

事業所の主たる業種は「医療・福祉業」(49.0%)が最も多く、次いで「教育・学習支援業」(18.1%)、「卸売・小売業」、「サービス業」(いずれも6.7%)となっている。



※回答のなかった項目は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 主たる業種 (1/2)】 (%)

	全体 (人)	医療・福祉業	教育・学習支援業	卸売・小売業	サービス業	製造業	情報通信業	運輸業
全 体	149	49.0	18.1	6.7	6.7	3.4	3.4	2.7
看護学科	21	85.7	14.3	-	-	-	-	-
福祉学科	25	68.0	8.0	-	12.0	4.0	-	-
栄養学科	29	55.2	6.9	10.3	13.8	6.9	-	3.4
英語学科	15	-	20.0	26.7	6.7	-	13.3	6.7
観光文化学科	16	6.3	-	12.5	6.3	12.5	18.8	6.3
助産別科	9	100.0	-	-	-	-	-	-
保育科	34	35.3	50.0	2.9	2.9	-	-	2.9

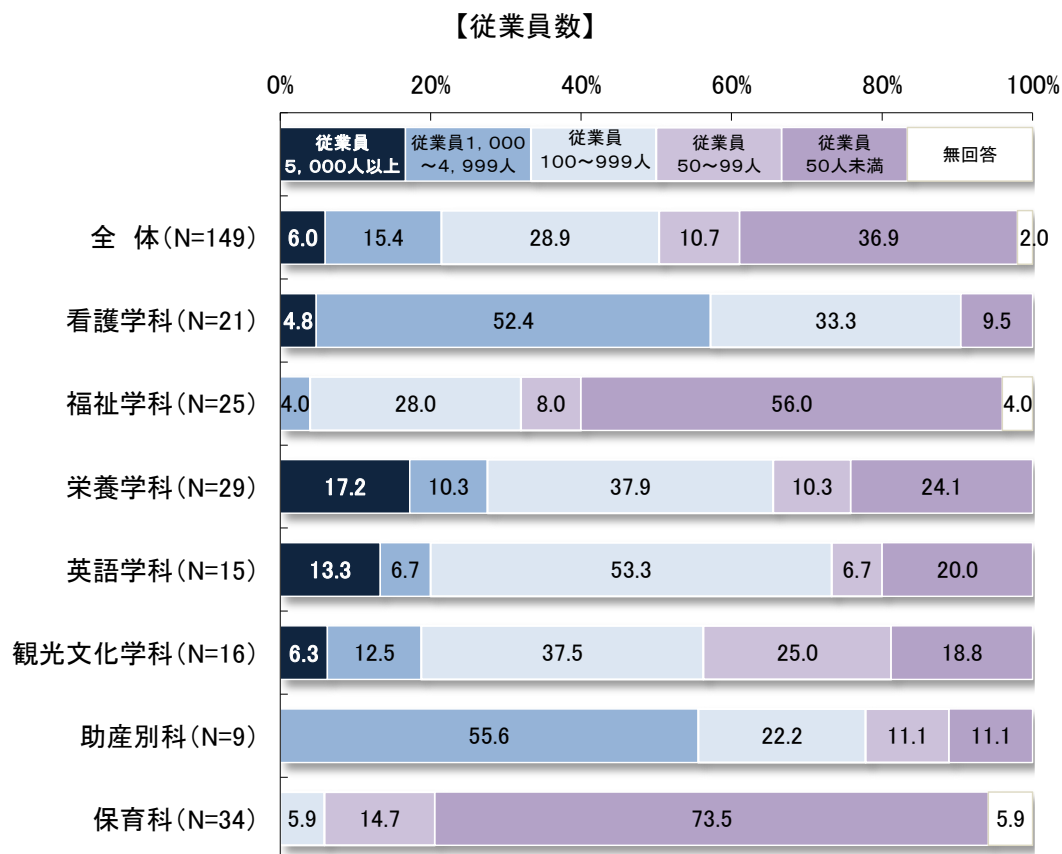
【学科別 主たる業種 (2/2)】 (%)

	全体 (人)	金融・保険業	不動産業、物品賃貸業	飲食・宿泊業	公務	建設業	無回答
全 体	149	2.7	2.0	1.3	1.3	0.7	2.0
看護学科	21	-	-	-	-	-	-
福祉学科	25	-	-	-	4.0	-	4.0
栄養学科	29	-	-	3.4	-	-	-
英語学科	15	20.0	-	-	-	6.7	-
観光文化学科	16	6.3	18.8	6.3	6.3	-	-
助産別科	9	-	-	-	-	-	-
保育科	34	-	-	-	-	-	5.9

問 従業員数に○をつけてください。

従業員数は、就職先全体では、「従業員 50 人未満」(36.9%) が最も多く、次いで「従業員 100～999 人」(28.9%)、「従業員 1,000～4,999 人」(15.4%) となっている。

学科別の従業員数をみると、他と比べて「従業員 5,000 人以上」では栄養学科 (17.2%)、英語学科 (13.3%) が高く、「従業員 50 人未満」では、保育科 (73.5%) が高くなっている。

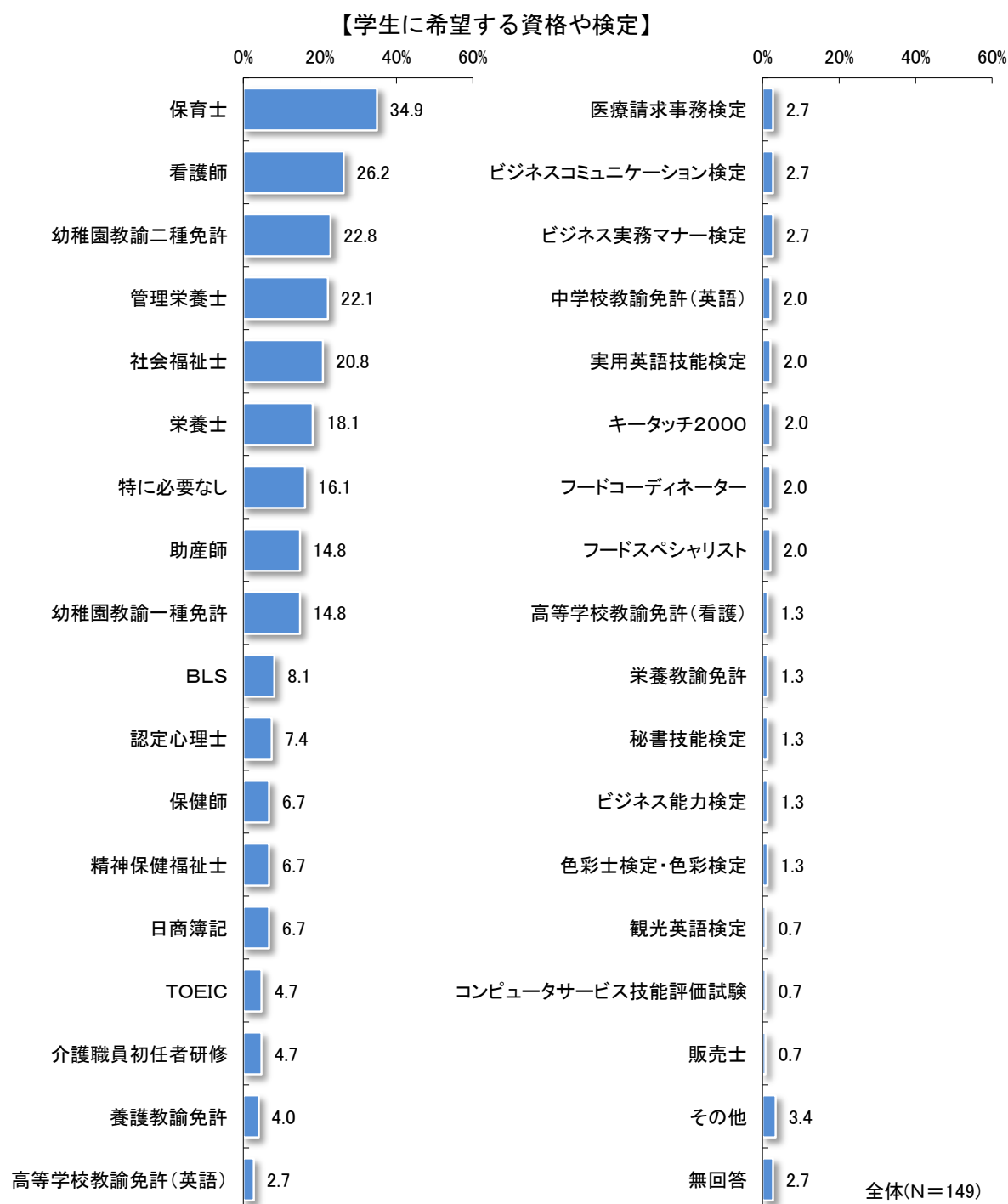


〔4〕学生に希望する資格や検定

問 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

学生に希望する資格や検定は、「保育士」(34.9%)が最も多く、次いで「看護師」(26.2%)、「幼稚園教諭二種免許」(22.8%)、「管理栄養士」(22.1%)となっている。一方で、「特に必要なし」は16.1%である。

また、学科別にみると、看護学科と助産別科で「看護師」、栄養学科で「管理栄養士」、保育科で「保育士」等、卒業学科に応じた専門性が求められている。



※回答のなかった選択肢は省略

第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 学生に希望する資格や検定 (1/3)】 (%)

	全体 (人)	保育士	看護師	幼稚園教諭二種免許	管理栄養士	社会福祉士	栄養士	特に必要なし	助産師	幼稚園教諭一種免許	BLS	認定心理士	保健師
全 体	149	34.9	26.2	22.8	22.1	20.8	18.1	16.1	14.8	14.8	8.1	7.4	6.7
看護学科	21	9.5	95.2	-	23.8	23.8	23.8	-	57.1	-	38.1	-	23.8
福祉学科	25	52.0	20.0	32.0	20.0	56.0	24.0	4.0	-	24.0	-	16.0	4.0
栄養学科	29	20.7	17.2	6.9	69.0	13.8	37.9	17.2	3.4	10.3	3.4	6.9	-
英語学科	15	6.7	-	6.7	-	-	-	60.0	-	6.7	-	-	-
観光文化学科	16	6.3	-	-	6.3	-	6.3	43.8	-	-	-	-	-
助産別科	9	11.1	88.9	-	22.2	22.2	22.2	-	100.0	-	33.3	11.1	22.2
保育科	34	82.4	2.9	67.6	-	17.6	5.9	5.9	-	35.3	-	11.8	5.9

【学科別 学生に希望する資格や検定 (2/3)】 (%)

	全体 (人)	精神保健福祉士	日商簿記	TOEIC	介護職員初任者研修	養護教諭免許	高等学校教諭免許(英語)	医療請求事務検定	ビジネスコミュニケーション検定	ビジネス実務マナー検定	中学校教諭免許(英語)	実用英語技能検定	キータッチ2000
全 体	149	6.7	6.7	4.7	4.7	4.0	2.7	2.7	2.7	2.7	2.0	2.0	2.0
看護学科	21	-	-	-	-	9.5	-	4.8	-	-	-	-	-
福祉学科	25	20.0	12.0	4.0	16.0	12.0	8.0	-	4.0	4.0	8.0	-	-
栄養学科	29	3.4	6.9	-	10.3	3.4	-	6.9	6.9	-	-	-	6.9
英語学科	15	-	6.7	13.3	-	-	13.3	-	-	6.7	6.7	6.7	-
観光文化学科	16	-	18.8	18.8	-	-	-	6.3	6.3	6.3	-	12.5	6.3
助産別科	9	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	11.8	2.9	-	-	-	-	-	-	2.9	-	-	-

【学科別 学生に希望する資格や検定 (3/3)】 (%)

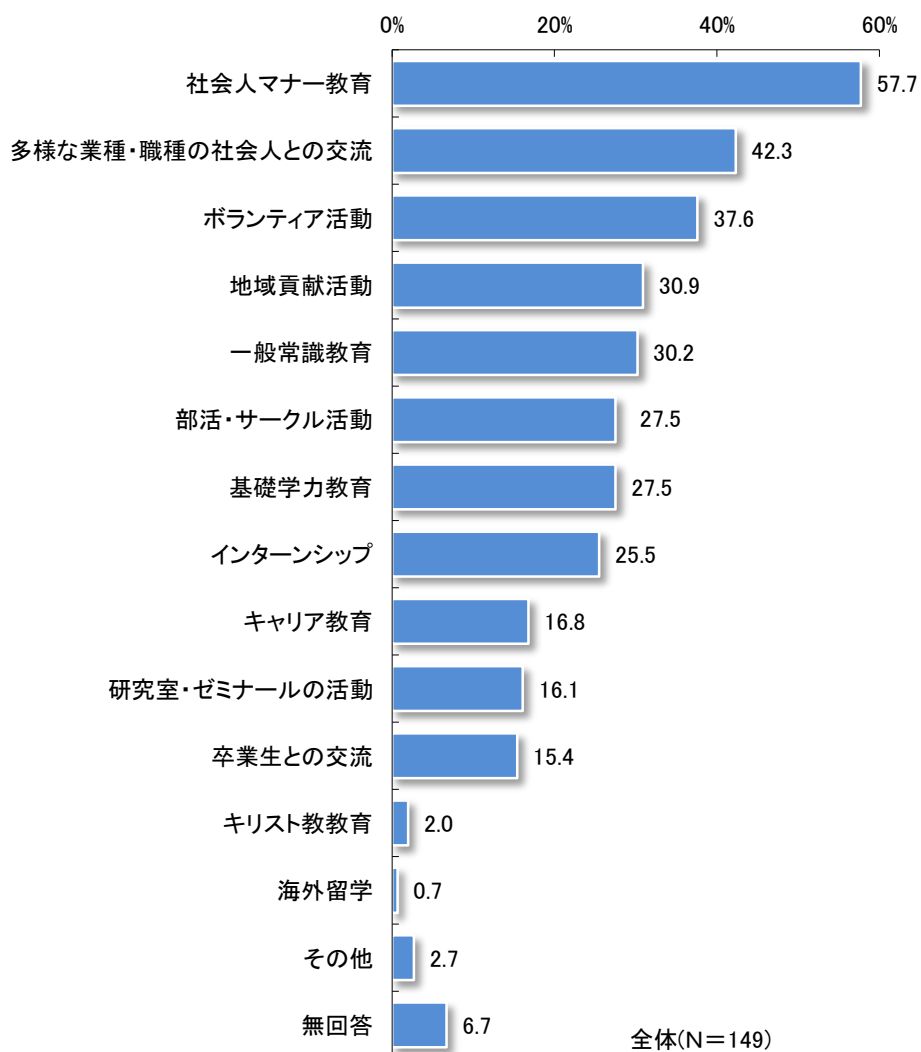
	全体 (人)	フードコーディネーター	フードスペシャリスト	高等学校教諭免許(看護)	栄養教諭免許	秘書技能検定	ビジネス能力検定	色彩士検定・色彩検定	観光英語検定	評価試験	コンピュータサービス技能	販売士	その他	無回答
全 体	149	2.0	2.0	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	0.7	0.7	0.7	0.7	3.4	2.7
看護学科	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福祉学科	25	-	-	4.0	4.0	-	4.0	-	-	-	-	4.0	8.0	8.0
栄養学科	29	6.9	10.3	-	3.4	3.4	3.4	-	-	-	-	-	-	-
英語学科	15	-	-	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-	13.3	-
観光文化学科	16	-	-	-	-	6.3	-	6.3	6.3	6.3	-	-	6.3	-
助産別科	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
保育科	34	2.9	-	-	-	-	-	2.9	-	-	-	-	-	5.9

〔5〕大学生の人間形成に必要な支援

問 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

大学の人間形成に必要な支援は、「社会人マナー教育」(57.7%)が最も多く、次いで「多様な業種・職種の社会人との交流」(42.3%)、「ボランティア活動」(37.6%)となっている。

【大学生の人間形成に必要な支援】



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（1/2）】（％）

	全体 （人）	社会人 マナー 教育	多様な業種・職種の 社会人との交流	ボランティア活動	地域貢献活動	一般常識教育	部活・サークル活動	基礎学力教育	インターンシップ
全 体	149	57.7	42.3	37.6	30.9	30.2	27.5	27.5	25.5
看護学科	21	66.7	57.1	33.3	33.3	42.9	23.8	47.6	33.3
福祉学科	25	56.0	56.0	40.0	36.0	32.0	12.0	20.0	24.0
栄養学科	29	62.1	37.9	37.9	37.9	27.6	37.9	34.5	10.3
英語学科	15	73.3	33.3	26.7	26.7	26.7	26.7	6.7	20.0
観光文化学科	16	43.8	31.3	31.3	37.5	37.5	50.0	31.3	37.5
助産別科	9	22.2	77.8	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	44.4
保育科	34	58.8	26.5	47.1	23.5	26.5	20.6	26.5	26.5

【学科別 大学生の人間形成に必要な支援（2/2）】（％）

	全体 （人）	キャリア教育	の研究室・ゼミナールの活動	卒業生との交流	キリスト教教育	海外留学	その他	無回答
全 体	149	16.8	16.1	15.4	2.0	0.7	2.7	6.7
看護学科	21	38.1	-	4.8	-	-	4.8	9.5
福祉学科	25	16.0	16.0	16.0	4.0	4.0	-	4.0
栄養学科	29	13.8	24.1	24.1	-	-	-	3.4
英語学科	15	13.3	13.3	13.3	-	-	-	-
観光文化学科	16	18.8	18.8	12.5	-	-	6.3	6.3
助産別科	9	11.1	-	11.1	-	-	11.1	-
保育科	34	8.8	23.5	17.6	5.9	-	2.9	14.7

〔6〕採用について

問 貴事業所において、過去5年間で採用の実績がある大学名を3校まで差し支えなければ、ご記入ください。

各事業所において、過去5年間で採用に実績がある大学名を3校まで自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

看護学科

大学名	記入数
福岡県立大学	4
宇部フロンティア大学	3
福岡大学	3
山口県立大学	3
九州看護福祉大学	2
産業医科大学	2
日本赤十字九州国際看護大学	2
福岡女学院看護大学	2
宮崎県立看護大学	2
山口大学	2
大分県立看護科学大学	1
大分大学	1
九州大学	1
久留米大学	1
自治医科大学	1
純真学園大学	1
西南女学院大学	1
徳島大学	1
日本赤十字広島看護大学	1
広島文化学園大学	1

栄養学科

大学名	記入数
中村学園大学	9
九州女子大学	8
九州栄養福祉大学	6
北九州市立大学	2
西九州大学	2
東筑紫短期大学	2
福岡大学	2
鹿児島大学	1
九州国際大学	1
九州女子短期大学	1
熊本県立大学	1
西南女学院大学	1
筑紫女学園大学	1
東海大学	1
徳島文理大学	1
福岡県立大学	1
福岡女子大学	1
別府大学	1
南九州大学	1

福祉学科

大学名	記入数
北九州市立大学	3
西南学院大学	3
九州産業大学	2
九州女子大学	2
西南女学院大学	2
筑紫女学園大学	2
中村学園大学	2
梅光学院大学	2
福岡県立大学	2
福岡大学	2
北九州保育福祉専門学校	1
九州国際大学	1
九州女子短期大学	1
熊本大学	1
久留米大学	1
佐賀大学	1
純真短期大学	1
精華女子短期大学	1
東筑紫短期大学	1
福岡教育大学	1
福岡女学院大学	1
山口県立大学	1

英語学科

大学名	記入数
福岡大学	3
北九州市立大学	2
九州産業大学	2
安田女子大学	2
山口大学	2
大分県立芸術文化短期大学	1
九州工業大学	1
九州国際大学	1
下関市立大学	1
西南学院大学	1
西南女学院大学	1
広島大学	1
福岡工業大学短期大学部	1
明治大学	1

観光文化学科

大学名	記入数
北九州市立大学	3
西南学院大学	3
福岡大学	3
梅光学院大学	2
福岡女子短期大学	2
大分大学	1
小樽商科大学	1
九州国際大学	1
九州産業大学	1
久留米大学	1
慶應義塾大学	1
香蘭女子短期大学	1
下関市立大学	1
西南女学院大学	1
西日本工業大学	1
福岡工業大学	1
福岡女子大学	1
山口県立大学	1
立教大学	1
国際基督教大学	1

助産別科

大学名	記入数
日本赤十字九州国際看護大学	3
福岡県立大学	2
長崎大学	2
宇部フロンティア大学	1
神奈川県立保健福祉大学	1
九州大学	1
産業医科大学	1
自治医科大学	1
西南女学院大学	1
徳島大学	1
日本赤十字社助産師学校	1
福岡女学院看護大学	1
宮崎県立看護大学	1

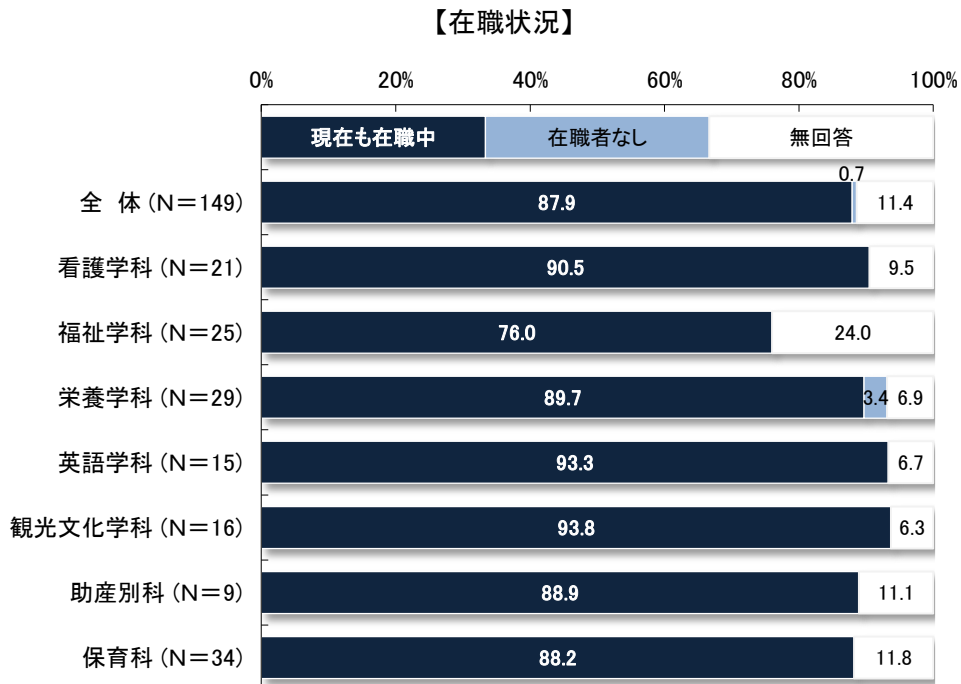
保育科

大学名	記入数
東筑紫短期大学	16
西南女学院大学短期大学部	7
九州女子大学	6
九州女子短期大学	4
下関短期大学	3
山口学芸大学	3
西南学院大学	2
中村学園大学	2
中村学園大学短期大学部	2
福岡こども短期大学	2
福岡女学院大学	2
麻生医療福祉専門学校	1
北九州市立大学	1
北九州保育福祉専門学校	1
九州産業大学	1
久留米大学	1
香蘭女子短期大学	1
駒沢女子短期大学	1
西南女学院大学	1
西九州大学	1
梅光学院大学	1
東九州短期大学	1
福岡県立大学	1
福岡こども専門学校	1
福岡大学	1
別府大学短期大学部	1
山口芸術短期大学	1

問 本学卒業生の在職人数と最近5年以内に入職した本学卒業生のうち1年以内に退職した人数をご記入ください。

在職状況について、就業先全体では「現在も在職中」(87.9%)が最も多くなっている。

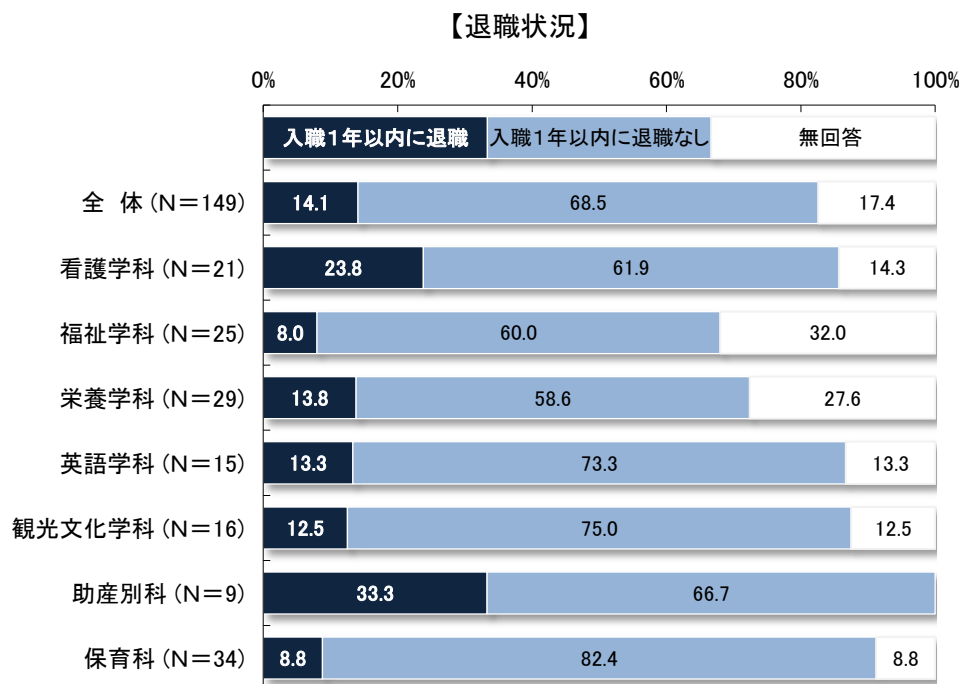
学科別にみると看護学科、英語学科、観光文化学科では「現在も在職中」(看護学科:90.5%、英語学科:93.3%、観光文化学科:93.8%)が90%を超えて多くなっている。



第2章 就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート

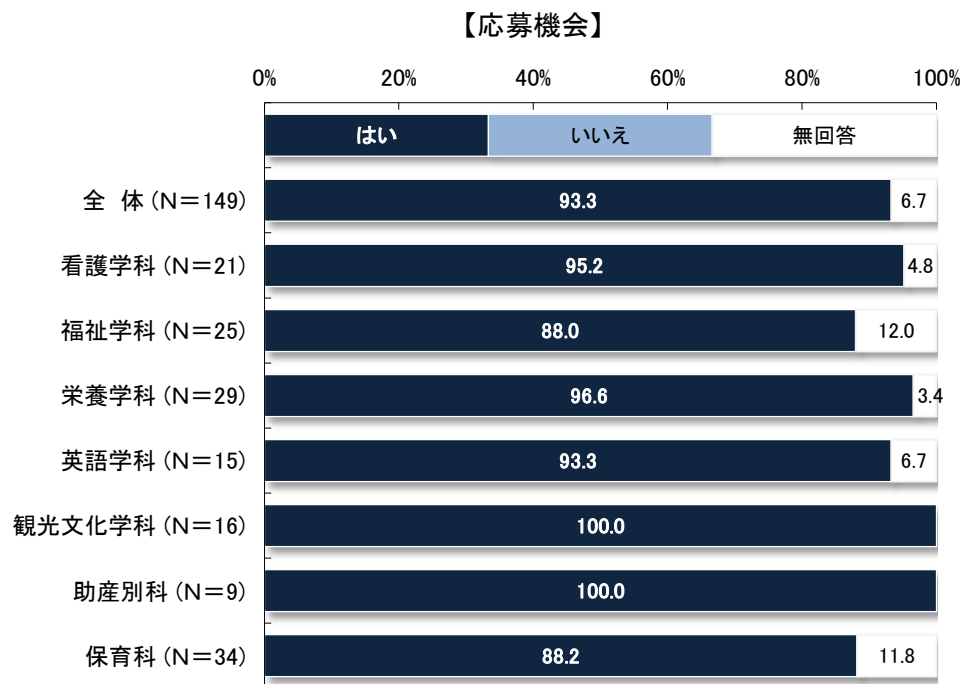
退職状況について、就業先全体では、「入職1年以内に退職なし」(68.5%)が最も多くなっている。

学科別にみると、無回答の割合が高い学科もあるため、傾向をみる程度にとどめるが、看護学科や助産別科では「入職1年以内に退職」の割合が他学科に比べ高い傾向にある。



問 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

今後の応募機会について、全体結果及び学科別ともに「はい」の割合が大半を占める結果となっている。



〔7〕大学に対する意見・要望（自由意見）

問 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

大学に対しての意見や要望について、自由記述形式で回答してもらった。回答内容は以下のとおり。

【採用・就職支援について】

（回答者数：53人/149人）

学科	内容
看護学科	昨今、新型コロナウイルス感染症の影響で直接お話できる機会が少なくなっておりますが、当院にご興味のある学生さんがいらっしゃいましたら、ぜひ当院のWeb就職説明会などコンタクトを取っていただければと存じます。簡単ではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。
福祉学科	定期的に学校を訪問し、入社して頂いた卒業生の現在の様子や新卒募集に関する情報交換をさせて頂いております。（I先生にお世話になっております）今後ともよろしくお願い致します。
	是非、23年新卒の学生様の採用をさせて頂きたく考えております。今後ともどうぞよろしくお願い致します。
	いつもありがとうございます。インターンシップから採用までの学生が減少するのが悩みです。引き続きよろしくお願い致します。
栄養学科	平素より当社採用活動に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。毎年、多くの学生様とのご縁をいただき、来年度も多くのご縁をいただけますと幸甚でございます。また学内での企業説明会の機会があれば、是非ともお声掛けくださいませ。
	2023年求人票完成後、提出いたします。引き続きよろしくお願い致します。
英語学科	特にありませんが、御校より入社いただいた方は全て在職率が高いので、今後も良い方をご紹介いただければと思います。
	この度は、弊社にもアンケートを送っていただきありがとうございます。積極的に貴学の学生の皆さんと交流をもてればと思っております。学内でのイベント等ありましたら、お声がけいただけると幸いです。よろしくお願い致します。
	ご提出が締切後となつてしまい誠に申し訳ございません。今年度もご連絡や訪問させていただく機会が多いかと存じますが、何卒よろしくお願い申し上げます。いつも本当にありがとうございます。
観光文化学科	より多くの学生さんにご縁を結びたく思っております。今後ともよろしくお願い致します。
	機会があれば説明会等もやってみたいと思います。
	インターンシップ等多くの学生様にご参加いただき、誠にありがとうございます。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。
保育科	業務内容としては、肉体労働の意味合いがあります。施術を基礎から修得し、お客様に対するホスピタリティの気持ちを持てる方でしたら、お話を聞かせて頂きます。
	いつもあたたかな御対応ありがとうございます。他園に比較しコロナ対応に対して制限も多いかと思えます。実習・見学と学生の皆様に不便をおかけし申し訳ありません。保護者も園内に入れない日々の中、発表会・運動会のみ1名20分、参観することができました。来年多くのエビデンスをもとに変化・緩和を見出していきたいと願っております。今後共宜しくよろしくお願い致します。
	最近、学生数の減少のためか実習生が毎年来なくなりました。令和4年度は新たな出会いを期待しております。

【現在就業中の卒業生について】

学科	自由回答
看護学科	貴校の卒業生は、臨床においても内省力が高く、グングンと成長されています。今後もとてもたのしいです。ありがとうございます。
福祉学科	本校(公立小)新採として赴任しました。高い自覚と謙虚に学ぶ姿勢が大変すばらしく、学校にとって欠かせないスタッフとして活躍しております。貴校の教育レベルの高さ、全人的教育の徹底に心より敬意を表します。
	とても積極的でステキな学生です。就職していただき、ありがとうございました。
	いつもお世話になっております。昨年度に御校にて採用させて頂きました学生様が弊社にて大変目覚ましい活躍を頂いております。
栄養学科	卒業後の入職者に対しラダーを使用し、計画的に人材育成を行っております。今年2名(別大学)入職して頂き、指導を含め業務していただいております。内容の中に1日分の病院献立作成(病種別)の課題がありましたが、期日まで、又、期日延長でも作成し終わっておりません。ただ同期1名も終了できず、来月4日より新人2名入職予定であります(別大学)。この2名も同ラダーにそって教育してみる予定です。期限に問題があるのか、指導に問題があるのか、確認したいと思っております。
	卒校勤務の栄養教諭は、誠実に職務を行い成果をあげています。
	管理栄養士国家試験の合格率を上げることも重要だとは思いますが、個人差もあるでしょうが、コミュニケーション力、協調性などの「社会で必要な力」が養われていないと感じます。又、学び続ける姿勢もない様です。
	昨年、新卒と既卒で転職として2名採用させていただきました。きちんとした態度で仕事に励んで頂き、栄養課の一員としてしっかりと働いて頂いております。知識はもちろん必要ですが、コミュニケーションがとれ、自己管理が出来る事が新人に求める一番の事です。今後ともよろしくお願いいたします。
	勤務態度も良く、前向きで職場に良い刺激を与えています。まだ1年なので、これから成長していくものと期待しています。研究的視点を持ち、現場の中で新たな発見につながるものを育成できればと考えています。期限が遅れ申し訳ありません。
英語学科	2021.4卒業生1名は人間的に素晴らしく、たくましく成長しています。
	入社後すぐに戦力になっており、大変助けられております。今後とも宜しくお願い致します。
観光文化学科	ご担当者様、いつもお世話になっております。アンケート回答いたします。貴校卒業生の職員は皆さん本当に優秀な方ばかりで、大変頼もしい存在です。対象者の新採職員も、新人さんとは思えないほどしっかりされていて助かっています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。
保育科	とても優秀な学生さんが多いと思います。実習に入る前の事前指導がよくされていると感じます。
	今年度採用の当保育所の保育士は大変まじめで、まだひかえ目なところもありますが、よく頑張っています。今後も、事業団保育所をぜひ学生さんにすすめていただき、一緒に働けるとうれしく思っています。
	実習日誌の記入の仕方、内容がどの学生さんもよくできています。自主的に保育の経験をしようとする意欲のある方が多いと思います。
	当園の半分以上の保育教諭が西南の卒業生ですが、皆素晴らしい職員です。
	専門職としての養成がしっかりできていると感じる。
	貴校の学生さんは、当園で力を存分に発揮され貢献して下さっています。学校での学びや社会人としての礼節なども備わっていて、子ども達にとっても園にとっても良い先生となってくれています。
	責任感があり、自分の意思がしっかりした職員です。就職後の成長に期待します。

【大学への要望】

学科	自由回答
看護学科	看護師(社会人としても)として成長するために、周囲の協力や指導は必要不可欠であり、支えられていることに感謝し、その気持ちを周囲に伝えたり貢献できる人を是非育成していった下さい。
福祉学科	福祉に関する事だけでなく、学生時代に生活に関わる多くの事を経験しておいていただけると、それが入職後に様々な場面で活かせると思いますので、学生の皆さんにご指導いただけたらと思います。
栄養学科	もし、時間があるのであれば大学生活の中で期限を守る大切さを教えていただけるとたすかります。
観光文化学科	自分の強みやスキルの自己理解が深まるようにすることで、面接等でも自分の言葉として堂々と活かせるようになってよいと思います。
保育科	当地(中津市近郊)の学生を募集・入学者を増加させてほしい。
	実習生の依頼が実習の一年前からなので、半年前くらいからにして頂きたいです。
	偶然なのか全体としてなのかは不明だが、今までよりも貴校の学生のレベルが下がっているように感じる。教育に関しての経験や知識は就職して身につけていくものだと思うが、一般常識や基礎学力、社会人としてのマナーが身につけてほしいと思う。
	・実習生の派遣をお願いします。 ・インターン、ボランティアなど現場実践を増やして下さい。

【その他】

学科	自由回答
栄養学科	今後ともよろしくお願い致します。
	学生に対し、様々な資格・検定の取得支援をされ、卒後のアンケート調査も実施されており、素晴らしい取り組みであると感銘を受けました。
英語学科	本アンケート対象者は退職しています。
観光文化学科	いつも大変お世話になっております。アンケート等郵送物について、今後は店舗ではなく、本社へお送りいただきますよう恐れ入りますがお願いいたします。23卒も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。
助産別科	いつも大変お世話になっております。不満・不明点などございましたら、人事課K宛てにご連絡下さい。
保育科	いつもありがとうございます。
	大変な仕事ですが、やりがいもあります。チームワークが大切ですので、報・連・相を大切に勤めたらフォローできる体制です。楽しさをぜひ伝えて保育教諭が生まれることを願います。
	今後ともよろしくお願い致します。

3. 調査結果のまとめ

ここでは、これまでにまとめた選択肢ごとの分析結果をはじめ、2020年度（令和2年度）に実施した卒業生アンケート（以降、「前回調査」と表記）、2021年度（令和3年度）に実施した在学生に対する学生生活に関する実態調査（以降、「学生調査」と表記）の結果を参考に、特徴がみられるものについて抜粋し、就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケートの総括とする。

▶仕事に必要な能力

<必要性和達成度>

就職受け入れ先から見た、現在の仕事において必要な力やスキルを【必要性】（「必要である」＋「やや必要である」）、卒業生の力やスキルを【達成度】（「身につけている」＋「ほぼ身につけている」）として分析し、必要性和達成度の差が最も大きい上位3つの項目には枠を付けた。

仕事上では、「英語力」以外ほとどの項目も必要性が85%を超えている。

必要性に比べ、卒業生の達成度は総じて低い傾向にあるが、とりわけ「リーダーシップ」、「表現力」、「創造力」でその差が大きい。しかし、これらの力やスキルは、学生生活のうちに習得するというよりも、本来、社会経験を積むことで得られる要素が強いため、今後、卒業生の職場での成長に期待したい。

一方、「倫理観」、「知識・理解」、「市民性・公共性、社会参加意欲」などは、必要性に対する達成度のギャップが小さく、これらについては卒業生の評価が比較的高いと言える。

こうした達成度とのギャップについては、前回調査結果と同様の傾向を示していることから、在学生に対しては、リーダーシップや表現力、創造力など自主性を育むような指導・取り組みを取り入れる必要があると言える。

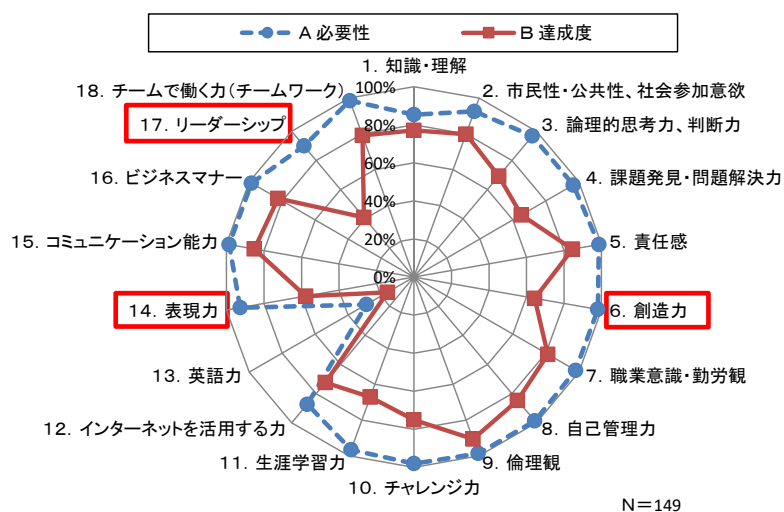
<達成度評価のギャップ（就職先と卒業生との比較）>

就職先が評価する卒業生の達成度と、卒業生本人が考える自身の達成度について比較を行った。

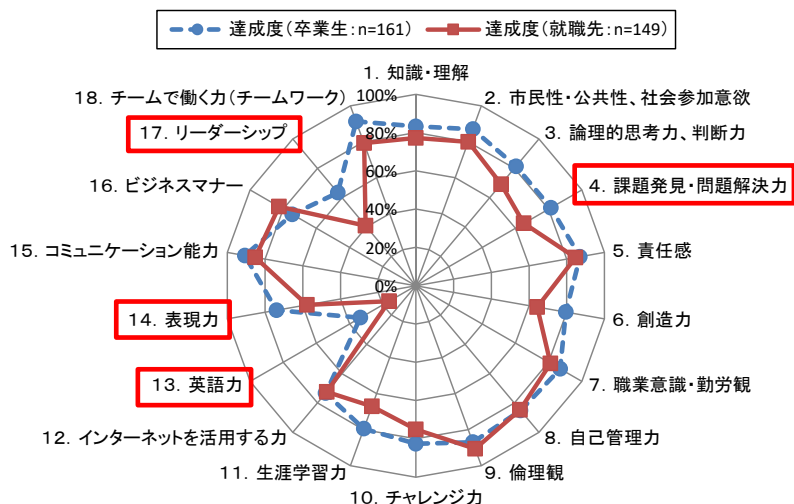
概ね就職先と本人評価は類似しているが、「リーダーシップ」、「英語力」、「課題発見・問題解決力」、「表現力」についてはギャップがやや大きく、卒業生が思うよりも就職先が考える卒業生への評価が低い。

しかしながら、就職先の評価対象であるのは2021年3月卒業生となり、卒業後1年未満と経験が浅いことを踏まえると、概ね妥当な評価とも考えられる。今後、経験を積んでいく中で、これらの能力を伸ばしてゆけるよう期待したい。

【仕事上での必要性和卒業生の達成度】



【就職先と卒業生の達成度評価の比較】



▶採用について

＜採用時に重要視する能力＞

学生調査における採用のあり方については、事業所が採用の際に重要視する能力として、「コミュニケーション能力」や「チームで働く力（チームワーク）」、「責任感」が7割前後と他の項目より高くなっており、特に、人と連携して働いていくスキルを重視している様子が見えてくる。これらは、前回調査結果でも上位に挙げられており、常に採用の判断基準となっていると言える。また、卒業生アンケートでも大学・短期大学部で得たスキルとして上位に挙げられており、就職先が重要視している能力と大学・短期大学部で得られたスキル（達成度）が一致する。

なお、学科別にみても重要視する能力は同じ傾向にあり、職種に関わらず採用の際には「コミュニケーション能力」と「チームで働く力（チームワーク）」、「責任感」の有無が重要とされていることがわかる。

また、就職先から学生に希望する資格や検定について学科別にみると、看護学科で「看護師」、福祉学科で「社会福祉士」、栄養学科で「管理栄養士」、助産別科で「助産師」、保育科で「保育士」、「幼稚園教諭二種免許」等、当然のことながら卒業学科に応じた専門性が求められており、資格の有無が採用に大きく影響すると言える。

▶大学・短期大学部で必要な支援

大学生の人間形成に必要な支援として、「社会人マナー教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」、「ボランティア活動」が上位に挙げられた。「社会人マナー教育」、「多様な業種・職種の社会人との交流」は前回調査でも上位に挙げられており、「ボランティア活動」も前回調査より10ポイント以上高くなっていることから、大学でも基礎的な社会人マナーなど社会に出て役立つ教育機会の充実や、社会人との交流、社会参加など、在学中に経験できるような環境づくりが必要とされている。

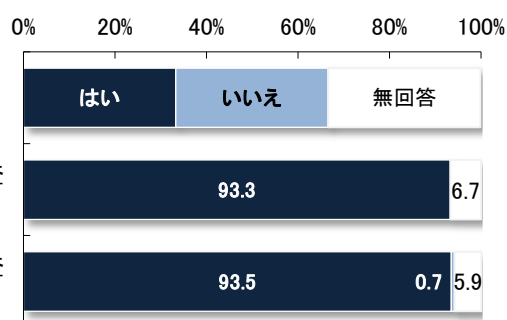
＜今後の採用について＞

今後の採用時に、本学の学生に応募機会を与えるか否かについては、9割を超える事業所が応募機会を与えると回答しており、前回調査から引き続き高い支持を得ている。

調査結果から、卒業生の仕事に必要な力やスキルに不十分な部分はあるものの、就職受け入れ先では今後も引き続き採用意向があることから、本学の学生は採用に値する一定の評価を得ているものと考えられる。

本学の卒業生が今後も事業所の期待に応え、社会に貢献できるよう、在学時からの人材育成に引き続き取り組む必要がある。

【今後の採用意向（前回調査との比較）】



▶大学に対する意見や要望

大学に対する意見や要望について自由記述形式にて回答を得たところ、本学の卒業生に対して好評価の事業所が多く、大学に対する意見としても、インターンシップやオンラインでの就職説明会などに参加する機会を設けてほしい等、採用に積極的な意見が多い。

総じて、就職先から見た本学卒業生の評価は高いものと考えられるが、就職受け入れ先では共通して、社会人としての基本的なマナーやコミュニケーション能力のある学生を求めている。大学・短期大学部においては、専門的な知識や経験、スキル等だけではなく、こうした人間形成の基礎を育む教育・指導が今後も求められていると言える。

第3章 調査票

2021(令和3)年12月

卒業生の皆さまへ

西南女学院大学
学長 浅野 嘉延

「西南女学院大学 卒業生アンケート調査」について（お願い）

拝啓 卒業生の皆様におかれましては、日々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて、本学では、卒業生の皆様の現在の状況を確認するとともに、卒業生からの本学に対する率直なご意見やご要望をいただくことで、今後のより良い大学運営に役立てていきたいと考えております。

つきましては、年末のお忙しい時期に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、アンケート調査にご協力をくださいますようお願いいたします。 敬 具

1. 調査内容

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

2. 対象者

2019年3月大学卒業生

3. アンケート用紙

別紙のとおり

4. 回答期限

2022年1月31日（月）

5. 回答方法：次のいずれかの方法でご回答ください。

- ① QRコード（本紙左下）又は下記URLより、WEBページで回答後、送信
<https://forms.gle/WyP2V6fS7X24328z7>
- ② 同封の返信用封筒によるアンケート票の返送
- ③ FAXによるアンケート票の返信

※このアンケート調査により得られた結果は統計的に集計し、皆様の個人的な情報が公表されることや他の目的に使用することは一切ありません。



【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093) 583-5777

FAX (093) 583-4633

西南女学院大学 卒業生アンケート調査

I. あなたご自身のことについて該当するものに○をつけてください。

1. 卒業した学科を教えてください。

1. 看護学科

2. 福祉学科

3. 栄養学科

4. 英語学科

5. 観光文化学科

6. 助産学科

2. 現在の状況を教えてください。

1. 現在、仕事をしている → IIへ進んでください

2. 現在、仕事をしていない → IVへ進んでください

II. 現在仕事をしている方におたずねします。

1. 現在の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

2. 現在の勤務先で携わっている主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

3. 現在の勤務先について○をつけてください。

1. 現在の勤務先は卒業時と変わっていない

2. 転職した → IIIへ進んでください

4. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員

2. 契約(非正規)職員

3. パート・アルバイト

4. 派遣社員

5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員

2. 契約(非正規)職員

3. パート・アルバイト

4. 派遣社員

5. その他()

5. 現在の勤務先の満足度について○をつけてください。

1. 満足している

2. どちらでもない

3. 満足していない

VIへ進んでください

↓

6. II-5で「満足していない」を選択した方は、該当するものに○をつけてください。

1. 転職(退職)を考えている

2. 転職(退職)するまではしない

VIへ進んでください

III. II-3で「転職した」を選択した方におたずねします。

1. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

2. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

3. 雇用形態について教えてください。

①卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員

2. 契約(非正規)職員

3. パート・アルバイト

4. 派遣社員

5. その他()

②現在の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員

2. 契約(非正規)職員

3. パート・アルバイト

4. 派遣社員

5. その他()

4. 転職された時期をご記入ください。（複数回転職された場合は最初の転職についてご記入ください。）

入職後、

年

ヶ月目

5. 転職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

1. 仕事内容

2. 給与

3. 休日

4. 福利厚生

5. 人間関係

6. 社風・職場の雰囲気

7. 勤務地

8. 将来性

9. 家庭の事情

10. その他()

VIへ進んでください

IV. 現在、仕事をされていない方におたずねします。

1. 現在の状況に○をつけてください。（複数選択可）

1. 求職中

2. 学生

3. 家事、子育て

4. その他()

2. 卒業時の勤務先の主たる業種について右の表【A】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

3. 卒業時の勤務先で携わっていた主たる職種について右の表【B】から選んで番号をご記入ください。（1つ選択）

4. 卒業時の雇用形態に○をつけてください。（1つ選択）

1. 正規職員

2. 契約(非正規)職員

3. パート・アルバイト

4. 派遣社員

5. その他()

5. 退職した理由に○をつけてください。（複数選択可）

1. 仕事内容

2. 給与

3. 休日

4. 福利厚生

5. 人間関係

6. 社風・職場の雰囲気

7. 勤務地

8. 将来性

9. 家庭の事情

10. その他()

V. 仕事をしながら感じたこと（苦労したことや成長したことなど）をご記入ください。

(裏面につづく)

【業種・職種区分表】

A業種

1 農業

2 林業

3 漁業

4 鉱業、採石業、砂利採取業

5 建設業

6 製造業

7 電気・ガス・熱供給・水道業

8 情報通信業

9 運輸業

10 卸売・小売業

11 金融・保険業

12 不動産業、物品賃貸業

13 飲食業

14 宿泊業

15 一般病院

16 精神科病院

17 クリニック

18 高齢者施設

19 障がい児・者施設

20 児童施設

21 保育園

22 教育（小学校・中学校・高等学校・専門学校等）

23 幼稚園

24 学習支援業

25 サービス業

26 公務

27 その他()

B職種

1 事務（総務・企画・コールセンター・カウンター業務等）

2 販売

3 営業

4 接客

5 看護師

6 保健師

7 助産師

8 医療ソーシャルワーカー

9 相談員

10 精神保健福祉士

11 支援員・指導員

12 介護職

13 保育士

14 管理栄養士

15 栄養士

16 幼稚園教諭

17 養護教諭

18 英語教諭

19 公務員

20 その他()

82

Ⅶ. 西南女学院大学で受けた教育について教えてください。

①必要な能力やスキルに関して、A、B、Cについて該当するものに○をつけてください。その他を選択した場合は、()内に具体的内容をご記入ください。

		A 達成度 西南女学院大学で 得た力やスキル				B 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				C 能力やスキルを身につけるため役立った事 (複数回答可)										
		身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	役に立つ	やや役に立つ	あまり役に立たない	役に立たない	大学での講義	研究室・ゼミ活動	キャリア教育	実習・インターンシップ	留学	部活・サークル	アルバイト	独学、専門学校	ボランティア・地域貢献活動	勤務先での研修	
1	知識・理解 大学で学んだ専門分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができます。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができます。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができます。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
8	自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネス系ソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力、効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちのよい受け答えやマナーのよい対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

②上記の表の1～19の能力・スキルのうち、仕事をする上で重要だと思われるものについて、5つまでその番号をご記入ください。➡

Ⅷ. 大学時代を振り返ったときに、有意義だったと思う授業がありましたらご記入ください。また、よろしければ理由をご記入ください。

Ⅸ. どの様な授業があれば更によかったか具体案があればご記入ください。

Ⅹ. 大学に対して講義以外でもっと支援をしてもらいたかったこと、経験したかったことに○をつけてください（5つまで選択可）。また、具体的な内容があればご記入ください。

1. 部活、サークル活動	2. 研究室・ゼミの活動	3. キャリア教育	4. 実習、インターンシップ	5. ボランティア活動
6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流	9. 多様な業種・職種の社会人との交流	10. キリスト教教育
11. 一般常識教育	12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育		
【具体的な内容】				

Ⅺ. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。

なお、今後、仕事のことなどで相談がありましたら、遠慮なくご連絡ください。

下記の項目は差し支えない範囲でご記入ください。

氏名	住所 〒	勤務先
	携帯番号	

〈個人情報保護について〉ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2021(令和3)年12月

採用ご担当者様

西南女学院大学
西南女学院大学短期大学部
学長 浅野 嘉延

「就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査」について(お願い)

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学学生の就職に関しましては、格別のご高配を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、本学では、卒業生を受け入れていただいた事業者様から、本学の教育に関する評価を
いただくことで、更なる大学教育の質の向上を図り、より社会で活躍できる人材の育成に役立て
て参りたいと考えております。

つきましては、本学卒業生の評価に関するアンケート調査のご回答をお願いいたします。

ご多用中まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力を賜りますよう
お願い申し上げます。

敬 具

1. 調査内容

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の
評価に関するアンケート調査

2. アンケート用紙

別紙のとおり

3. 回答期限

2022年1月31日(月)

4. 回答方法

同封の返信用封筒またはFAXにて返信をお願いいたします。

【問い合わせ先・回答先】

〒803-0835

北九州市小倉北区井堀1-3-5

西南女学院大学 就職課

TEL (093)583-5777

FAX (093)583-4633

就職受け入れ先から見た西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部卒業生の評価に関するアンケート調査

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏名	

アンケート対象者：2021年4月就職者 卒業生 ※在職者複数の場合、総合的評価としてご記入ください。

II. 下記の項目の仕事に必要な能力に関して、A、B、Cそれぞれ該当する番号に○をつけてください。
 その他を選択した場合は、()内に具体的内容を記入してください。

		A 必要性 現在の仕事において 必要な力やスキル				B 達成度 西南女学院大学 卒業生の力やスキル					C 採用の際、 重要視する能力 上位5つに○を つけてください	
		必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない	身につけている	ほぼ身につけている	あまり身につけていない	身につけていない	わからない		
1	知識・理解 大学で学んだ学問分野や専門領域に関する知識を理解し、実践することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	1
2	市民性・公共性、社会参加意欲 豊かな人間性を涵養し、福祉と文化の発展に貢献することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	2
3	論理的思考力、判断力 論理的に思考し、判断することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	3
4	課題発見・問題解決力 現状を把握し、情報を収集・分析して、課題や問題を計画的に解決できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	4
5	責任感 与えられた課題を最後までやり抜く粘り強さがある。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	5
6	創造力 柔軟で豊かな発想力・創造力を発揮できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
7	職業意識・勤労観 自らの職業意識・勤労観を持ち職務に取り組むことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	7
8	自己管理能力 心身ともに健康で、自らを律して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	8
9	倫理観 自己の良心と社会のルールに従って行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	9
10	前に踏み出す力（チャレンジ力） 業務に積極的に取り組み、実行することができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	10
11	生涯学習力 成長するために継続的に自己研鑽に努めている。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	11
12	コンピュータやインターネットを活用する力 情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析したり、基本的なビジネスソフト（エクセル・ワードなど）を使うことができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	12
13	英語力 英語で書いたり話したりすることができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	13
14	表現力 記録、資料、報告書等を作成する力。効果的なプレゼン力。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	14
15	コミュニケーション能力 周囲の人と意思疎通ができ、協調性がある。また、適切な自己表現ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	15
16	ビジネスマナー 常識があり、気持ちの良い受け答えやマナーの良い対応ができる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	16
17	リーダーシップ 周囲を説得し巻き込んでいくリーダーシップがとれる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	17
18	チームで働く力（チームワーク） 自分の意見をわかりやすく伝えたり、相手の意見を丁寧に聞いたり、他者と協調・協働して行動できる。	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	18
19	その他 (基礎学力・一般常識など)	→	1	2	3	4	1	2	3	4	5	19

(裏面につづく)

貴事業所に関するアンケート調査

※本様式は一事業所につき1枚ご回答ください。

I. 回答者様の事業所名、担当部署・役職名、氏名をご記入ください。

事業所名			
担当部署・役職名		氏 名	

II. 主たる業種に○をつけてください。（1つ選択）

1. 農業	2. 林業	3. 漁業	4. 鉱業、採石業、砂利採取業
5. 建設業	6. 製造業	7. 電気・ガス・熱供給・水道業	
8. 情報通信業	9. 運輸業	10. 卸売・小売業	11. 金融・保険業
12. 不動産業、物品賃貸業	13. 飲食・宿泊業	14. 医療・福祉業	15. 教育・学習支援業
16. サービス業	17. 公務		

III. 従業員数に○をつけてください。

1. 従業員 5,000 人以上	2. 従業員 1,000～4,999 人	3. 従業員 100～999 人
4. 従業員 50～99 人	5. 従業員 50 人未満	

IV. 貴事業所の業務を遂行する上で、学生に希望する資格や検定があればすべてに○をつけてください。

1. 特に必要なし

<本学で取得可能な資格・免許等>

2. 看護師	3. 保健師	4. 助産師	5. 管理栄養士
6. 栄養士	7. 社会福祉士	8. 精神保健福祉士	9. 認定心理士
10. 保育士	11. 幼稚園教諭一種免許	12. 幼稚園教諭二種免許	13. 高等学校教諭免許(看護)
14. 高等学校教諭免許(英語)	15. 中学校教諭免許(英語)	16. 養護教諭免許	17. 栄養教諭免許

<本学が取得支援している主な資格・検定等>

18. BLS	19. TOEIC	20. 実用英語技能検定	21. TOEFL
22. 観光英語検定	23. 旅行業務取扱管理者	24. 通訳案内士	25. 旅行地理検定
26. 貿易実務検定	27. 外務員(金融商品)	28. 日本語教員養成課程修了	29. 日本漢字能力検定
30. 日商簿記	31. 秘書技能検定	32. 医療請求事務検定	
33. ビジネスコミュニケーション検定	34. ビジネス能力検定	35. ビジネス実務マナー検定	36. キータッチ 2000
37. 英語ビジネス文書作成技能検定		38. コンピュータサービス技能評価試験	
39. 販売士	40. 色彩士検定・色彩検定	41. フードコーディネーター	42. フードスペシャリスト
43. 介護職員初任者研修	44. ビアヘルパー資格	45. その他()	

V. 大学生の人間形成について、本学が支援に力をいれた方がよいと思う項目すべてに○をつけてください。

1. 部活・サークル活動	2. 研究室・ゼミナールの活動	3. キャリア教育	4. インターンシップ
5. ボランティア活動	6. 地域貢献活動	7. 海外留学	8. 卒業生との交流
9. 多様な業種・職種の社会人との交流		10. キリスト教教育	11. 一般常識教育
12. 基礎学力教育	13. 社会人マナー教育	14. その他()	

VI. 採用について

1. 貴事業所において、過去 5 年間で採用の実績がある大学名を 3 校まで差し支えなければ、ご記入ください。（本学卒業生と同職種の女子）

大学	大学	大学
----	----	----

2. 本学卒業生の在職人数と最近 5 年以内に入职した本学卒業生のうち 1 年以内に退職した人数をご記入ください。

現在も在職中	人	入职 1 年以内に退職	人
--------	---	-------------	---

3. 貴事業所において、今後、採用の機会が生じた際は、本学学生にも応募機会をいただけますか。

1. はい	2. いいえ(差し支えなければその理由:)
-------	------------------------

VII. 本学に対して、ご意見・ご要望があれば、ご記入ください。

以上でアンケート調査の記入は終了です。ご協力いただきありがとうございました。
集計結果については後日、送付させていただきます。
(個人情報保護について)ご記入いただいた個人情報については、当調査の目的以外には使用いたしません。

2021 年度
卒業生アンケート調査及び
就職受け入れ先から見た卒業生の評価に関するアンケート調査
【調査結果報告書】

2022 年 7 月

発 行 西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部
就職課
〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀 1-3-5
TEL: 093-583-5777
